

令和元年度

まちづくり報告書

～愛南町総合計画の進行管理～



令和2年3月

愛南町

目 次

| | | |
|----------|--------------------------------------|-----------|
| 1 | まちづくり報告書の基本的な考え方 | 1 |
| | (1) まちづくり報告書とは..... | 1 |
| | (2) 総合計画と行政評価..... | 1 |
| | (3) 行政評価による総合計画の進行管理..... | 2 |
| | (4) 3つの視点で総合計画を進行管理..... | 3 |
| | (5) 報告にあたって..... | 3 |
| 2 | まちづくりの進展度（対基準値） | 4 |
| | (1) 施策の成果指標動向（25 施策 51 指標）..... | 4 |
| | (2) 基本事業の成果指標動向（96 基本事業 203 指標）..... | 4 |
| | (3) 政策別のまちづくり動向（254 指標）..... | 5 |
| 3 | 前年度指標値との差異（対前年度） | 6 |
| | (1) 施策の成果指標動向（25 施策 51 指標）..... | 6 |
| | (2) 基本事業の成果指標動向（96 基本事業 203 指標）..... | 6 |
| | (3) 政策別のまちづくり動向（254 指標）..... | 7 |
| 4 | 後期基本計画の目標達成状況（目標達成度） | 8 |
| | (1) 施策の成果指標動向（25 施策 51 指標）..... | 8 |
| | (2) 基本事業の成果指標動向（96 基本事業 203 指標）..... | 8 |
| | (3) 政策別のまちづくり動向（254 指標）..... | 9 |
| 5 | まちづくりの分野別進行状況 | 10 |

1 まちづくり報告書の基本的な考え方

(1) まちづくり報告書とは

愛南町総合計画は、町の政策を定める最上位の計画であり、町民、事業者及び行政がそれぞれの果たすべき役割と責任を分担して、総合的かつ計画的にまちづくりに取り組んでいくための指針となるものです（愛南町自治基本条例第24条）。

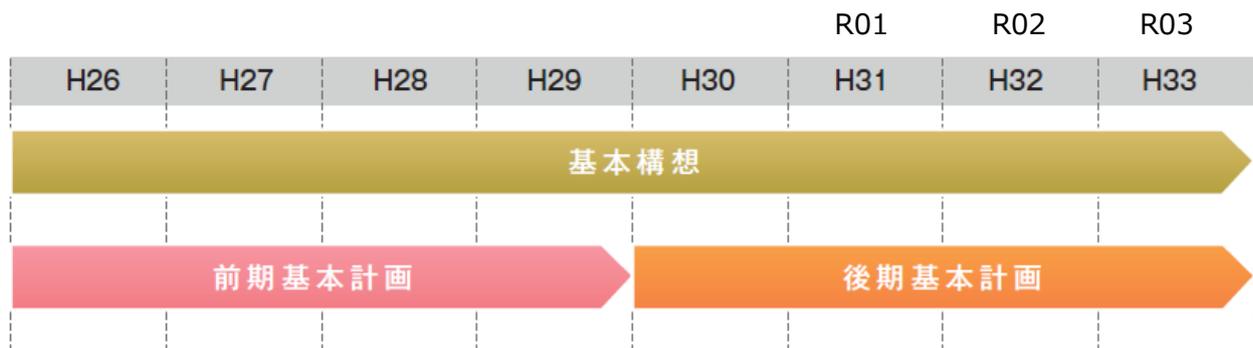
愛南町が誕生し10年以上経過し、本町を取り巻く社会情勢は大きく変化し、人口減社会等の時代の変化や多様化する行政ニーズに対応していくことが求められます。

そのため、合併時に策定した第1次愛南町総合計画の成果状況を踏まえて、平成26年3月に第2次愛南町総合計画を策定し、まちづくりに取り組んでいます。平成30年度からは後期基本計画がスタートしています。

本町の総合計画では、分野別にまちづくりの目標となる、町のめざす姿と成果指標を設定しています。まちづくりの成果を把握することで、まちづくりがどの分野でどの程度達成されたかを評価しています。

このまちづくり報告書は、町のめざす姿を設定してから現在までのまちづくりの取組状況を町民の皆さんにお知らせするものです。

本書は、平成30年度の後期基本計画初年度の施策及び基本事業の成果を評価した報告書です。

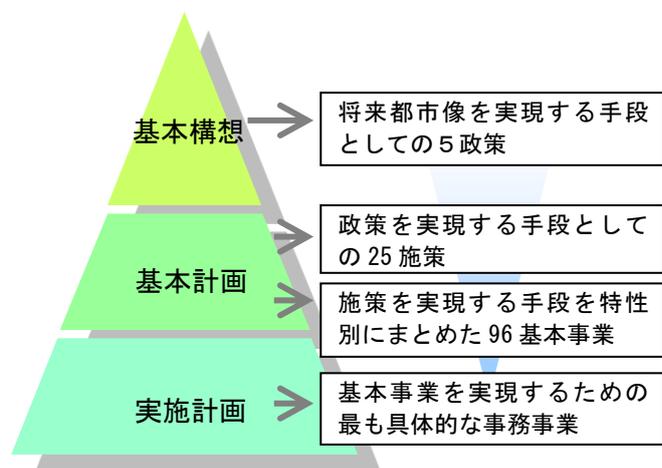


(2) 総合計画と行政評価

第2次愛南町総合計画では、将来像を「ともにあゆみ育て創造するまち～第2章～」と定め、この将来像を実現するために5つの政策を掲げ、政策の下には25の施策、96の基本事業を掲げています。

さらに基本事業を実現するための具体的な手段としての事務事業が位置付けられ、施策体系を構成します。

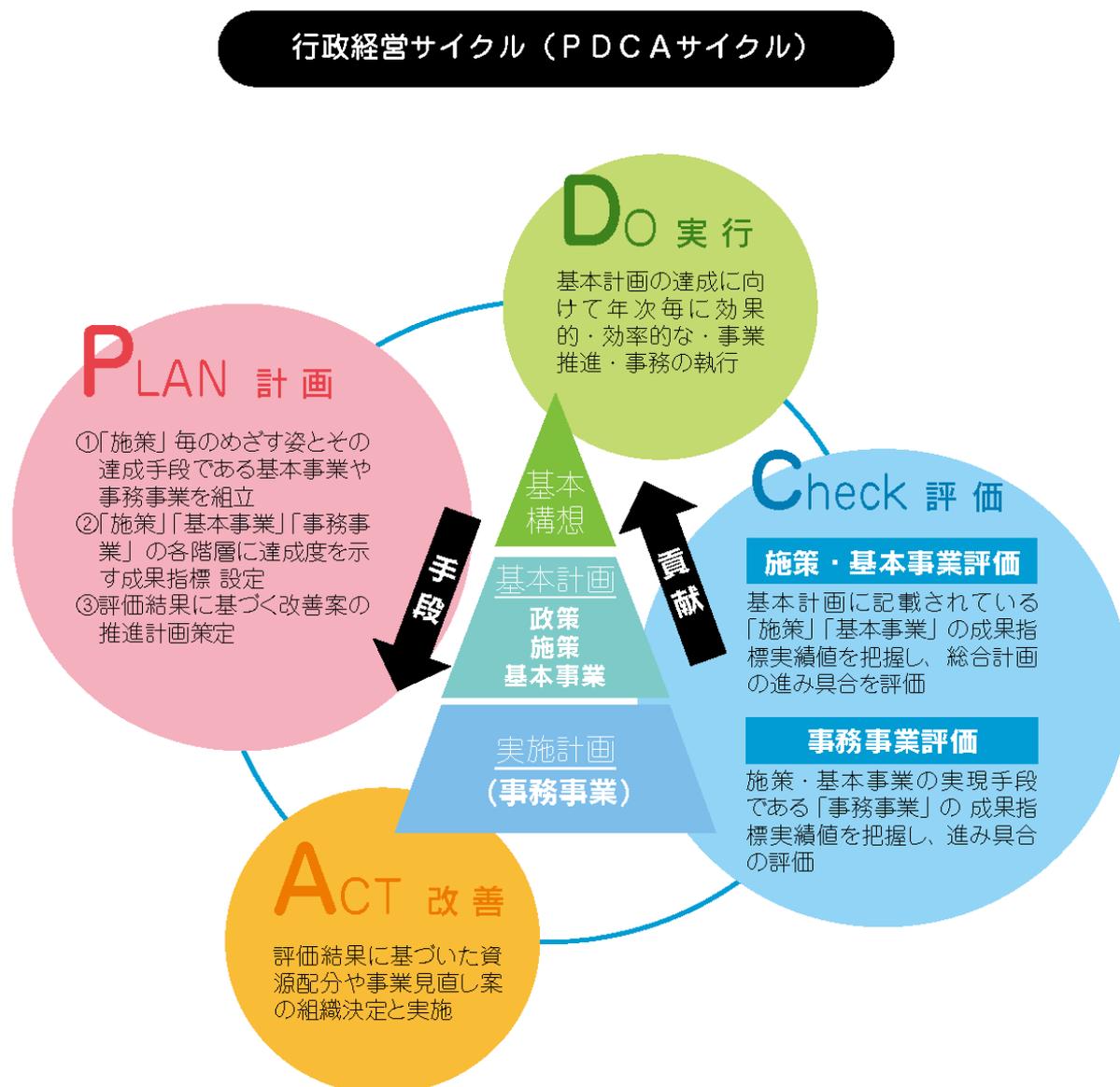
また、愛南町では町民の視点に立った行政経営に取り組み、限られた行政資源で成果重視の行政をめざし、行政評価を導入し、将来像の実現に向けた取組の進捗状況を管理しています。



(3) 行政評価による総合計画の進行管理

愛南町では、施策・基本事業に各分野のまちづくりの「めざす姿」の達成状況をあらわす「ものさし」として成果指標を設定し、その数値の推移により評価を行っています。成果指標を設定し、まちづくりの成果が数値化されることによって、指標の動向や変動要因の分析などを行うことができるようになりました。

評価の結果は、まちづくりを進めていく上での意思決定の判断材料や税金活用の説明責任資料として活用し、計画の策定 (Plan)、計画の実施 (Do)、計画の評価 (Check)、評価結果に基づく改善 (Act) というPDCAのマネジメントサイクルをまわして、行政経営の質を向上させるものです。



(4) 3つの視点で総合計画を進行管理

総合計画は、民間企業における中期経営計画のような位置づけとなります。

民間企業の中期経営計画では、目標達成度にもみ焦点があたっています。

しかし、地方自治体の総合計画は、住民意識・行動や法改正の影響、地勢（所在地）など民間企業ほど主体的に変化させづらい要素があります。また、イベント等は天候により参加者数が大きく増減する等の影響を受けることもあります。

そのため、愛南町の総合計画進行管理では、以下の3つの視点で多面的に評価します。

| 視 点 | 評価基準 |
|-------|--|
| 対基準値 | まちづくりの進展度を評価する（どの程度計画開始前より良くなったか） ★後期計画開始時点の基準値と比較する |
| 対前年度 | 昨年度との差異を評価する（天候などの影響で上下することもあり、一喜一憂に留意） ★昨年度指標値と比較する |
| 目標達成度 | 後期基本計画の目標値の達成状況を評価する（中期的な計画の達成度を評価） ★後期基本計画の H33（R03）目標値と比較する |

(5) 報告にあたって

- ① 各種図表の数値の合計が 100%にならない場合があります。

報告書の読みやすさから、小数点を第 1 位または第 2 位までの表示にする小数点の端数処理によるものです（小数点の桁数を増加させれば、100%になります）。

- ② 本報告書の「施策のコスト H29」、「基本事業のコスト H29」と平成 30 年度まちづくり報告書の同コストが異なる場合があります。

本報告書は、第 2 次愛南町総合計画後期基本計画の初年度（平成 30 年度）の評価となり、後期基本計画の新体系の下、施策のコスト、基本事業のコストを改めて集計したところによるものです。

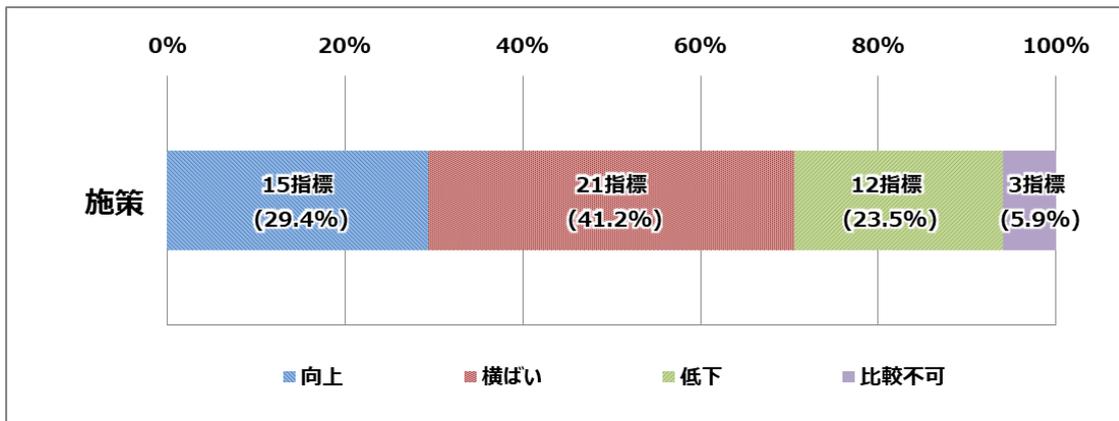
※なお、この事象は本年の報告のみとなります。

2 まちづくりの進展度（対基準値）

第2次愛南町総合計画後期基本計画で設定した施策・基本事業の254の成果指標の後期計画開始前の値である基準値との比較における進捗状況は、以下のとおりとなっています。

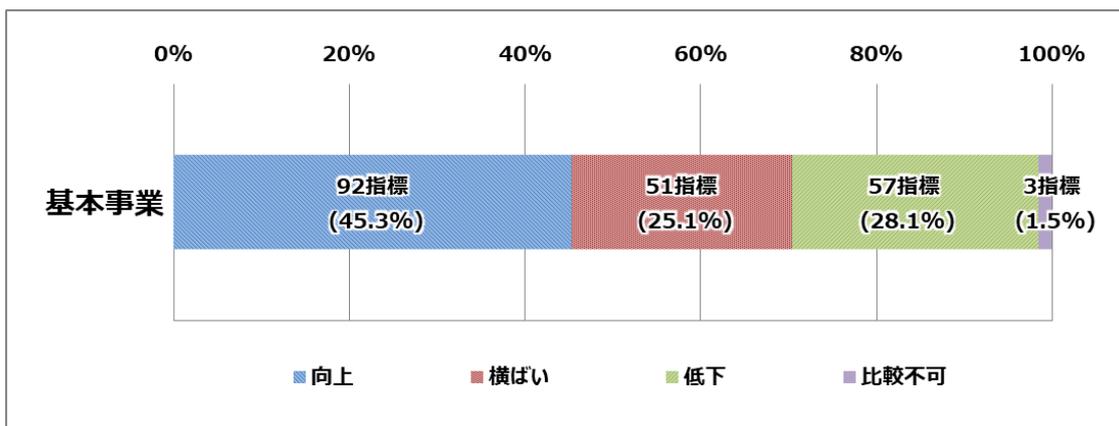
（1）施策の成果指標動向（25 施策 51 指標）

25 施策の成果として設定されている51の成果指標について、成果が向上したと評価した指標は15指標（29.4%）、横ばいの指標は21指標（41.2%）、低下の指標は12指標（23.5%）、比較不可の指標は3指標（5.9%）となっています。



（2）基本事業の成果指標動向（96 基本事業 203 指標）

96 基本事業の成果として設定されている203の成果指標について、成果が向上したと評価した指標は92指標（45.3%）、横ばいの指標は51指標（25.1%）、低下の指標は57指標（28.1%）、比較不可の指標は3指標（1.5%）となっています。

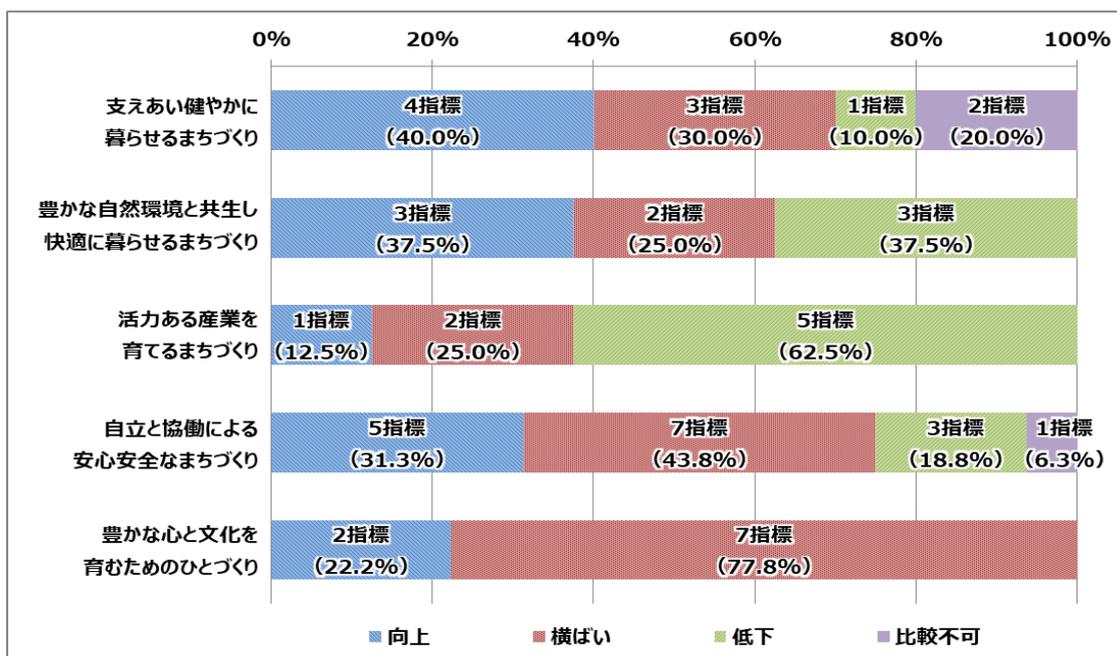


(3) 政策別のまちづくり動向 (254 指標)

施策階層では、「支えあい健やかに暮らせるまちづくり」、「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」が向上しています。他方、「活力ある産業を育てるまちづくり」が低下しています。

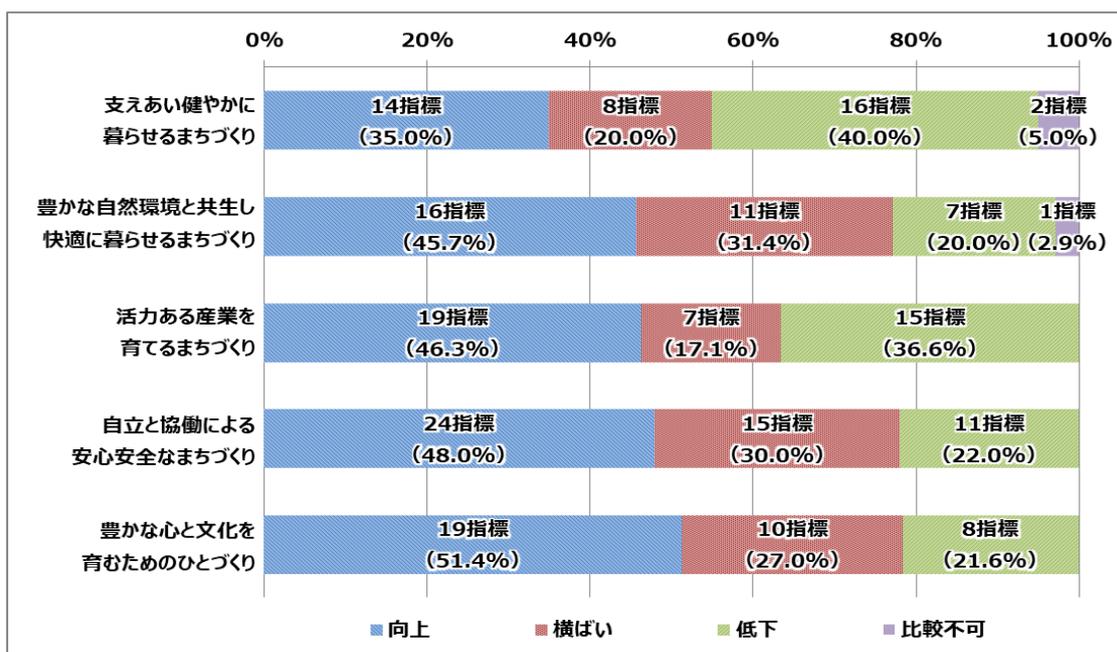
基本事業階層では、「豊かな心と文化を育むためのひとづくり」が向上しています。他方、「支えあい健やかに暮らせるまちづくり」が低下しています。

■ <政策別> 施策の成果指標動向 (51 指標)



※小数点端数表示の関係で、足し上げても合計が合わない場合があります。

■ <政策別> 基本事業の成果指標動向 (203 指標)

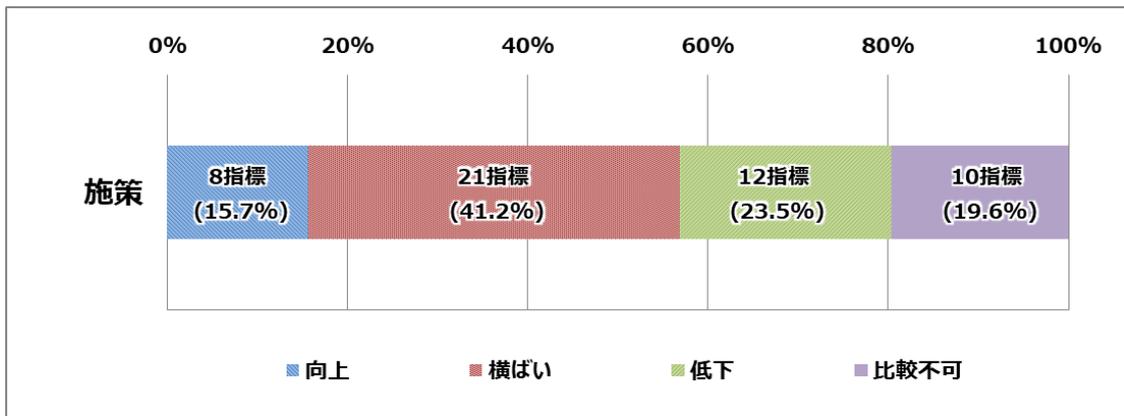


3 前年度指標値との差異（対前年度）

第2次愛南町総合計画後期基本計画で設定した施策・基本事業の254の成果指標の平成29年度の値である前年度値との比較における進捗状況は、以下のとおりとなっています。

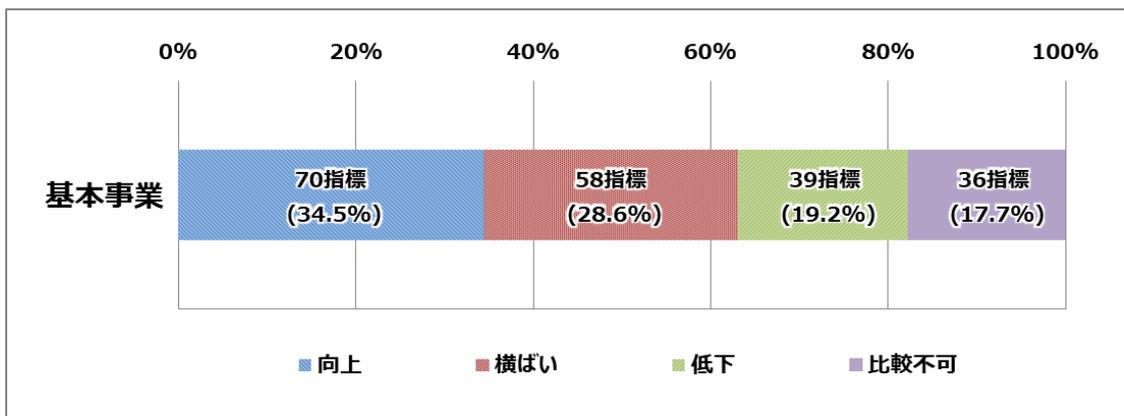
(1) 施策の成果指標動向（25 施策 51 指標）

25 施策の成果として設定されている51の成果指標について、成果が向上したと評価した指標は8指標（15.7%）、横ばいの指標は21指標（41.2%）、低下の指標は12指標（23.5%）、比較不可の指標は10指標（19.6%）となっています。



(2) 基本事業の成果指標動向（96 基本事業 203 指標）

96 基本事業の成果として設定されている203の成果指標について、成果が向上したと評価した指標は70指標（34.5%）、横ばいの指標は58指標（28.6%）、低下の指標は39指標（19.2%）、比較不可の指標は36指標（17.7%）となっています。

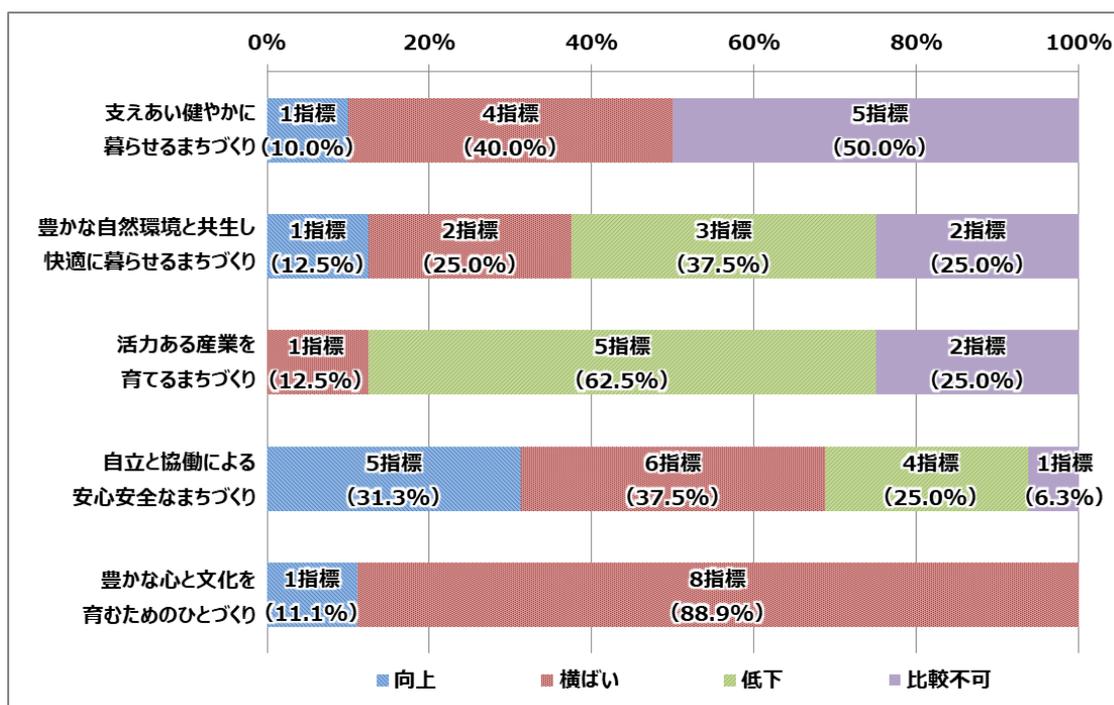


(3) 政策別のまちづくり動向 (254 指標)

施策階層では、「自立と協働による安心安全なまちづくり」が向上しています。他方、「活力ある産業を育てるまちづくり」が低下しています。

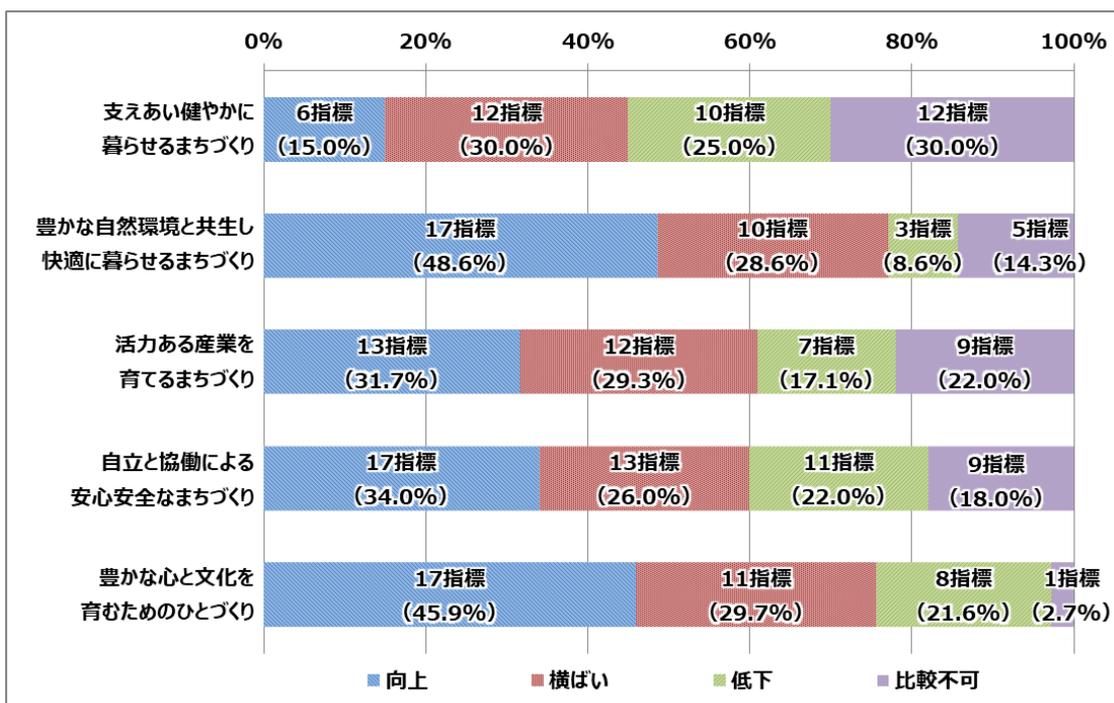
基本事業階層では、「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」、「豊かな心と文化を育むためのひとづくり」が向上しています。他方、「支えあい健やかに暮らせるまちづくり」が低下しています。

■ <政策別> 施策の成果指標動向 (51 指標)



※小数点端数表示の関係で、足し上げても合計が合わない場合があります。

■ <政策別> 基本事業の成果指標動向 (203 指標)



※小数点端数表示の関係で、足し上げても合計が合わない場合があります。

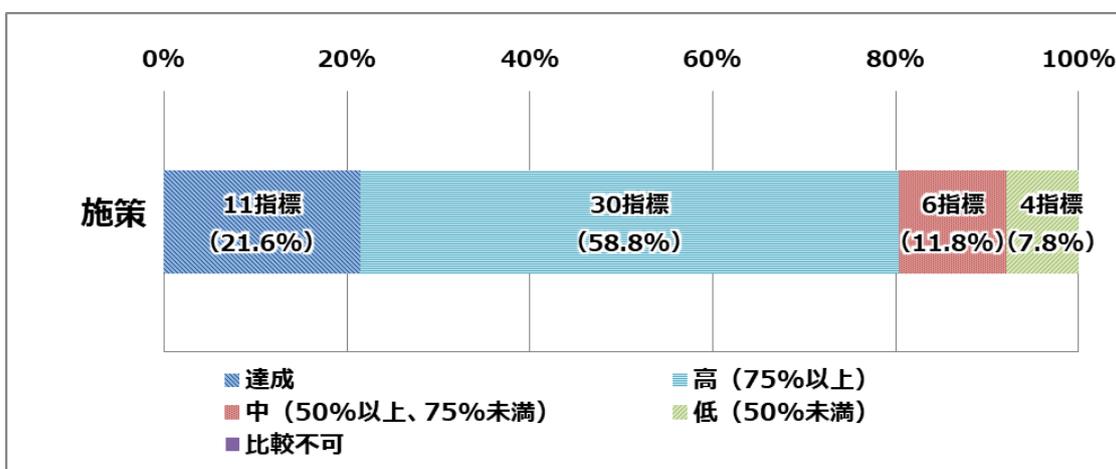
4 後期基本計画の目標達成状況（目標達成度）

第2次愛南町総合計画後期基本計画で設定した施策・基本事業の254の成果指標の平成33年度（令和3年度）の値である目標値との比較における進捗状況は、以下のとおりとなっています。

なお、今回の報告は、後期基本計画4年間の初年度の評価となっています。

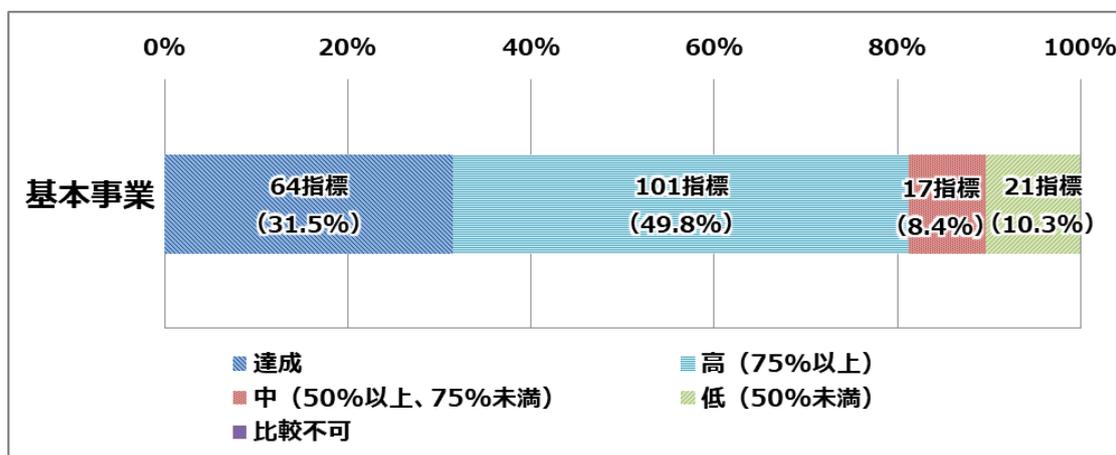
（1）施策の成果指標動向（25 施策 51 指標）

25 施策の成果として設定されている51の成果指標について、目標を達成したと評価した指標は11指標（21.6%）、達成度75%以上（高）の指標は30指標（58.8%）、達成度50%以上（中）の指標は6指標（11.8%）、達成度50%未満（低）の指標は4指標（7.8%）、比較不可の指標は0指標（0%）となっています。



（2）基本事業の成果指標動向（96 基本事業 203 指標）

96 基本事業の成果として設定されている203の成果指標について、目標を達成したと評価した指標は64指標（31.5%）、達成度75%以上（高）の指標は101指標（49.8%）、達成度50%以上（中）の指標は17指標（8.4%）、達成度50%未満（低）の指標は21指標（10.3%）、比較不可の指標は0指標（0%）となっています。

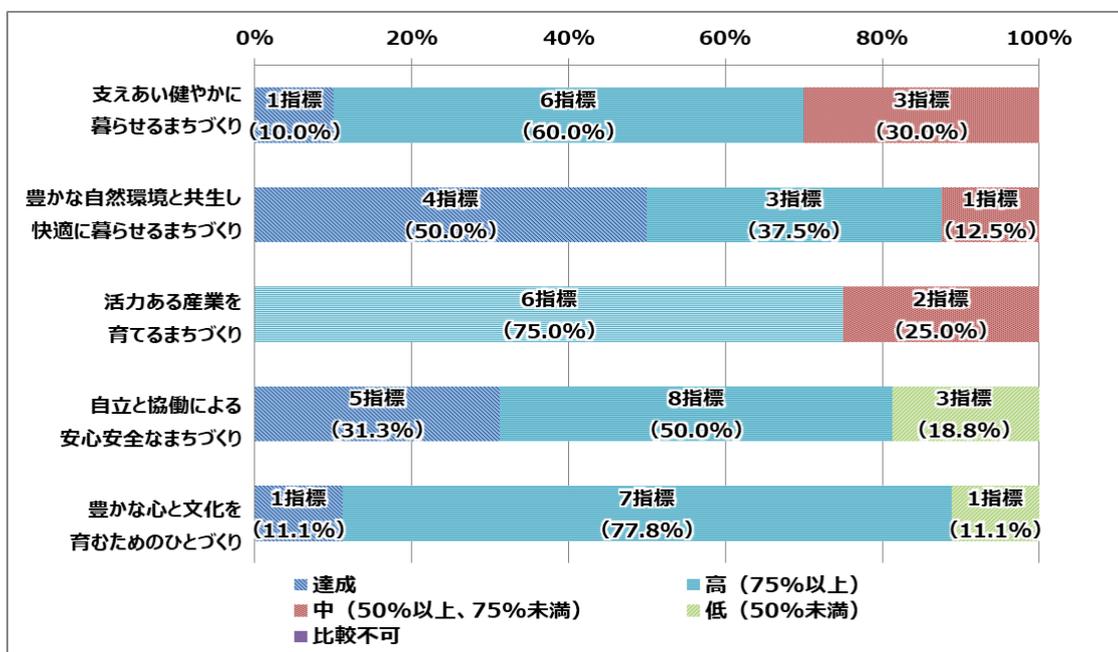


(3) 政策別のまちづくり動向 (254 指標)

施策階層では、「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」が向上しています。

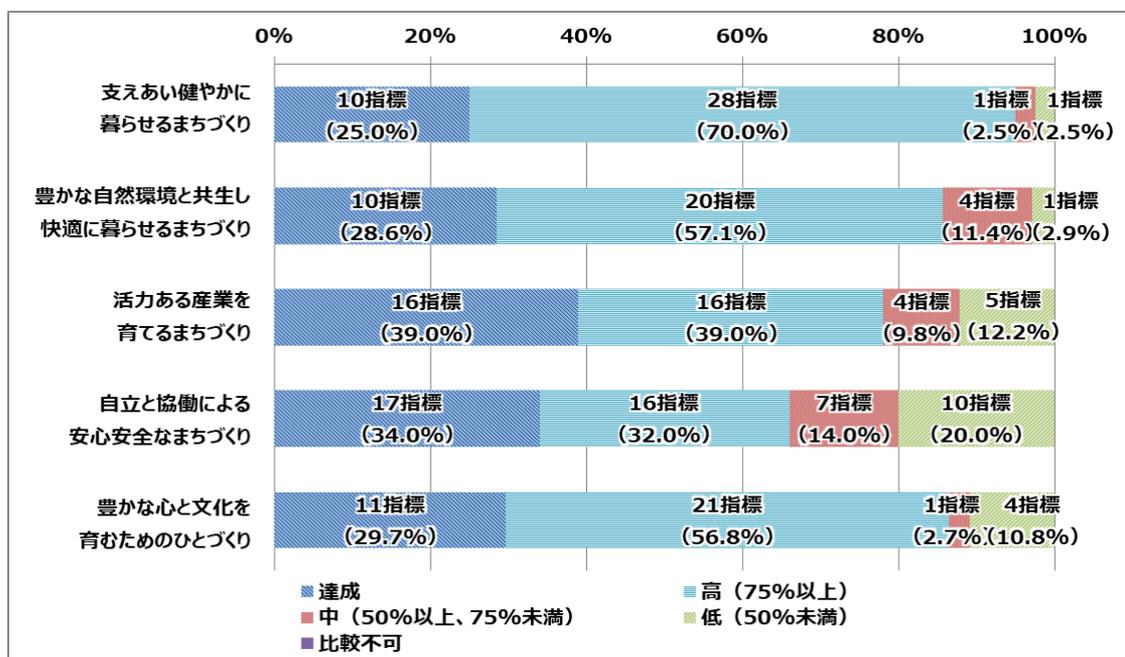
基本事業階層では、「活力ある産業を育てるまちづくり」、「自立と協働による安心安全なまちづくり」が向上しています。

■ <政策別> 施策の成果指標動向 (51 指標)



※小数点端数表示の関係で、足し上げても合計が合わない場合があります。

■ <政策別> 基本事業の成果指標動向 (203 指標)



5 まちづくりの分野別進行状況

愛南町の将来像「ともにあゆみ育て創造するまち～第2章～」を実現するために、愛南町の課題を踏まえ、5つの政策を柱に、25の施策、96の基本事業を設定し、まちづくりを推進しました。

まちづくりの分野別進行状況では、施策及び基本事業ごとに設定した成果指標に基づき、どれぐらいまちづくりの「めざす姿」に近づいているのかを、指標の動向や変動要因の分析などによりお知らせします。



政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-01 子育て環境の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-01-01 保育サービス等の充実

基本事業 01-01-02 地域における子育て支援

基本事業 01-01-03 家族形成意識醸成の支援

基本事業 01-01-04 子育て世代への経済的支援

基本事業 01-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

保育所の入所児童数は平成30年度末520人（広域受託児童除く）と、長期的に見て減少傾向にあります。待機児童は発生していません。統廃合した保育所はありませんでした。保育料の第2子無料化を平成28年度から実施し、保護者の経済負担軽減に努めています。課題としては、慢性的な保育士不足の中で保育体制をどう維持していくか、人口減少も見越した長期的な保育施設・サービスのありかたを考える必要があります。施設の老朽化も進んでいるため計画的な修繕等が必要です。

現況として、愛南町で開設されている3か所の放課後児童クラブの利用児童数は、平成30年度末現在で112名となっており、年度当初はうち2か所で定員は超えています。弾力的な受け入れを行っています。課題として、支援員の人材確保や児童の放課後等の安心して過ごせる居場所の確保を各関係機関等と連携していかに進めるか引き続き状況を確認しながら検討していく必要があります。

現状として、女性の社会進出や少子高齢化に伴い、若い世代の独身率は年々上昇傾向にあります。若い世代がよきパートナーと巡り合い、安心して子どもを産み、育てていくためのサポートの一環として、独身男女に出会いの場を提供や経済的な補助の必要があります。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 3.00 (2.96) | 3.02 (2.97) | 3.05 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.79 (3.65) | 3.81 (3.65) | 3.78 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

施策のプロフィール

| | |
|--|---|
| <p>施策の対象</p> <p>子育て中の世帯の保護者（10歳未満の子どもの保護者）</p> | <p>施策がめざす姿</p> <p>安心して子育てができる環境を整えます。</p> |
|--|---|

施策の成果状況と評価

| 指標 | 子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|-----------|------------|
| | 上がると良い指標 【保健福祉課】 | % | 72.3 | - | 74.5 | 75.0 | |
| 評価 | <p>（状況）平成30年度は74.5%で基準値から2.2ポイント向上しました。後期目標値の75.0%には届いていません。</p> <p>（原因）アンケート結果からは一定の満足を得ており、子育て環境に係るサービスは大部分で充実できており、保育ニーズを満たしていると思われます。今後指標値を向上するためには、継続した保育サービスの提供維持や質の向上など、保護者の安心感を高める必要があります。</p> | | | | | | 比較不可 |
| | | | | | | | 目標達成度 |
| | | | | | | | ■■■ (高) |

| 指標 | 合計特殊出生率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 上がると良い指標 【保健福祉課】 | | 1.32 | - | 1.24 | 1.74 | |
| 評価 | <p>（状況）平成30年度は前回と比較して0.08ポイント減少しています。15歳～49歳の女性の人口は前回より99人減少し、出生数は14人減少しています。世代別では25歳～29歳の出生率が低下しています。</p> <p>（原因）婚姻率も前回と比較して0.4ポイント低下しています。婚姻率の低下が合計特殊出生率にも影響していると考えられます。</p> | | | | | | 比較不可 |
| | | | | | | | 目標達成度 |
| | | | | | | | ■■ (中) |

施策のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|-----------|-----------|
| 1,081,521 | 1,045,563 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

基本事業 01-01-01 保育サービス等の充実

基本事業のプロフィール

| | |
|--|---|
| 基本事業の対象 子育て中の世帯（10歳未満の子どもの保護者） | 基本事業がめざす姿 保育サービス等の充実により、保護者が安心して子どもが預けられ、働くことができます。 |
|--|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|--|-----|------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 保育所を利用している保護者の満足度 上がると良い指標 【保健福祉課】 | % | 78.9 | - | 79.5 | 80.0 | 比較不可 |
| (状況) 平成30年度は79.5%と基準値から0.6ポイント向上していますが、後期目標値80.0%は達成できませんでした。(算定方法見直し後の数値) (原因) 本町では待機児童無く受入が出来ており、提供している各種の保育サービスも概ね満足を得られていると思われます。指標値の改善には、保護者の保育ニーズに合ったサービスを提供できるよう継続して取り組む必要があります。 | (%) | | | | | |

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|--|-----|------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 学童保育を利用している保護者の満足度 上がると良い指標 【保健福祉課】 | % | 80.1 | - | 82.2 | 85.0 | 比較不可 |
| (状況) 平成30年度は82.2%と基準値から2.1ポイント向上していますが、後期目標値85.0%は達成できませんでした。(算定方法見直し後の数値) (原因) アンケートの結果、悩みごとなどへの相談対応や子どもへの接し方等概ね満足を得られています。今後も指標値向上に向けて支援員等と連携しながら事業を進めていく必要があります。 | (%) | | | | | |

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|--|-----|-----|-----------|-----------|-----------|--------|
| 一時保育・病児保育で受け入れられなかった人数 下がると良い指標 【保健福祉課】 | 人 | 10 | - | 0 | 15 | 比較不可 |
| (状況) 一時保育、病児保育ともに受け入れられなかった児童はならず、後期目標値15人を達成しました。今後も維持するため、各保育施設と協議しながら運用を見直します。 (原因) 児童数の減少や感染症の流行状況により、利用希望者が減少したことが原因と思われます。病児保育について、より多くの人に利用してもらえるよう運用を見直し、キャンセルの取扱いを変更したことも原因と思われます。 | (人) | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 402,660 | 387,802 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

基本事業 01-01-02 地域における子育て支援

基本事業のプロフィール

| | |
|--|---------------------------------------|
| 基本事業の対象 子育て中の世帯（10歳未満の子どもの保護者） | 基本事業がめざす姿 子育ての不安や悩みを取り除きます。 |
|--|---------------------------------------|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 子育てに関する不安や負担を感じている保護者の割合 【保健福祉課】 下がると良い指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 評価 | （状況）平成30年度は27.0%と基準値から0.9ポイント増加し、目標値の25.0%も達成できていません。 （原因）アンケートの結果からは、経済的な面や仕事と子育ての両立、地域の医療体制などの不安を抱える現状が見えています。保育料の第2子無料化や病児保育事業など様々な事業を通して、保護者の不安を解消できるよう努めていきます。 | % | 26.1 | - | 27.0 | 25.0 | 比較不可 |
| | | | | | | | 目標達成度 |
| | | | | | | | ■ (高) |

| 指標 | 子育てについて相談できる相手（場所）がいる（ある）保護者の割合 【保健福祉課】 上がると良い指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 評価 | （状況）平成30年度は15.0%と基準値から0.3ポイント増加していますが、目標値の22.0%には届いていません。 （原因）アンケートからは、一定の割合（約15%）が行政関連を相談先として認識されています。今後も保護者から気軽に相談しやすい関係づくりに努め、悩みを抱えこむ家庭が少なくなるよう継続した相談体制が必要と思われます。 | % | 14.7 | - | 15.0 | 20.0 | 比較不可 |
| | | | | | | | 目標達成度 |
| | | | | | | | ■ (高) |

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 20,653 | 22,568 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

基本事業 01-01-03 家族形成意識醸成の支援

基本事業のプロフィール

| | |
|---------------------------------|---|
| <p>基本事業の対象</p> <p>20歳以上の独身者</p> | <p>基本事業がめざす姿</p> <p>若い世代を中心に婚姻率が高まります。 若い世代の婚姻や家族形成意識を醸成し、次世代が育成されます。</p> |
|---------------------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|--|----|-----|-----------|-----------|-----------|-------------------------|
| <p>出会いの場を提供したカップルの延べ成婚数</p> <p>上がると良い指標 【企画財政課】</p> | 組 | 3 | - | 4 | 6 | 比較不可 目標達成度 ■■ (中) |
| <p>評価</p> <p>(状況) 平成30年度は延べ成婚数4組であり、基準値よりも1組増加しています。目標値は6組で2組達していない状況です。 (原因) 婚活イベントに含まれる観光メニュー等を目的にした参加者が多かったことが原因と考えられます。今後は真に結婚したい意志がある人が参加しやすいイベントを行う必要があると考えられます。</p> | | | | | | |
| <p>婚姻率 (人口1,000人当たり)</p> <p>上がると良い指標 【企画財政課】</p> | % | 2.5 | - | 2.1 | 2.5 | 比較不可 目標達成度 ■■ (高) |
| <p>評価</p> <p>(状況) 平成30年度は2.1%で基準値と比較すると0.4ポイント低下しています。国の平成30年度の値は4.7% (推計値) であり、2.6ポイントと大幅に低下しています。また、目標値である2.5%に届いていないことからあまり順調ではありません。 (原因) 人口の減少、出会いの場が少ないこと、経済的な問題等が原因と考えられます。かつての皆婚規範に対して、近年では結婚を選択的行為として捉える見方が広まり、個人の意識の問題も考えられます。</p> | | | | | | |

基本事業のコスト (千円)

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 1,833 | 2,240 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

基本事業 01-01-04 子育て世代への経済的支援

基本事業のプロフィール

| | |
|---|--|
| <p>基本事業の対象</p> <p>新生児の親、保育施設入所児童の親、ひとり親家庭の親、新婚世帯の夫婦</p> | <p>基本事業がめざす姿</p> <p>子育て世代の経済的負担が軽減され、安心して子育てができる環境が整えられます。</p> |
|---|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 子育てへの経済的支援を受けている人数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|-----|-----------|-----------|-----------|---------|
| | 上がると良い指標 【保健福祉課】 | 人 | 479 | - | 590 | 672 | |
| 評価 | <p>(状況) 平成28年度479人から11人増加していますが、目標値は下回っている状況です。大幅な増は新規事業開始(乳幼児用紙おむつ券補助事業)によるものです。対象が広い保育費の助成については減少しています。</p> <p>(原因) 出産子育て支援金や保育費助成など、人口減少が指標値に影響を出やすい内容となっています。ただし一律に人数増加を求めることは事業の趣旨から外れるため、今後も経済的支援が必要な方へ支援が行き届くよう事業実施に努めます。</p> | (人) | | | | | 比較不可 |
| | | | | | | | 目標達成度 |
| | | | | | | | ■■■ (高) |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 241,218 | 232,559 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 子育て環境の充実

基本事業 01-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 415,157 | 400,394 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-02 高齢者福祉の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-02-01 日常生活の支援

基本事業 01-02-02 居宅サービスの充実

基本事業 01-02-03 生きがい活動の推進

基本事業 01-02-04 地域包括ケアの充実

基本事業 01-02-05 介護予防サービスの充実

基本事業 01-02-06 介護保険サービスの充実

基本事業 01-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

平成30年4月1日現在の高齢化率は41.6%で、令和7年には49.3%になると推計されています。限界集落が存在する中、地域力が低下する傾向にあり、高齢者が生きがいや役割を持ち続け、地域の支えあいの中で自立して生活することができるような施策が必要となっています。

現在、高齢者がいつまでも自立した生活が送られるよう、介護予防事業で運動機能の改善及び口腔機能の向上や栄養改善に努め生活機能の維持・向上を図り、地域において高齢者が主体的に介護予防に資する活動が継続できるように取り組んでいます。

平成30年4月1日現在の認知症高齢者の出現率は、14.3%で昨年と比べてほぼ横ばいですが、今後は高齢化の進展に伴い増加することが予測されます。高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるよう、認知症に対する理解を深め、見守りの体制を整えていく必要があります。

後期高齢者の割合が高まっているなか、自立高齢者の割合を維持していますが、地域の身近な場所に高齢者が集える場所があり、見守りや支えあいの仕組みづくりの必要性を住民や地域の関係機関と共有し、地域の実情に合ったサービスメニューを検討していくことが課題となっています。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 2.89 (2.96) | 3.01 (2.97) | 2.93 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.90 (3.65) | 3.84 (3.65) | 3.81 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

施策のプロフィール

| | |
|--------------------------------------|---|
| <p>施策の対象</p> <p>65歳以上高齢者、家族、地域住民</p> | <p>施策がめざす姿</p> <p>高齢者が健康で、生きがいをもって住み慣れた地域で生活できます。</p> |
|--------------------------------------|---|

施策の成果状況と評価

| 指標 | 自立高齢者の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|---|------|-----------|-----------|-----------|--------|------|---|-----|------|---|-----|------|---|-----|---|------|--|
| | 上がると良い指標 | % | 79.2 | 79.1 | 78.9 | 80.0 | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | <p>【高齢者支援課】</p> <p>(状況) 平成30年度の自立高齢者の割合は78.9%で前年と比べてほぼ横ばいとなっており、後期基準値には僅かに達していない状況です。高齢者人口及び要支援・要介護認定者数は、ともに微増の状況にあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険第1号被保険者数 9,100人 ・介護保険第1号被保険要介護・要支援認定者数は 1,921人 <p>(原因) 自立高齢者は横ばい状態ではありますが、後期高齢者の割合が高まっているなか、介護予防への取り組みは増加していると捉えてよいと考えますが、原因についてはさまざまな要因があるため、特定の要因とすることはできません。</p> | <table border="1"> <caption>自立高齢者の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>79.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>79.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>78.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>-</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table> | | 年度 | 実績値 (%) | 目標値 (%) | H28 | 79.2 | - | H29 | 79.1 | - | H30 | 78.9 | - | R03 | - | 80.0 | <p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p> |
| 年度 | 実績値 (%) | 目標値 (%) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 79.2 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29 | 79.1 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30 | 78.9 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R03 | - | 80.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

施策のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-----------|-----------|
| 3,952,930 | 3,952,034 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-01 日常生活の支援

基本事業のプロフィール

| | |
|----------------|----------------------------------|
| 基本事業の対象 | 基本事業がめざす姿 |
| 高齢者 | 日常生活支援サービスを受けることで安心して暮らすことができます。 |

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 各種サービス受給者の満足度 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|------|-----------|-----------|------------------|--------|
| | 上がると良い指標 【高齢者支援課】 | % | 94.1 | 96.0 | 86.2 | 95.0 | |
| 評価 | <p>(状況) 平30年度は86.2%で、一部事業で満足度の低下があり前年度と比べ9.8%低下し後期基準値に届きませんでした。サービス利用者は順調に増えています。</p> <p>(原因) 基準値の低下の原因として、一部事業において利用者や家族介護者、住環境の状況等によりサービスの向上を求める意見がでていいることも原因のひとつと考えられます。各種事業がより良い支援となり、満足度の向上に結びつく事ができるよう検討していく必要が出てきています。</p> | | | | | 目標達成度 ■■■ (高) | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 146,579 | 149,712 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-02 居宅サービスの充実

基本事業のプロフィール

| | |
|--------------------------------|--|
| 基本事業の対象 在宅の要介護者とその家族 | 基本事業がめざす姿 家族の介護負担の軽減と住み慣れた地域で過ごすことができます。 |
|--------------------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 介護サービス利用者のうち居宅サービス利用割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|-----|------|-----------|-----------|-----------|----------------------------|
| | 上がると良い指標 【高齢者支援課】 | % | 79.5 | 79.7 | 78.8 | 80.0 | |
| 評価 | (状況)平成30年度は78.8%で前年と比べて0.9ポイント低下し、後期基準値からも0.7ポイント低下しています。 ・介護サービス利用者計(延べ)20,622人 ・うち居宅サービス受給者 16,240人 (原因)地域包括ケアシステムの進展により、施設介護から在宅で必要なサービスが受けられるなど、制度への理解や周知の効果が少しずつ表れてきています。 | (%) | | | | | |
| | | | | | | | 傘 (低下) 目標達成度 ■■■ (高) |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 13,608 | 14,100 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-03 生きがい活動の推進

基本事業のプロフィール

| | |
|----------------|---|
| 基本事業の対象 高齢者 | 基本事業がめざす姿 自発的な社会活動を通じて、心の豊かさや生きがいをもった生活を送ることができます。 |
|----------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 生きがいをもっている高齢者の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき |
|----|---|-----|------|-----------|-----------|-----------|------------|
| | 上がると良い指標 | % | 63.2 | 67.7 | 61.2 | 70.0 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は61.2%で、前年に比べて6.5ポイント減少しました。目標値には届きませんでしたが、おおよそ3人に2人の高齢者は生きがいをもって生活しており順調に推移しています。 (原因) アンケートの結果、趣味・娯楽、仕事、健康・スポーツ活動及び地域活動に生きがいを感じており、介護予防普及啓発事業や地域介護予防活動支援事業を通じて地域づくりや仲間づくりができていると考えられます。 | (%) | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 7,627 | 7,628 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-04 地域包括ケアの充実

基本事業のプロフィール

| | |
|----------------|--------------------------------------|
| 基本事業の対象 | 基本事業がめざす姿 |
| 高齢者 | 必要な時に相談を受けられたり、安心して暮らせるための支援を受けられます。 |

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 相談相手がない高齢者の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき |
|----|---|-----|------|-----------|-----------|-----------|------------|
| | 下がると良い指標 【高齢者支援課】 | % | 16.5 | 14.5 | 12.7 | 12.5 | |
| 評価 | (状況)平成30年度は12.7%で、前年に比べて1.8ポイント向上し、基準値からも3.8ポイント向上しており、相談相手のいない高齢者の割合は減少しています。 (原因)家族や友人、近隣住民以外にも、地域に相談できる人や機関があることを知らない高齢者がいることが考えられ、広く周知する必要があると思われます。 | (%) | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 4,221 | 4,533 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-05 介護予防サービスの充実

基本事業のプロフィール

| | |
|----------------|--|
| 基本事業の対象 高齢者 | 基本事業がめざす姿 要介護・要支援に陥るおそれのある高齢者が要介護・要支援状態となることを予防します。 高齢者が、住み慣れた地域でいつまでも自立した生活ができます。 |
|----------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 目標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|-------|---------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 指標 | 介護予防や健康づくりに心がけている高齢者の割合 | % | 83.6 | 84.1 | 89.9 | 85.0 | ☀️ (向上) |
| | 上がると良い指標 【高齢者支援課】 | | | | | | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は89.9%で、前年と比べて5.8ポイント増加しています。基準値を6.3ポイント上回っており順調に推移しています。 (原因) 効果的な介護予防普及啓発事業や地域介護予防活動支援事業が、継続的に実施されているためと考えられます。引き続き必要な情報を手に入れたり支援を受けたりできる取り組みを進めていきます。 | | | | | ☀️ (向上) | |
| | | 目標達成度 | ☀️ (達成) | | | | |
| 指標 | 要支援認定者の新規該当者の平均年齢 | 歳 | 82.0 | 82.0 | 82.5 | 83.0 | ☁️ (横ばい) |
| | 上がると良い指標 【高齢者支援課】 | | | | | | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は82.5歳で、前年度と比べて横ばいとなっています。基準値は0.5ポイント上回っており、新たに要支援認定を受ける高齢者の平均年齢は緩やかに伸びています。 (原因) 介護予防や健康づくりに90%の高齢者が取り組み、地域での声掛けや見守りといった支援を受けながら、自立した生活が送れているためと思われます。 | | | | | ☁️ (横ばい) | |
| | | 目標達成度 | ☀️ (高) | | | | |
| 指標 | 要介護認定者の新規該当者の平均年齢 | 歳 | 84.0 | 82.0 | 82.8 | 85.0 | ☀️ (向上) |
| | 上がると良い指標 【高齢者支援課】 | | | | | | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は82.8歳で、昨年度と比べて0.8ポイント向上しています。基準値からは1.2ポイント低下していますが、新たに要介護認定を受ける高齢者の平均年齢はほぼ横ばいで順調に推移しています。 (原因) 介護予防や健康づくりに90%の高齢者が取り組み、地域での声掛けや見守りといった支援を受けながら、自立した生活が送れているためと思われます。 | | | | | ☀️ (向上) | |
| | | 目標達成度 | ☀️ (高) | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 38,644 | 83,169 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-06 介護保険サービスの充実

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------------|--|
| 基本事業の対象 高齢者、介護保険事業者 | 基本事業がめざす姿 要介護状態になっても、住み慣れた地域で安心して在宅での生活ができます。 |
|------------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 在宅サービス利用者の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|----------------------|--------|
| | 上がると良い指標 【高齢者支援課】 | % | 57.9 | 54.5 | 49.1 | 60.0 | |
| 評価 | (状況)平成30年度は49.1%で前年と比べて5.4ポイント低下し、後期基準値からも8.8ポイント低下しています。 ・居宅介護・介護予防サービス受給者数 944人 ・要介護・要支援認定者数 1,921人 (原因)前年比、基準値比とも低下していますが、地域包括ケアシステムの進展により、利用者、サービス関係者へ制度の周知が行われており、在宅介護サービスを選択する利用者の割合が少しずつ増えていきますので、今後さらなる制度周知を図るよう努めていきます。 | | | | | (低下) 目標達成度 (高) | |
| 指標 | 地域密着型サービス利用者の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 上がると良い指標 【高齢者支援課】 | % | 22.2 | 21.7 | 20.8 | 25.0 | |
| 評価 | (状況)平成30年度は20.8%で前年と比べて0.9ポイント低下し、後期基準値からも1.4ポイント低下しています。 ・居宅介護・介護予防サービス受給者数 399人 ・要介護・要支援認定者数 1,921人 (原因)前年比、基準値比とも低下していますが、地域包括ケアシステムの進展により、利用者、サービス関係者へ制度の周知が行われており、地域密着型サービスを選択する利用者の割合が少しずつ増えていきますので、今後さらなる制度周知を図るよう努めていきます。 | | | | | (低下) 目標達成度 (高) | |
| 指標 | 施設入所者のうち要介護度4・5認定者の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 下がると良い指標 【高齢者支援課】 | % | 69.2 | 70.8 | 71.6 | 65.0 | |
| 評価 | (状況)平成30年度は71.6%で前年と比べて0.8ポイント低下し、後期基準値からも2.4ポイント低下しています。 ・施設入所者4,382人のうち要介護度4・5の人数は3,139人 (原因)前年比、基準値比とも低下していますが、地域包括ケアシステムの進展によって、制度やサービスが周知され、重度でも在宅で介護する方向に変わってきていますので、今後さらなる制度周知を図るよう努めていきます。 | | | | | (低下) 目標達成度 (高) | |

基本事業のコスト(千円)

| | |
|-----------|-----------|
| H29 | H30 |
| 3,445,667 | 3,407,405 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 296,584 | 285,487 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-03-01 早期療育支援体制の充実

基本事業 01-03-02 地域生活支援の推進

基本事業 01-03-03 社会参加の促進

基本事業 01-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

障害者総合支援法、児童福祉法、発達障害者支援法の一部を改正する法律が施行され、障がい者(児)の地域生活支援の一層の充実と新たな制度やサービスが創設されています。

愛南町では相談支援専門員を中心に関係機関と連携し今あるサービスや制度を組み合わせながら障がい者(児)の生活支援を行いある程度の成果は上がっていますが、障がい者の「親亡き後」の問題や障がい児に対するきめ細やかなサービス提供体制の構築などの課題もあります。

また平成30年3月に策定された第5期障がい福祉計画、第1期障がい児計画の推進に向けて取り組んでいかなければなりません。

今後は、計画推進や課題の解決に向けた取り組みを愛南町地域自立支援協議会及び専門部会で協議を行っていきます。また障がい児支援に関しては障がい福祉だけではなく、教育、保健、医療、福祉が連携し総合的に支援できる体制の構築に取り組んでいきます。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 2.93 (2.96) | 2.96 (2.97) | 2.93 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.71 (3.65) | 3.72 (3.65) | 3.71 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

施策のプロフィール

| | |
|---------|----------------------------------|
| 施策の対象 | 施策がめざす姿 |
| 障がい者(児) | 障がい者(児)が自ら望む地域生活をいきいきと営むことができます。 |

施策の成果状況と評価

| 指標 | 在宅で生活している障がい者(児)の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値(H29) | 実績値(H30) | 目標値(R03) | 指標のうごき |
|----|---|---|------|----------|----------|----------|--------|
| | 上がると良い指標 【保健福祉課】 | % | 90.1 | 88.5 | 88.6 | 91.0 | |
| 評価 | <p>(状況)平成30年度は88.6%で前年度と比較して0.1ポイント増加していますが障がい者手帳所持者1,406人のうち障がい者支援施設入所者は87人、老人福祉施設入所者は73人と昨年度より2名増加しており、ほぼ横ばいで推移しています。後期目標値を達成するためには入所者160人のうち33人が退所しなければならない状況です。</p> <p>(原因)在宅で安心して生活するためには重度障がい等に対応した社会資源が必要です。町内に必要な社会資源が少ないことが在宅生活に結び付かない要因になっていると考えられます。</p> | | | | | | (横ばい) |
| | | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目標達成度</div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 10px; height: 10px; background-color: black; margin-right: 5px;"></div> (高) </div> | | | | | |

施策のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 755,696 | 788,970 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-01 早期療育支援体制の充実

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------------------------|---|
| <p>基本事業の対象</p> <p>障がい者(児)とその家族</p> | <p>基本事業がめざす姿</p> <p>障がい児支援を、健診・相談から子育て支援の一環としてとらえ、ライフステージに沿って切れ目のない支援が得られ、家族は安心して子育てできます。</p> |
|------------------------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|---|----|-----|-----------|-----------|-----------|--|
| 療育を受けている児童数 | 人 | 61 | 64 | 65 | 69 | <p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p> |
| その他の指標 【保健福祉課】 | | | | | | |
| <p>(状況) 平成30年度は放課後等デイサービス41人、児童発達支援24人、合計65人の児童が療育を受けています。新規申請件数は増加していますが利用児童数は前年度と比較して1人の増加で横ばいで推移しています。</p> <p>(原因) 療育には利用枠があり利用児童全員に十分なサービスが提供できる支給量がないため利用回数が制限されてしまい療育の利用を中断してしまうことが原因として考えられます。また療育が必要な子どもは沢山いますが家庭の事情等で療育に繋がっていないケースもあります。</p> | | | | | | |
| 町内連携機関設置のための協議回数 | 回 | 17 | - | 21 | 21 | <p>比較不可</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (達成)</p> |
| その他の指標 【保健福祉課】 | | | | | | |
| <p>(状況) 平成30年度は関係機関との連携体制が整備され、21回の協議を行いました。今後も関係機関との連携強化は図りながら継続して協議を行っていきます。</p> <p>(原因) 関係機関からの協力を得られたことで愛南町地域自立支援協議会及び4つの専門部会等が機能し計画的に開催できたことが後期目標値の達成に結び付いたと考えています。</p> | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 52,475 | 52,756 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-02 地域生活支援の推進

基本事業のプロフィール

| | |
|---------------------------|--|
| 基本事業の対象 障がい者(児) | 基本事業がめざす姿 障がい種別に応じたサービスを受けることにより、住み慣れた地域で生活を送ることができます。 |
|---------------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 障害福祉サービス事業の利用者数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|-----|-----------|-----------|------------------------|--------|
| | その他の指標 【保健福祉課】 | 人 | 438 | 472 | 484 | 460 | |
| 評価 | (状況)平成30年度の利用者数は484人で前年度と比較して12人増加し後期目標値を達成しています。 (原因)法改正によるサービス利用対象者の拡大、相談支援体制の充実により一般相談から障がい福祉サービスの利用に繋がったことで後期目標値の達成に結び付いたと考えられます。 | | | | | (横ばい) 目標達成度 (達成) | |

| 指標 | 地域生活支援事業の利用者数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|-----|-----------|-----------|----------------------|--------|
| | その他の指標 【保健福祉課】 | 人 | 394 | 391 | 377 | 400 | |
| 評価 | (状況)平成30年度の利用者は377人と昨年度と比較して14人減少し基準値、目標値とも大きく下回っていますが、平成30年度は日常生活用具に新たな品目を追加するなど必要な方に必要なサービス等の提供はできていると考えています。 (原因)利用者が65歳になると類似したサービス等がある場合、介護保険制度の対象となるため利用者が減少したと考えられます。 | | | | | (低下) 目標達成度 (高) | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 701,399 | 727,060 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-03 社会参加の促進

基本事業のプロフィール

| | |
|--------------------------------------|--|
| <p>基本事業の対象</p> <p>障がい者(児)、事業者、町民</p> | <p>基本事業がめざす姿</p> <p>障がい者(児)が社会参加しやすい環境が整い、地域社会の一員であるという意識が醸成します。</p> |
|--------------------------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 障がい者の就労率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|-----------|---------|
| | 上がると良い指標 | % | 32.3 | - | - | 35.0 | |
| 評価 | <p>(状況)障がい者の就労率は、障がい福祉関係計画策定年度にあわせてアンケート調査を実施しているため、平成30年度の実績値は取得できていません。次回は令和2年度アンケート調査を実施して実績値を取得します。</p> <p>(原因)平成30年度の実績値は取得できていませんが、同年度の福祉就労者数は118人と、平成29年度比で4人増加していることから、障がい者の就労率は向上していると推測されます。</p> | | | | | 比較不可 | |
| | | | | | | | 目標達成度 |
| | | | | | | | ■■■ (高) |

| 指標 | 障がい者(児)の社会参加率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|------|-----------|-----------|-----------|---------|
| | 上がると良い指標 | % | 49.2 | 48.4 | - | 50.0 | |
| 評価 | <p>(状況)障がい者(児)の社会参加率は、障がい福祉関係計画策定年度にあわせてアンケート調査を実施しているため、平成30年度の実績値は取得できていません。次回は令和2年度アンケート調査を実施して実績値を取得します。</p> <p>(原因)地域社会における障がい者(児)への理解は深まっていますが、平成29年度は48.4%と基準値比で0.8ポイント微減しており、障がい者(児)の社会参加率は横ばいで推移していると推測されます。</p> | | | | | 比較不可 | |
| | | | | | | | 目標達成度 |
| | | | | | | | ■■■ (高) |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 1,061 | 1,030 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-----|-------|
| 761 | 8,124 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-04 健康・医療体制の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-04-01 心と体の健康づくり

基本事業 01-04-02 医療保険制度の健全運営

基本事業 01-04-03 福祉医療費助成制度の充実

基本事業 01-04-04 安心して医療を受けられる体制の確保

基本事業 01-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

高齢化率は42.72%と前年度に比べ 1.1ポイント増加しています。超高齢化社会に向けて壮年期からの循環器病、糖尿病、がんなどの生活習慣病への取組はますます重要となってきます。また、要介護状態とならないため重症化予防についても医療機関と連携して取り組んでいきます。

医療環境では、町内唯一の産科医院が閉院し、町内での妊婦健診ができなくなりました。また、福浦診療所も閉院となり、町内の医療機関が2施設減少しています。福浦地区においては平成30年11月から国保一本松病院の巡回診療を実施し、平成31年4月からは国保一本松病院福浦出張所を開設し診療を行っています。また、開業医も高齢化傾向にあり、限られた医療資源を活かし、県立南宇和病院を含めた医療・保健・介護・福祉の連携による地域包括ケアシステムの構築が必須です。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 2.31 (2.96) | 2.37 (2.97) | 2.31 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 4.25 (3.65) | 4.24 (3.65) | 4.25 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

施策のプロフィール

| | |
|-------|---|
| 施策の対象 | 施策がめざす姿 |
| 町民 | 健康な暮らしができる町民が増えます。 町民が安心して医療を受けることができます。 |

施策の成果状況と評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|--|----|------|-----------|-----------|-----------|--|
| 自分で健康と感じている町民の割合 【保健福祉課】 上がると良い指標 | % | 75.7 | 76.1 | 76.8 | 80.0 | 指標のうごき (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高) |
| 評価 (状況) 平成30年度は76.8%と前年度と比べ0.7ポイント増加しています。基準値からも1.1ポイント増加しており、順調に向上しています。 (原因) アンケートの結果、50～64歳、70歳以上では低下していますが、その他の年齢では増加しています。特に18歳～29歳では20.5ポイントと大きく伸びていることが要因と考えられます。 | | | | | | |
| 健康寿命(男) 【保健福祉課】 上がると良い指標 | 年 | 65.0 | - | - | 延ばす | 比較不可 目標達成度 ■■ (中) |
| 評価 (状況) 平成30年度は取得できませんでした。 (原因) 出典データである国保データベースシステムが平成30年度分から変更となり取得できなくなりました。 | | | | | | |
| 健康寿命(女) 【保健福祉課】 上がると良い指標 | 年 | 66.8 | - | - | 延ばす | 比較不可 目標達成度 ■■ (中) |
| 評価 (状況) 平成30年度は取得できませんでした。 (原因) 出典データである国保データベースシステムが平成30年度分から変更となり取得できなくなりました。 | | | | | | |
| 65歳未満の死亡率(65歳未満人口千対) 【保健福祉課】 下がると良い指標 | 人 | 2.7 | - | 2.0 | 2.6 | 指標のうごき (向上) 目標達成度 ■ (達成) |
| 評価 (状況) 平成30年度は2.0人と前年に比べ0.7人減少しています。基準値を0.7人減少し、順調に推移しています。 (原因) 特定健診受診率の向上、重症化予防の取り組みの強化等による効果も減少の一因と考えられます。 | | | | | | |

施策のコスト(千円)

| | |
|-----------|-----------|
| H29 | H30 |
| 4,147,971 | 4,775,851 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

施策の成果状況と評価

| 指標 | 町内の医療体制に対する満足度 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき |
|----|--|---------|-----|-----------|-----------|-----------|--|
| | 上がると良い指標 | 【保健福祉課】 | % | 28.6 | 33.1 | 30.7 | 40.0 |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は30.7%と前年度に比べ2.4ポイント減少しています。基準値からは2.1ポイント増加しています。</p> <p>(原因) 前年度と比較して、西海地区が8.1ポイント減少しています。福浦診療所の閉院が影響していると考えられます。</p> | | | | | | <p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p> |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-01 心と体の健康づくり

基本事業のプロフィール

| | |
|---------------|--|
| 基本事業の対象 町民 | 基本事業がめざす姿 自分に合った健康づくりの方法で健康管理ができます。 |
|---------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|---|----|------|-----------|-----------|---------------|--------|
| ストレスを解消する方法をもっている町民の割合 上がると良い指標 【保健福祉課】 | % | 61.3 | 66.7 | 68.5 | 65.0 | (横ばい) |
| (状況) 平成30年度は68.5%で前年度と比較して1.8ポイント増加しています。基準値からも7.2ポイント増加しており、順調に推移し、後期目標値を達成しています。 (原因) 30歳代を除くすべての年代で、前年度を上回っています。特に65歳以上において大きく伸びていることから、前期高齢者の健康意識の向上が考えられます。 | | | | | 目標達成度 (達成) | |

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|---|----|------|-----------|-----------|--------------|--------|
| 健康づくりの平均実践項目数 (全7項目) 上がると良い指標 【保健福祉課】 | 項目 | 3.13 | 3.13 | 3.11 | 4.00 | (横ばい) |
| (状況) 平成30年度は3.11項目とほぼ横ばいです。 (原因) 前回と比較して、男性において実践項目数が減少しています。年代別では、30歳代が減少しています。男性と若い世代からの健康づくりの意識づけが必要です。 | | | | | 目標達成度 (高) | |

基本事業のコスト (千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 120,450 | 122,797 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-02 医療保険制度の健全運営

基本事業のプロフィール

| | |
|--|--------------------------------------|
| 基本事業の対象 国民健康保険被保険者、後期高齢者医療被保険者 | 基本事業がめざす姿 医療保険制度を健全に運営します。 |
|--|--------------------------------------|

基本事業の成果状況と評価

| | | | | | | | |
|----|--|---------------------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 指標 | 国民健康保険の一人当たりの年間保険給付費 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 下がると良い指標 【町民課】 | 円 | 302,929 | 314,801 | 315,408 | 302,000 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は、平成29年度より607円増加しています。後期目標値からも13,408増加しており、後期目標値を達成できませんでした。 (原因) 被保険者数は減少を続けていますが、生活習慣病の発症や重症化、入院を要する治療、高額薬剤等、医療費の高額化により医療給付費が増加していることが原因と考えられます。 | | | | | | ☔ (低下) |
| | | 目標達成度 ■■■ (高) | | | | | |

| | | | | | | | |
|----|---|--------------------|-------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 指標 | 国民健康保険税の収納率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 上がると良い指標 【町民課】 | % | 96.57 | 96.99 | 97.06 | 96.60 | |
| 評価 | (状況) 収納率は平成29年度に比べ0.07ポイントですが向上しています。後期目標値からは0.46ポイント向上しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 被保険者への課税内容の丁寧な説明による納税意識の高まりや未納者への滞納処分の強化等の取組みが後期目標値の達成に結びついていると考えられます。 | | | | | | ☁ (横ばい) |
| | | 目標達成度 🏰 (達成) | | | | | |

| | | | | | | | |
|----|--|--------------------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 指標 | 後期高齢者医療の一人当たりの年間保険給付費 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 下がると良い指標 【町民課】 | 円 | 710,954 | 732,981 | 708,794 | 710,000 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は、平成29年度より24,187円減少し、後期計画目標値を達成しています。 (原因) 被保険者数は横ばいですが、重症等による入院治療の減少により医療費が減額したと考えます。 | | | | | | ☀ (向上) |
| | | 目標達成度 🏰 (達成) | | | | | |

| | | | | | | | |
|----|---|---------------------|-------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 指標 | 後期高齢者医療保険料の収納率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 上がると良い指標 【町民課】 | % | 99.83 | 99.80 | 99.79 | 99.90 | |
| 評価 | (状況) 収納率については、昨年度とほぼ同推移であり順調です。 (原因) 対象者へ後期高齢者医療制度の丁寧な説明や未納者に対する滞納処分の強化が原因と考えます。 | | | | | | ☁ (横ばい) |
| | | 目標達成度 ■■■ (高) | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| | |
|-----------|-----------|
| H29 | H30 |
| 3,528,844 | 4,157,085 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-03 福祉医療費助成制度の充実

基本事業のプロフィール

| | |
|---------------------------------------|---|
| <p>基本事業の対象</p> <p>子ども、障がい者、ひとり親家庭</p> | <p>基本事業がめざす姿</p> <p>社会的・経済的に弱い立場にある方の医療費に係る経済的負担を軽減し、安心して医療が受けられるよう支援します。</p> |
|---------------------------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 乳幼児医療費年間助成額 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|--------|-----------|-----------|---|--------|
| | その他の指標 【町民課】 | 千円 | 32,017 | 30,146 | 28,232 | 28,555 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は、平成29年度より1,914千円の減となっており、後期計画目標値からも323千円の減となっています。 (原因) 少子化による受給者数の減少が原因と考えられます。 | | | | | <p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p> | |

| 指標 | 児童医療費年間助成額 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|--------|-----------|-----------|--|--------|
| | その他の指標 【町民課】 | 千円 | 32,242 | 29,639 | 29,100 | 30,768 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は、平成29年度より539千円の減となっており、後期計画目標値からも1,668千円の減となっています。 (原因) 少子化による受給者数の減少が原因と考えられます。 | | | | | <p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p> | |

| 指標 | 障害者医療費年間助成額 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|--------|-----------|-----------|--|--------|
| | その他の指標 【町民課】 | 千円 | 65,868 | 66,831 | 70,287 | 66,527 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は、平成29年度より3,456千円の増となっており、後期計画目標値より3,760千円の増となっています。 (原因) 受給者数は減少していますが、長期的な受診及び重症等による入院治療で医療費が高額になった原因と考えられます。 | | | | | <p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>👑 (達成)</p> | |

| 指標 | ひとり親家庭医療費年間助成額 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|--------|-----------|-----------|---|--------|
| | その他の指標 【町民課】 | 千円 | 19,685 | 19,898 | 16,219 | 18,854 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は、平成29年度より3,679千円の減となっており、後期計画目標値からも2,635千円の減となっています。 (原因) 受給者数は減少しており、入院を要する治療や助成件数が減少したためによるものと考えられます。 | | | | | <p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p> | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 148,709 | 145,795 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-04 安心して医療を受けられる体制の確保

基本事業のプロフィール

| | |
|-------------------------------|--|
| <p>基本事業の対象</p> <p>町民、医療機関</p> | <p>基本事業がめざす姿</p> <p>一次・二次救急医療体制の確保と充実に努めます。 町内医療機関の連携を強化し、地域医療の充実に図ります。 適切な受診行動につながるようかかりつけ医・かかりつけ薬局・かかりつけ歯科医につい</p> |
|-------------------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 一次救急医療に従事する常勤医師数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|------|-----------|-----------|-----------|--|
| | 上がると良い指標 【保健福祉課】 | 人 | 13 | 13 | 12 | 13 | |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は12人と昨年度とに比較して1人減少しています。基準値を下回っています。 (原因) 福浦診療所の閉院により1人減少しました。開業医師の高齢化も今後の課題として懸念されます。</p> | (人) | | | | | <p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p> |
| | | | | | | | |
| 指標 | 二次救急医療に従事する常勤医師数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 上がると良い指標 【保健福祉課】 | 人 | 8 | 10 | 10 | 10 | |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は10人です。前年度と同様です。 (原因) 県立南宇和病院は短期応援医師により、10人を維持できています。</p> | (人) | | | | | <p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (達成)</p> |
| | | | | | | | |
| 指標 | かかりつけ医をもっている人の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 上がると良い指標 【保健福祉課】 | % | 62.4 | - | 59.8 | 70.0 | |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は59.8%と基準値に比べ、2.6ポイント低下しています。 (原因) 西海地区、一本松地区の医院の閉院、休診が影響していると考えられます。</p> | (%) | | | | | <p>比較不可</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p> |
| | | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| | |
|---------|---------|
| H29 | H30 |
| 196,430 | 201,659 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 153,538 | 148,515 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 01-05 地域福祉の推進

施策を実現する手段

基本事業 01-05-01 地域福祉活動の推進

基本事業 01-05-02 社会福祉制度の円滑運営

基本事業 01-05-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

福祉サービスの充実や生活基盤となる施設整備を進めるとともに、地域福祉を担う民生児童委員や社会福祉協議会などが様々な地域福祉活動に取り組んでいますが、地域のつながりの希薄化や担い手の高齢化が深刻化するなかで、地域で自立した生活を望む町民からの声に応えるなど、地域福祉力の更なる強化や多様化する福祉ニーズへの対応が求められています。

また、社会保障制度は臨時福祉給付金事業が終了しましたが、新たな社会保障制度として、低所得者と子育て世帯に対して消費税の10%への引き上げの影響緩和と地域における消費を喚起、下支えすることを目的としたプレミアム付商品券事業が創設することとなります。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-----------|-----------|-------------|-----|
| 満足度 | --- (---) | --- (---) | 2.91 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | --- (---) | --- (---) | 3.66 (3.63) | ➔ |

() 内は、25施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-05 地域福祉の推進

施策のプロフィール

| | |
|--------------|-------------------------------|
| 施策の対象 | 施策がめざす姿 |
| 町民 | 町民が安心して暮らすことができるまちづくりに取り組みます。 |

施策の成果状況と評価

| 指標 | 地域で支えあっていると思う町民の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|---|------|-----------|-----------|-----------|---------|---------|-----|------|---|-----|------|---|-----|------|---|----|---|---|-----|---|---|-----|---|------|------|
| | 上がると良い指標 【保健福祉課】 | % | 65.9 | - | 66.6 | 70.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は66.6%で、基準値に比べて0.7ポイント向上しており、後期目標値には届いていませんが、順調に推移しています</p> <p>(原因) アンケートの結果、西海地域は78.2%、内海地域は73.9%となっております。特に小地域活性化事業において小地域での助けあい支え合える環境づくりに取り組んだことが原因と考えます。</p> | <table border="1"> <caption>実績値と目標値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>65.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>65.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>66.6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>-</td> <td>70.0</td> </tr> </tbody> </table> | | | | 年度 | 実績値 (%) | 目標値 (%) | H28 | 65.9 | - | H29 | 65.9 | - | H30 | 66.6 | - | R元 | - | - | R02 | - | - | R03 | - | 70.0 | 比較不可 |
| 年度 | 実績値 (%) | 目標値 (%) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 65.9 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29 | 65.9 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30 | 66.6 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R元 | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R02 | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R03 | - | 70.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 目標達成度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | ■■■ (高) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

施策のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 123,170 | 115,858 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-05 地域福祉の推進

基本事業 01-05-01 地域福祉活動の推進

基本事業のプロフィール

| | |
|--------------------------|---|
| <p>基本事業の対象</p> <p>町民</p> | <p>基本事業がめざす姿</p> <p>地域住民が福祉活動に参加しやすい環境を整備することで、地域福祉活動を活性化します。</p> |
|--------------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 民生児童委員の年間延べ相談・支援件数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|-------|-----------|-----------|-----------|--------------------------------------|
| | 上がると良い指標 【保健福祉課】 | 件 | 3,517 | 3,412 | 3,641 | 3,600 | <p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p> |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は3,641人で前年度比229件増加し、基準値からも124人増加しています。</p> <p>(原因) 3年未満の新任民生児童委員がベテランの民生委員から指導や研修を受講するなどにより、相談者に対して支援する機会が増えたことが原因と考えます。</p> | (件) | | | | | |

| 指標 | 福祉分野のボランティア参加者数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|-------|-----------|-----------|-----------|--------------------------------------|
| | 上がると良い指標 【保健福祉課】 | 人 | 3,586 | 2,912 | 2,867 | 3,600 | <p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>(高)</p> |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は2,867人で基準値から719人減少していますが、前年度比は45人減の微減です。</p> <p>(原因) ボランティア連絡会主催行事が豪雨災害による一部事業を休止にしたことにより前年に比べ183人減少していることが原因と考えます。</p> | (人) | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 47,927 | 48,061 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-05 地域福祉の推進

基本事業 01-05-02 社会福祉制度の円滑運営

基本事業のプロフィール

| | |
|---------------|-------------------------------|
| 基本事業の対象 町民 | 基本事業がめざす姿 社会福祉制度を円滑に運営します。 |
|---------------|-------------------------------|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 公的な社会福祉制度に基づく延べ支援者数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき |
|----|---|----|--------|-----------|-----------|-----------|------------|
| | その他の指標 【保健福祉課】 | 人 | 10,696 | 6,933 | 16 | 6,500 | (低下) |
| 評価 | (状況) 平成30年度は16人で、前年度比6,917人減少しています。 (原因) 平成26年度から平成29年度まで実施された臨時福祉給付金事業が廃止となったことが原因です。 | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 7,877 | 1,823 |

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-05 地域福祉の推進

基本事業 01-05-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 67,366 | 65,974 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-01 環境の保全

施策を実現する手段

基本事業 02-01-01 生活・自然環境の保全

基本事業 02-01-02 環境意識の醸成

基本事業 02-01-03 景観の保全

基本事業 02-01-04 生活排水の適正処理

基本事業 02-01-05 河川・排水路の機能向上

基本事業 02-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

ここ数年、環境意識の高まりを背景に、太陽光発電システムや省エネ家電を購入するなど、環境を意識する町民が増えてきています。また、町内で再生可能エネルギー発電所が売電事業を開始するなど、環境施策を取り巻く状況は大きく変化しています。

平成19年度に策定した「愛南町環境基本計画」が計画期間の10年を迎えたことから、第1次計画を承継しつつ、近年の環境をめぐる社会の動き等に対応するため、昨年度には「第2次愛南町基本計画」を策定し、「環境がすべての生命の生存基盤であり、限りあるものであること」を共通認識として、町民、事業者及び行政が一層連携を深め、自然と共生する循環型社会の実現に向けた取組を進めています。

太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの導入を推進することにより、地球温暖化の防止を図り、地球環境にやさしい持続可能な社会づくりに努めます。

快適な生活環境の向上や美しい河川環境の保全のため、集落排水への加入や合併浄化槽の設置を推進していきます。町営浄化槽整備事業については、第1期である事業期間が令和2年度で10年を迎えるため、第2期事業として、事業者を新たに募集・選定し、事業継続を図ります。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 3.10 (2.96) | 3.11 (2.97) | 3.04 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.54 (3.65) | 3.55 (3.65) | 3.53 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

施策のプロフィール

| | |
|----------------------------------|--|
| 施策の対象 町民、事業者、行政、愛南町の自然 | 施策がめざす姿 恵み豊かな自然環境を維持し、安全で快適な生活環境を確保し、次世代に引き継ぎます。 |
|----------------------------------|--|

施策の成果状況と評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|---|----|------|-----------|-----------|-----------|----------------------|
| 豊かな自然環境が維持されていると感じる町民の割合 上がると良い指標 【環境衛生課】 | % | 90.9 | 90.1 | 89.9 | 95.0 | (低下) 目標達成度 (高) |
| (状況) 平成30年度は89.9%で、前年に比べて0.2ポイント低下しました。9割近い住民が豊かな自然環境が維持されていると感じていますが、後期目標値は達成できませんでした。 (原因) アンケートの結果、豊かな自然が維持されていると感じている住民の割合は59歳以下では91.10%で、60歳以上は84.17%です。高齢の方ほど自然環境が維持されていないと感じています。 | | | | | | |

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|---|----|------|-----------|-----------|-----------|----------------------|
| 環境にやさしい生活の平均実践項目数 (全11項目) 上がると良い指標 【環境衛生課】 | 項目 | 4.40 | 4.59 | 4.35 | 8.00 | (低下) 目標達成度 (中) |
| (状況) 前年度に比べて0.24項目、基準値からも0.05項目低下し、後期目標値には届いていません。 (原因) アンケートの結果、項目数は男性3.25に対し、女性は4.81と大きく女性が上回っています。18~29歳では3.61、70歳以上だと4.88と年齢が上がるほど増加する傾向にあります。かんきょうかわら版等による啓発活動は行っているものの、若年層や、男性の方には啓発活動による効果は低いと考えられます。 | | | | | | |

施策のコスト (千円)

| | |
|---------|---------|
| H29 | H30 |
| 606,490 | 564,774 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

基本事業 02-01-01 生活・自然環境の保全

基本事業のプロフィール

| | |
|-------------------------------------|--|
| <p>基本事業の対象</p> <p>町民、事業者、愛南町の自然</p> | <p>基本事業がめざす姿</p> <p>生活・自然環境が適正に管理され、安全で快適に暮らせます。</p> |
|-------------------------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 自然や住居の周囲が適正な管理がされてきていると感じている町民の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|------|-----------|-----------|-----------|---|
| | 上がると良い指標 【環境衛生課】 | % | 65.1 | 68.6 | 69.3 | 70.0 | <p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p> |
| 評価 | <p>(状況) 前年度に比べて0.7ポイント、基準値からも4.2ポイント増加しました。住民は自然や住居の周囲が適正に管理されていると感じています。</p> <p>(原因) アンケートの結果、適正に管理されていると感じている住民の割合は59歳以下では73.61%ですが、60歳以上になると64.26%に減少しており、高齢の方ほど適正な管理がされていないと感じている傾向にあります。</p> | | | | | | |

| 指標 | 公共水域の水質の基準達成率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|------|-----------|-----------|-----------|--|
| | 上がると良い指標 【環境衛生課】 | % | 96.9 | 96.9 | 96.9 | 97.0 | <p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p> |
| 評価 | <p>(状況) 前年度からポイントの変化はなく、成果指標値は高く推移しており、順調であると考えます。</p> <p>(原因) 水質については、気温や水量の状況によって数値が大きく変化するため評価は難しいと考えますが、今後も合併処理浄化槽の普及促進に力を入れ、水質保全に努めることが重要であると考えます。</p> | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 43,022 | 33,149 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

基本事業 02-01-02 環境意識の醸成

基本事業のプロフィール

| | |
|-------------------|---|
| 基本事業の対象 町民、事業者 | 基本事業がめざす姿 持続可能な社会に向けて、町民の環境意識を高揚させ、エネルギーの有効活用や再生可能エネルギーの利用が促進されます。 |
|-------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 新エネルギー・省エネ機器を利用している町民の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|------|-----------|-----------|-----------|--------|
| | 上がると良い指標 【環境衛生課】 | % | 75.0 | 77.4 | 81.1 | 90.0 | |
| 評価 | (状況) 前年に比べて3.7ポイント、基準値からも6.1ポイント増加しており、後期目標値には届きませんでしたが、大きく向上しました。 (原因) アンケートの結果、省エネルギー機器を利用している住民の割合は、年々増加しており、エネルギー問題への意識が向上していると考えられます。ただし、男女間では意識に差があり、男性では81.8%、女性では90.1%という結果になっており、特に男性に向けた啓発活動が必要と考えられます。 | (%) | | | | | |

| 指標 | 家庭用太陽光発電設備の導入容量 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|------|-------|-----------|-----------|-----------|--------|
| | 上がると良い指標 【環境衛生課】 | kW | 2,039 | - | 2,228 | 2,400 | |
| 評価 | (状況) 10kw未満の住宅用太陽光発電設備の導入容量の成果指標値は2,228kwとなっており、基準値から189kw増加し順調に推移しています。 (原因) 住民の省エネに対する意識が高く、設備の設置費も年々下がってきている傾向にあることが導入促進として成果向上に結びついたものと考えられます。 | (kW) | | | | | |

| 指標 | 講演会、学習会等への参加者数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|-----|-----------|-----------|-----------|--------|
| | 上がると良い指標 【環境衛生課】 | 人 | 198 | 427 | 585 | 300 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度の参加者数は585人で、前年度に比べ158人増加し、順調に推移しています。 (原因) 町内各地区へ出向いて学習会を開催したことが成果向上につながったものと考えられます。 | (人) | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 3,395 | 5,222 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

基本事業 02-01-03 景観の保全

基本事業のプロフィール

| | |
|-----------|--|
| 基本事業の対象 | 基本事業がめざす姿 |
| 町民、事業者、行政 | 歴史と文化を大切にしたい愛南町の美しい景観を守り、環境美化活動などにより、快適な環境の保全を推進します。 |

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 愛南町のまちが美しいと思う町民の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--------------------|---|-----|-----------|-----------|-----------|--------|
| | 評価 | 上がると良い指標 【環境衛生課】 (状況) 平成30年度は88.6%で前年に比べて1.4ポイント、基準値からも1.4ポイント増加しました。 (原因) 多くの町民がまちが美しいと感じています。 | % | 87.2 | 87.2 | 88.6 | 90.0 |

| 年度 | 実績値 (%) | 目標値 (%) |
|-----|---------|---------|
| H28 | 87.2 | - |
| H29 | 87.2 | - |
| H30 | 88.6 | - |
| R元 | - | - |
| R02 | - | - |
| R03 | - | 90.0 |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 2,055 | 2,052 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

基本事業 02-01-04 生活排水の適正処理

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------------|--|
| 基本事業の対象 町民、行政、公共用水域 | 基本事業がめざす姿 公共用水域の水質を保全し、衛生的な水環境を維持します。 |
|------------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|---|----|------|-----------|-----------|-----------|-----------------------|
| 汚水処理人口普及率 上がると良い指標 【環境衛生課】 | % | 42.9 | 44.3 | 45.2 | 53.8 | (向上) 目標達成度 (高) |
| (状況) 前年度と比較すると0.9ポイント増加し、指標値は向上しました。 (原因) 集落排水施設への接続件数は、ほぼ横ばいであるため、浄化槽設置基数の増加が指標値向上の要因と考えます。しかし、近年の浄化槽設置基数の伸び悩みについては、海岸部における未整備戸数が多いことから、設置用地の確保が困難な世帯が設置に踏み切れないことが要因であると考えられます。 | | | | | | |
| 農業・漁業集落排水処理施設への接続率 上がると良い指標 【環境衛生課】 | % | 80.6 | 80.8 | 80.9 | 88.0 | (横ばい) 目標達成度 (高) |
| (状況) 前年度と比較して、0.1ポイントの向上と伸び率はわずかです。 (原因) 人口減少で家の新築などが減り、設備新設件数が少なくなってきたことや、接続時における高額な工事費用等の負担が伸び悩みの主な要因と考えられます。 | | | | | | |
| 合併浄化槽の延べ設置基数 上がると良い指標 【環境衛生課】 | 基 | 956 | 1,029 | 1,079 | 1,434 | (向上) 目標達成度 (高) |
| (状況) 前年度と比較すると50基、基準値からは123基の増加となっています。しかしながら、平成29年度の設置基数が73基に対して平成30年度は50基となり、両年度の単年度で比較すると23基の減少となりました。 指標値は50基となり、23基減少しました。 (原因) 近年の浄化槽設置基数の伸び悩みについては、海岸部における未整備戸数が多いことから、設置用地の確保が困難な世帯が設置に踏み切れないことが要因であると考えられます。 | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| | |
|---------|---------|
| H29 | H30 |
| 415,890 | 420,074 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

基本事業 02-01-05 河川・排水路の機能向上

基本事業のプロフィール

| | |
|---------------------------------------|---|
| 基本事業の対象 町民及び利用者、未整備普通河川、排水路 | 基本事業がめざす姿 未整備普通河川及び排水路を適切に管理し、機能が向上します。 |
|---------------------------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 河川・水路環境への満足度 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|-----|------|-----------|-----------|-----------|---------------------------|
| | 上がると良い指標 【建設課】 | % | 66.0 | 69.7 | 67.1 | 70.0 | (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高) |
| 評価 | (状況) 平成30年度は67.1%で、昨年よりも2.6ポイント減少しています。基準値より向上していますが、目標値には届きませんでした。 (原因) アンケートの結果、整備・管理されていると感じている住民の割合は39歳以下では65.8%ですが、40歳以上になると64.6%に減少します。軽微な維持補修など以前は地域内で管理できていたものが高齢化等により困難になってきていると考えられます。 | (%) | | | | | |

| 指標 | 水路の修繕件数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|-----|-----|-----------|-----------|-----------|--------------------------|
| | その他の指標 【建設課】 | 件 | 19 | - | 6 | 30 | 比較不可 目標達成度 ■■■ (低) |
| 評価 | (状況) 平成30年度は6件で基準値比で21件減です。 (原因) 地区要望等により修繕箇所の整備が図られてきたことが修繕件数の減少の原因と考えられます。 | (件) | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 43,420 | 12,144 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 環境の保全

基本事業 02-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 98,708 | 92,133 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

施策を実現する手段

基本事業 02-02-01 ごみ排出抑制の推進

基本事業 02-02-02 リサイクルの推進

基本事業 02-02-03 廃棄物の適正処理

基本事業 02-02-04 不法投棄の防止

基本事業 02-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

本町のごみ処理等については、「愛南町一般廃棄物処理基本計画」に基づいて、ごみの減量化やリサイクルの推進に取り組んでいますが、不法投棄やその原因に結びつくポイ捨てごみなどは後を絶たず、町内全域で問題となっています。

不法投棄の防止については、監視カメラの設置や巡視員によるパトロールなどで監視体制の強化を図り、未然に防止できるよう努めます。

町民のごみ分別に対する意識が高く、ルールに沿った正しい分別が行われています。今後も、リサイクルの推進などにより、家庭系ごみや事業系ごみの更なる減量に取り組んでいきます。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 3.03 (2.96) | 3.09 (2.97) | 3.05 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.52 (3.65) | 3.46 (3.65) | 3.49 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

施策のプロフィール

| | |
|------------|--|
| 施策の対象 | 施策がめざす姿 |
| 町民、事業者、廃棄物 | ごみの排出を抑制し、リサイクルを推進するとともに、ごみを適正に処理していきます。 |

施策の成果状況と評価

| 指標 | 総ごみ排出量 【環境衛生課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき |
|----|---|----|-------|-----------|-----------|-----------|-------------------|
| | | t | 6,519 | - | 6,373 | 6,400 | |
| 評価 | (状況) 基準値と比べて146 t 減少しており、後期目標値も達成しています。 (原因) 人口の減少と各家庭での分別が適正に行われていることが要因と思われます。 | | | | | | 比較不可 |
| | | | | | | | 目標達成度 (達成) |

施策のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 347,532 | 379,062 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

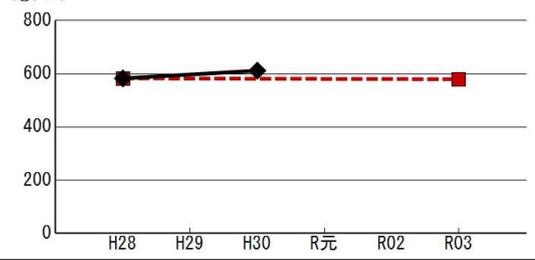
基本事業 02-02-01 ごみ排出抑制の推進

基本事業のプロフィール

| | |
|---------------|---------------------------|
| 基本事業の対象 町民 | 基本事業がめざす姿 ごみの排出を抑制します。 |
|---------------|---------------------------|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 町民一人当たりのごみの排出量 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|---------|-----|-----------|-----------|-----------|--------------------------|
| | 下がるが良い指標 【環境衛生課】 | g / 日 | 583 | - | 612 | 580 | |
| 評価 | (状況) 基準値に比べて29 g / 日増加し、後期目標値にも届きませんでした。 (原因) 人口は減少しているものの、災害等の影響により一時的にごみの排出量が増えたものと考えられます。 | (g / 日) | | | | | 比較不可 目標達成度 ■■■ (高) |



基本事業のコスト (千円)

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 22,359 | 21,166 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

基本事業 02-02-02 リサイクルの推進

基本事業のプロフィール

| | |
|-------------------|---------------------------|
| 基本事業の対象 町民、事業者 | 基本事業がめざす姿 リサイクルを推進します。 |
|-------------------|---------------------------|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | リサイクル率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|------|-----------|-----------|------------------|--------|
| | 上がると良い指標 | % | 22.0 | 22.2 | 22.3 | 23.0 | (横ばい) |
| 評価 | (状況) 前年度と比べて微増ですが、後期目標値へ向け順調に推移しています。 (原因) 住民の3R(リデュース(廃棄物の抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再資源化))への関心の高まりによる適正な分別やペットボトルなどの再資源化対策によるものと考えられます。 | | | | | 目標達成度 ■■■ (高) | |

| 指標 | 分別資源化活動を行っている町民の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|------|-----------|-----------|-------------------|--------|
| | 上がると良い指標 | % | 58.1 | 71.1 | 70.2 | 70.0 | (横ばい) |
| 評価 | (状況) 前年度と比べると0.9ポイント低下しましたが、後期目標値は達成しています。 (原因) リサイクルの意識が高く、多くの世帯が分別を行っていることが原因と思われます。 | | | | | 目標達成度 ■■■ (達成) | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-------|-----|
| 1,327 | 819 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

基本事業 02-02-03 廃棄物の適正処理

基本事業のプロフィール

| | |
|----------------------|--------------------------------|
| 基本事業の対象 町民、事業者、行政 | 基本事業がめざす姿 廃棄物を安全かつ適正に処理します。 |
|----------------------|--------------------------------|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 町民一人当たりの廃棄物処理費用 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|--------|-----------|-----------|-----------|---------|
| | 下がるが良い指標 【環境衛生課】 | 円 | 14,628 | - | 14,320 | 15,679 | |
| 評価 | (状況) 基準値と比較すると308円減少し、後期目標値も達成しています。 (原因) 本年度はし尿施設移設の補助を行っており、そのことが成果指標値が向上となったの要因と考えられます。 | | | | | 比較不可 | |
| | | | | | | | 目標達成度 |
| | | | | | | | ■■■ (高) |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 256,990 | 304,970 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

基本事業 02-02-04 不法投棄の防止

基本事業のプロフィール

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 基本事業の対象 町域 | 基本事業がめざす姿 不法投棄を早期に発見し、未然に防止します。 |
|---------------|------------------------------------|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 不法投棄苦情対応件数 【環境衛生課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の つごき | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|---|-----|-----------|-----------|-----------|--------------|-----|-----|-----|----|----|-----|----|----|-----|---|----|-----|---|----|----------------|
| | | 件 | 13 | 15 | 6 | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | (状況) 前年度と比べて9件減少し、後期目標値も達成しています。 (原因) 大規模な不法投棄の苦情は少ないですが、苦情の出にくい少量の家庭ごみが見受けられます。 | <table border="1"> <caption>不法投棄苦情対応件数実績値と目標値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>15</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>6</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>-</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 年度 | 実績値 | 目標値 | H28 | 13 | 13 | H29 | 15 | 13 | H30 | 6 | 11 | R03 | - | 10 | 指標のつごき (向上) |
| | | 年度 | 実績値 | 目標値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 13 | 13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29 | 15 | 13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30 | 6 | 11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R03 | - | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 目標達成度 (中) | | | | | | | | | | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 6,743 | 8,437 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 廃棄物抑制とリサイクルの推進

基本事業 02-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 60,113 | 43,670 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-03 道路環境の充実

施策を実現する手段

基本事業 02-03-01 愛南町への高速道路の早期延伸

基本事業 02-03-02 国・県道の整備促進

基本事業 02-03-03 町道の整備促進

基本事業 02-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

宇和島道路は、平成27年3月に全線開通し首都圏までの所要時間が短縮となりました。
 津島道路の津島岩松～内海間の進捗状況は、粕地区において用地買収と並行し28年度から橋梁工事など本格的な工事に着手しています。
 四国横断自動車道「宿毛～内海間」は、30年度末に計画段階評価を終え、引き続き次年度から次のステップとなる都市計画等の調査を行う予定で、今後も早期の新規事業化を図るため要望活動を継続する必要があります。
 町道においては、地区要望をもとに道路改良、維持・管理の推進に努めていますが、町民の望む道を作るには町民の協力も必要不可欠です。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 2.72 (2.96) | 2.74 (2.97) | 2.77 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.85 (3.65) | 3.85 (3.65) | 3.78 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 道路環境の充実

施策のプロフィール

| | |
|---------------------------------|--|
| <p>施策の対象</p> <p>町民、道路利用者、道路</p> | <p>施策がめざす姿</p> <p>町外への移動時間が短縮され、安全で快適な通行ができます。 町内の道路において安全で快適な通行ができます。</p> |
|---------------------------------|--|

施策の成果状況と評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|---|-----|------|-----------|-----------|-----------|--------------------------|
| <p>愛南町役場から松山市までの自動車での所要時間</p> <p>下がると良い指標 【建設課】</p> | 分 | 130 | 130 | 130 | 130 | (横ばい) |
| <p>（状況）29年度からの所要時間の短縮はありませんが、目標値は達成しています。 （原因）平成27年3月に全線開通した宇和島道路以南の津島道路については、平成28年度から内海地区で橋梁工事に着手し、並行して用地買収を順次行っています。</p> | (分) | | | | | <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p> |
| <p>町内の道路環境の満足度</p> <p>上がると良い指標 【建設課】</p> | % | 63.5 | 63.5 | 65.7 | 68.0 | (向上) |
| <p>（状況）目標値には68%で2.3ポイント届いていませんが、指標値は前年指標値より2.2ポイント微増しています。 （原因）町内の道路は国道、県道、町道、農道、林道等いろいろな道路がありますが、町道だけでも総延長が約538kmあり維持・管理に苦慮しています。町民の理解と協力があれば目標値に限りなく近づくと考えられます。</p> | (%) | | | | | <p>目標達成度</p> <p>(高)</p> |
| <p>道路管理上の損害賠償請求件数</p> <p>下がると良い指標 【建設課】</p> | 件 | 1 | - | 0 | 0 | 比較不可 |
| <p>（状況）平成30年度は、前年度と同じ0件で基準値、目標値共に達成しました。 （原因）町内パトロール強化や地域からの通報等に迅速に対応し、必要な箇所については早急に修繕等を実施したことが原因と考えられます。</p> | (件) | | | | | <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p> |

施策のコスト（千円）

| | |
|---------|---------|
| H29 | H30 |
| 713,460 | 849,670 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 道路環境の充実

基本事業 02-03-01 愛南町への高速道路の早期延伸

基本事業のプロフィール

| | |
|-------------------------------------|---|
| 基本事業の対象 町民、道路利用者、四国横断自動車道 | 基本事業がめざす姿 町外（宇和島・幡多圏域等）への移動時間が短縮され、快適で安全な通行ができます。 |
|-------------------------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|--|-----|------|-----------|-----------|-----------|----------------------------|
| 津島道路の開通は、町の発展のために必要と考える町民の割合 上がると良い指標 【建設課】 | % | 91.2 | 89.5 | 91.4 | 93.0 | |
| (状況) 平成29年度からの指標値は1.9ポイント向上しましたが、目標値には届いていません。 (原因) 平成27年3月に近隣の津島岩松ICが開通し、高速道路の愛南町への早期延伸が身近となり、町民の関心は高いと考えられます。 | (%) | | | | | |
| | | | | | | ☀ (向上) 目標達成度 ■■■ (高) |

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|---|-----|------|-----------|-----------|-----------|----------------------------|
| 宿毛市までの高速道路延伸は、町の発展のために必要と考える町民の割合 上がると良い指標 【建設課】 | % | 87.9 | 86.9 | 87.8 | 92.0 | |
| (状況) 29年度からの指標値は0.9ポイント向上しましたが、目標値には届いていません。 (原因) 宿毛から内海間について、平成30年度末に計画段階評価を完了しており、引き続き次のステップとなる都市計画等の調査を実施予定なので、迅速な対応により早期の新規事業化を図るため、要望活動を実施していきます。 | (%) | | | | | |
| | | | | | | ☀ (向上) 目標達成度 ■■■ (高) |

基本事業のコスト（千円）

| | |
|---------|---------|
| H29 | H30 |
| 288,885 | 430,248 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 道路環境の充実

基本事業 02-03-02 国・県道の整備促進

基本事業のプロフィール

| | |
|-----------------------|--|
| 基本事業の対象 国道、県道道路利用者 | 基本事業がめざす姿 道路環境が改善され、町外への移動時間が短縮されるとともに、快適で安全な通行ができます。 |
|-----------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 国道・県道の道路満足度 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|----------------------|--------|
| | 上がると良い指標 【建設課】 | % | 64.9 | 64.3 | 67.8 | 66.0 | |
| 評価 | (状況)平成29年度からの指標値は、3.5ポイント向上し、目標値も達成しています。 (原因)国・県道の線形不良を改善してもらうための継続した要望活動の成果が上がり、徐々にではありますが道路改良がされていることが指標値向上の原因と考えられます。 | | | | | (向上) 目標達成 (達成) | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 10,972 | 11,736 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 道路環境の充実

基本事業 02-03-03 町道の整備促進

基本事業のプロフィール

| | |
|---------------------|--|
| 基本事業の対象 町道、道路利用者 | 基本事業がめざす姿 町民に身近な生活道路を整備し、安全で快適な通行ができます。 |
|---------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 町道の道路満足度 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|---------------------------|--------|
| | 上がると良い指標 【建設課】 | % | 62.1 | 62.7 | 63.7 | 70.0 | |
| 評価 | (状況) 前回と比較し1.0ポイントの微増で、目標値は70%で6.3ポイント届いていません。 (原因) 町道は総延長が約538kmあり維持・管理に苦慮しています。橋梁点検や道路改良等に経費を掛けているものの、町民の望むものにはなっていないと考えられます。以前は地域の「道づくり」により道路環境が保たれていましたが、そのような町民の活動が減少傾向にあります。町民に「道を愛する心」をもっていただくと目標値に限りなく近づくと考えられます。 | | | | | (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高) | |

| 指標 | 町道（規格道路）の改良率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|--------------------------|--------|
| | 上がると良い指標 【建設課】 | % | 52.0 | - | 52.0 | 53.0 | |
| 評価 | (状況) 指標値の算出基礎である道路台帳の補正を概ね隔年で行っているため、H29年度及びH30年度指標値が取得できませんが、H29年度に10件・延長975m、H30年度に5件・延長475mの改良工事を実施しているため、目標値には近づいていると考えられます。 (原因) 道路改良は多額の費用を要することから国庫補助事業等を活用し実施していますが、近年国庫補助金の減額等により、規格道路改良工事が困難な状況で予定より進んでいないのが原因です。 | | | | | 比較不可 目標達成度 ■■■ (中) | |

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 333,938 | 326,019 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 道路環境の充実

基本事業 02-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 79,665 | 81,667 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-04 公共交通の確保

施策を実現する手段

基本事業 02-04-01 町による生活交通の確保

基本事業 02-04-02 公共交通機関の利用促進

基本事業 02-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

人口減少や少子高齢化の進行により民営バス及び町営コミュニティバスの利用者は年々減少しています。また、交通安全の観点から、高齢ドライバーの免許返納が増加し、移動手段のない高齢者が増加することが予想されます。

このような状況に対応するため、平成26年度に策定した「愛南町地域公共交通網形成計画」の基本方針である、誰もが移動できる持続可能な公共交通のあるまちの実現に向け愛南町にあった公共交通体系の構築が求められています。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 2.59 (2.96) | 2.51 (2.97) | 2.45 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.82 (3.65) | 3.85 (3.65) | 3.87 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 公共交通の確保

施策のプロフィール

| | |
|-------|------------------|
| 施策の対象 | 施策がめざす姿 |
| 町民 | 町内の移動に困る方が減少します。 |

施策の成果状況と評価

| 指標 | 公共交通による移動に困らない町民割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|------|-----------|-----------|-----------|--------|
| | 上がると良い指標 【総務課】 | % | 45.9 | 41.3 | 37.8 | 50.0 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は37.8%で、前年度と比べて3.5ポイント減少し約6割の住民が、バスの便数や運航時間に不便を感じている状況です。 (原因) 平成29年度から30年度にかけて、民間の路線バスが3路線廃線になったことが影響していると考えられます。 | (%) | | | | | |

施策のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|--------|---------|
| 86,730 | 103,504 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 公共交通の確保

基本事業 02-04-01 町による生活交通の確保

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------|---|
| 基本事業の対象 町民、行政 | 基本事業がめざす姿 需要にあわせた効果的効率的で持続可能な交通手段を確保します。 |
|------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 町営の交通手段の年間利用者数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|--------|-----------|-----------|-----------------------|--------|
| | 上がると良い指標 【総務課】 | 人 | 15,683 | 18,976 | 32,044 | 22,500 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は32,044人で、前年度に比べ13,068人増加しています。 (原因) 平成30年6月1日より内海地域の本網代・柏線の運行を開始したことによるものです。その他の既存路線は横ばいの状況でした。 | (人) | | | | (向上) 目標達成度 (達成) | |

| 指標 | 町営の交通手段を運営するために必要な一世帯当たりの負担額 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|-------|-----------|-----------|-----------------------|--------|
| | 下がると良い指標 【総務課】 | 円 | 1,297 | 1,593 | 2,926 | 4,000 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は2,926円で、前年度より1,333円増加しています。 (原因) 路線の増加による事業費の増加が低下の原因と考えられます。 | (円) | | | | (低下) 目標達成度 (達成) | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|--------|---------|
| 86,730 | 103,504 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 公共交通の確保

基本事業 02-04-02 公共交通機関の利用促進

基本事業のプロフィール

| | |
|---------------------|--|
| 基本事業の対象 町民、民間事業者 | 基本事業がめざす姿 既存のバス路線維持のために、町民のバスの利用を促進します。 |
|---------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 町内を運行する民間運行バスの年間利用者数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|---------|-----------|-----------|-----------------------|--------|
| | 上がると良い指標 【総務課】 | 人 | 288,672 | 252,439 | 249,652 | 210,000 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は249,652人で、前年度に比べ2,787人減少しています。 (原因) 路線廃止の廃止や人口減少による利用者数の減少が、低下の原因と考えられます。 | | | | | (低下) 目標達成度 (達成) | |

| 指標 | 町内を運行する民間運行バスの平均乗車率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|-----------------------|--------|
| | 上がると良い指標 【総務課】 | % | 7.61 | 5.26 | 5.02 | 5.50 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は5.02%で、前年度に比べて0.24ポイント減少しています。 (原因) 年間利用者は減っていますが、運行車両の小型化により乗車率は維持されていることが横ばいの要因と考えられます。 | | | | | (横ばい) 目標達成度 (高) | |

| 指標 | 民間運行バスの町内路線維持に必要な一世帯当たりの負担額 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|-------|-----------|-----------|------------------------|--------|
| | 下がると良い指標 【総務課】 | 円 | 6,279 | 6,279 | 6,404 | 6,600 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は6,404円で、前年度より125円増加しています。 (原因) 補助金額は、ほぼ同額でしたが、人口減少により負担額が増加したと考えられます。 | | | | | (横ばい) 目標達成度 (達成) | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-----|-----|
| 0 | 0 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 公共交通の確保

基本事業 02-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|-----|-----|
| 0 | 0 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 02-05 安定的な水道水の供給

施策を実現する手段

基本事業 02-05-01 安定的な給水の推進

基本事業 02-05-02 経営の安定化

基本事業 02-05-03 地震・災害に強い水道の整備

基本事業 02-05-04 安全な給水の推進

基本事業 02-05-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

総務省から将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」の策定が求められ、本町におきましては平成29年3月に策定しました。（計画年度：平成29年度～平成38年度）
「経営戦略」の策定にあたって、健全な事業運営に必要な財源の確保のため水道料金収入の適正化が求められていますが、給水人口の減少に伴い、水道料金収入は年々減少しています。また、災害時等に安定した水道水の供給を確保するため、老朽化した施設の更新、水道管の更新・耐震化が求められています。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 3.63 (2.96) | 3.65 (2.97) | 3.62 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.34 (3.65) | 3.28 (3.65) | 3.27 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

施策のプロフィール

| | |
|-----------------|-------------------------------------|
| 施策の対象 | 施策がめざす姿 |
| 愛南町営水道の給水区域内の町民 | 給水区域内の町民に対して、安定的に「安心・安全な水道水」を供給します。 |

施策の成果状況と評価

| 指標 | 水道水に満足している町民の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|-----|------|-----------|-----------|-----------|--------|
| | 上がると良い指標 【水道課】 | % | 89.2 | 91.8 | 91.7 | 90.0 | |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は91.7%で、前年に比べて0.1ポイント減少しましたが、後期目標値も達成しており、概ねの町民が水道水の水質や水圧に満足しています。</p> <p>(原因) 料金が上昇傾向にあり、水質や水圧等の水道サービスに価格が見合わないなどの不満がある方もいますが、老朽管及び水道施設の継続的な更新を行っているため長期間にわたる給水不良等の不具合はなく、また、水質基準に適合した供給を行っていることから、「安心・安全な水道水」として町民からの認識が維持できていると考えられます。</p> | (%) | | | | | |

施策のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 251,532 | 233,543 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

基本事業 02-05-01 安定的な給水の推進

基本事業のプロフィール

| | |
|-----------------|--|
| 基本事業の対象 水道施設 | 基本事業がめざす姿 老朽施設（配水管等）が整備され安定的に給水します。 有収率の向上により、施設維持管理費を削減します。 |
|-----------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 有収率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|--|------|-----------|-----------|-----------|--------|-----|-----|----|-----|-----|---------|------|------|------|---|---|------|---------|---|---|---|---|---|------|---------------------------|
| | 上がると良い指標 【水道課】 | % | 75.5 | 75.3 | 75.4 | 76.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は75.4%で、前年に比べて0.1ポイント増加しましたが、有収率はほぼ横ばいで推移しており改善には至っていません。 (原因) 経年劣化した水道管の更新や漏水調査の外部委託による漏水解消のための取組を行い成果の向上に努めていますが、一方で、高度経済成長期に集中整備が行われた水道管の多くが法定耐用年数を経過したことによる劣化を起因とする漏水が増加傾向にあることが考えられます。 | <table border="1"> <caption>有収率実績値</caption> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R元</td><td>R02</td><td>R03</td></tr> <tr><th>実績値 (%)</th><td>75.5</td><td>75.3</td><td>75.4</td><td>-</td><td>-</td><td>75.4</td></tr> <tr><th>目標値 (%)</th><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>76.0</td></tr> </table> | | | | 年度 | H28 | H29 | H30 | R元 | R02 | R03 | 実績値 (%) | 75.5 | 75.3 | 75.4 | - | - | 75.4 | 目標値 (%) | - | - | - | - | - | 76.0 | (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高) |
| 年度 | H28 | H29 | H30 | R元 | R02 | R03 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実績値 (%) | 75.5 | 75.3 | 75.4 | - | - | 75.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目標値 (%) | - | - | - | - | - | 76.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 指標 | 突発的な断水件数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|---|-----|-----------|-----------|-----------|--------|-----|-----|----|-----|-----|---------|----|----|----|---|---|----|---------|---|---|---|---|---|----|--------------------------|
| | 下がると良い指標 【水道課】 | 件 | 42 | 56 | 41 | 40 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は41件で、前年に比べて緊急な断水が15件減少し、給水の安定性は向上しました。 (原因) 老朽化した水道管の更新及び、漏水調査委託等の漏水解消にかかる取組を行っていることが成果向上に結びついたと考えられます。 | <table border="1"> <caption>突発的な断水件数実績値</caption> <tr><th>年度</th><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R元</td><td>R02</td><td>R03</td></tr> <tr><th>実績値 (件)</th><td>42</td><td>56</td><td>41</td><td>-</td><td>-</td><td>41</td></tr> <tr><th>目標値 (件)</th><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>40</td></tr> </table> | | | | 年度 | H28 | H29 | H30 | R元 | R02 | R03 | 実績値 (件) | 42 | 56 | 41 | - | - | 41 | 目標値 (件) | - | - | - | - | - | 40 | (向上) 目標達成度 ■■■ (高) |
| 年度 | H28 | H29 | H30 | R元 | R02 | R03 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実績値 (件) | 42 | 56 | 41 | - | - | 41 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目標値 (件) | - | - | - | - | - | 40 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

基本事業のコスト（千円）

| | |
|-----|-----|
| H29 | H30 |
| 0 | 0 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

基本事業 02-05-02 経営の安定化

基本事業のプロフィール

| | |
|--------------------------------------|--|
| <p>基本事業の対象</p> <p>給水区域内の町民、水道事業者</p> | <p>基本事業がめざす姿</p> <p>水道の運営基盤を強化し、適正な料金で使用できる体制を確立します。</p> |
|--------------------------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 内容 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|-----|------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 指標 | <p>公営企業会計における経常収支比率（一般会計基準外繰入金を除く。）</p> <p>上がると良い指標 【水道課】</p> | % | 98.6 | 79.5 | 81.09 | 86.9 | |
| | <p>（状況）平成30年度は81.09%で、前年に比べて1.59ポイント増加し、経営の安定性は向上しました。</p> <p>（原因）給水人口の減少及び節水機器の普及の影響を受け、水道料金収入は減少し、経常収益は前年比22,660千円減の568,153千円となりましたが、減価償却費及び修繕費等の経常費用を縮減したことにより前年比42,219千円減の700,635千円となり、経常収支が改善されたことによります。</p> | (%) | | | | | |
| 指標 | <p>料金収納率</p> <p>上がると良い指標 【水道課】</p> | % | 98.4 | 98.7 | 98.9 | 98.4 | |
| | <p>（状況）平成30年度は98.9%で、前年に比べて0.2ポイント増加しており、目標値の水準以上で推移しています。</p> <p>（原因）水道料金未納者に対する戸別訪問の実施や電話連絡による未納の通知、また、毎月の支払督促及び給水停止の業務を行っていることが成果の向上に結びついたと考えられます。</p> | (%) | | | | | |

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 241,532 | 223,543 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

基本事業 02-05-03 地震・災害に強い水道の整備

基本事業のプロフィール

| | |
|---------|---|
| 基本事業の対象 | 基本事業がめざす姿 |
| 水道施設 | 管路の耐震化、主要配水池等への緊急遮断弁の整備及び主要浄水場への自家発電の整備により、地震・災害時の断水等の被害を最小限にとどめます。 |

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 指標のつごき | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) |
|---|------------------|----|------|-----------|-----------|-----------|
| 管路の耐震化率 上がると良い指標 【水道課】 | (向上) | % | 26.1 | 26.7 | 27.4 | 30.0 |
| (状況) 平成30年度は27.4%で、前年に比べて0.7ポイント増加し、管路の耐震率は順調に推移しています。 (原因) 目標値の30.0%に向けて、毎年度耐用年数の到来した水道管を耐震管更新工事において計画的に実施していることが、成果の向上に結び付いたと考えられます。 | 目標達成度 ■■■ (高) | | | | | |
| 貯水施設における緊急遮断弁設置割合 上がると良い指標 【水道課】 | (低下) | % | 77.8 | 77.8 | 70.0 | 88.9 |
| (状況) 設置対象箇所数の見直しにより、前年に比べて7.8ポイント減少していますが、設置済数は前年と同じです。 (原因) 広見配水池の完成に伴い、緊急遮断弁設置の対象としたため、平成30年度から設置対象配水池が9箇所から10箇所となり、指標値が低下しました。(設置済配水池7箇所 / 設置対象配水池10箇所 = 70.0%) 令和元年度から令和2年度に未設置の配水池2箇所に緊急遮断弁を設置する計画としています。 | 目標達成度 ■■ (中) | | | | | |
| 浄水・送水施設における自家発電設備設置割合 上がると良い指標 【水道課】 | (横ばい) | % | 75.0 | 75 | 75.0 | 87.5 |
| (状況) 平成30年度は75.0%で、前年と変わらず横ばいの状況です。 (原因) 平成29年度までに主要な浄水場等8施設の内、6施設については自家発電設備の設置を完了し、災害等による停電時においても一定時間の給水を確保が可能となりました。(設置済6施設 / 主要浄水場8施設 = 75.0%) 今後、令和3年度までに1基を新設する計画としています。 | 目標達成度 ■■ (中) | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| | |
|-----|-----|
| H29 | H30 |
| 0 | 0 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

基本事業 02-05-04 安全な給水の推進

基本事業のプロフィール

| | |
|---------|------------------|
| 基本事業の対象 | 基本事業がめざす姿 |
| 浄水水質 | 清浄で安全な水道水を供給します。 |

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 目標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|-----|-----|-----------|-----------|-----------|-------------------------------|
| 指標 | 浄水場の施設維持管理上の不具合件数 | 件 | 0 | 0 | 0 | 0 | (向上) 目標達成度 (達成) |
| | 下がると良い指標 【水道課】 | (件) | | | | | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は前年と同様の0件であり、目標値の水準で推移しており、安定的な水道水の供給を図ることができました。 (原因) 職員による日々の浄水施設点検業務、及び専門技術を有する委託業者による浄水施設保守業務を実施してきたことから、施設異常の早期発見、早期改善につながったため、成果の向上に結びついたと考えられます。 | | | | | | |

| 指標 | 目標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|-----|-----|-----------|-----------|-----------|-------------------------------|
| 指標 | 水道水の水質検査において、基準値を上回った件数 | 件 | 0 | 1 | 0 | 0 | (向上) 目標達成度 (達成) |
| | 下がると良い指標 【水道課】 | (件) | | | | | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は0件で、前年に比べて1件減少し、目標値の水準で推移しており、水質検査において基準値を上回ることなく安全な水道水の供給を行うことができました。 (原因) 浄水場等での毎日検査、定期的な水道施設管理を実施していることから、基準値を上回ることなく安全な水道水を供給できたと考えられます。 | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-----|-----|
| 0 | 0 |

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-05 安定的な水道水の供給

基本事業 02-05-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 10,000 | 10,000 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-01 水産業の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-01-01 水産基盤の整備

基本事業 03-01-02 漁業の安定経営

基本事業 03-01-03 ぎょしょく教育と消費拡大

基本事業 03-01-04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携強化

基本事業 03-01-05 漁業後継者の育成

基本事業 03-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

漁船漁業において、平成29年度のカツオー本釣り漁業の水揚げ量は、黒潮の蛇行や異常気象により近年にない不漁が続き、さらにまき網漁業も平成29年12月から翌年2月にかけて日本国内で発生した異常寒波の影響による不漁が続き大打撃を受けました。しかし、平成30年度では異常気象等の影響が少なくカツオー本釣り漁業及びまき網漁業ともに漁が戻り、全体的な水揚げ量の底上げがなされました。

養殖業においては、魚類養殖業の販売価格が好調であり、真珠・真珠母貝養殖についても、高いレベルでの安定的な品質により近年上向きになっています。

漁港及び漁港海岸施設の整備については、漁業者の減少や高齢化、漁船の減少が進むなか、いかに住みやすく働きやすい環境づくりの推進が不可欠であり、併せて老朽化した施設等の長寿命化対策を推進し、機能の維持・保全を計画的に実施することにより戦略的に施設の維持管理・更新を図る必要があります。また今後、激甚化が懸念される台風・低気圧災害等に対する防災・減災対策に取り組み、災害に強い漁港地域づくりの必要があります。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 3.20 (2.96) | 3.27 (2.97) | 3.21 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.58 (3.65) | 3.61 (3.65) | 3.53 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

施策のプロフィール

| | |
|----------------------------|---|
| <p>施策の対象</p> <p>漁業者、町民</p> | <p>施策がめざす姿</p> <p>漁業経営の安定化及び持続可能な水産業の推進に向けた環境の整備をします。</p> |
|----------------------------|---|

施策の成果状況と評価

| 指標 | 漁業生産額 上がると良い指標 【水産課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|--------|-----------|-----------|--|--------|
| | | 百万円 | 20,535 | 20,648 | 20,491 | 21,000 | |
| 評価 | <p>(状況) 対前年度比は減少していますが、近年の漁業生産額は増加傾向にあり、目標値の達成に向かっていと考えられます。</p> <p>(原因) 国内における水産物の消費は減少の一途をたどっており、町内水産物の出荷量も減少していることが原因として考えられます。</p> | | | | | <p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p> | |

| 指標 | 経営体数 上がると良い指標 【水産課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|-----|-----|-----------|-----------|--|--------|
| | | 経営体 | 397 | 355 | 331 | 400 | |
| 評価 | <p>(状況) 経営体数は減少傾向にあります。</p> <p>(原因) 少子高齢化や若者の都市部流出により、新規就業者や後継者が増えないこと、また、高齢漁業者の引退が原因として考えられます。</p> | | | | | <p>(低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (中)</p> | |

施策のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 647,164 | 747,571 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-01 水産基盤の整備

基本事業のプロフィール

| | |
|----------------------|---|
| 基本事業の対象 漁業者、漁協、行政 | 基本事業がめざす姿 漁港機能の充実を図り、漁業活動の安全性と稼働率を高めます。 高潮、津波等による被害から背後地の生命や財産を防護します。 |
|----------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 漁港施設の充足率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|-----------------------|--------|
| | 上がると良い指標 【水産課】 | % | 42.4 | 42.4 | 48.4 | 42.7 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度の整備率は48.4%で、前年に比べて6%増加し、順調に推移しています。 (原因) 新たに施設整備は実施していませんが、漁業従事者の高齢化等により登録漁船数が減少したため、必要係留施設延長が減少となり、よって充足率が増加したと考えられます。今後は漁港施設の維持補修を行うことで、長寿命化を図る方向で推進するため、整備率はほぼ横ばい状態が続くと思われます。 | | | | | (向上) 目標達成度 (達成) | |
| 指標 | 海岸施設の整備率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 上がると良い指標 【水産課】 | % | 31.0 | 31.0 | 31.7 | 37.8 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度の整備率は31.7%で、前年に比べて0.7%増加し、順調に推移しています。 (原因) 船越漁港海岸施設整備事業で弓立地区の護岸が30年度に事業完了となったため、成果向上に繋がったものと思われます。 | | | | | (横ばい) 目標達成度 (高) | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 497,141 | 557,060 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

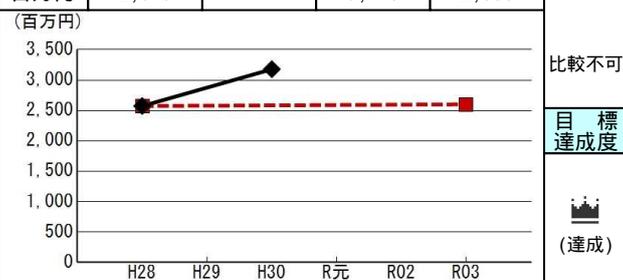
基本事業 03-01-02 漁業の安定経営

基本事業のプロフィール

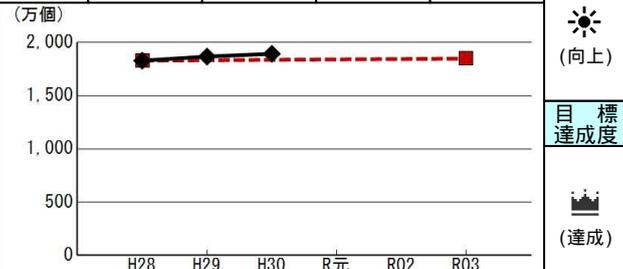
| | |
|------------------------------------|--|
| 基本事業の対象 漁船漁業生産者、養殖業者、漁業者 | 基本事業がめざす姿 新技術の確立及び支援体制の整備によって、付加価値の高い水産物を安定的に供給できるようになります。 良好な漁場環境を保全し、安心安全な水産業の振興を目指します。 |
|------------------------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

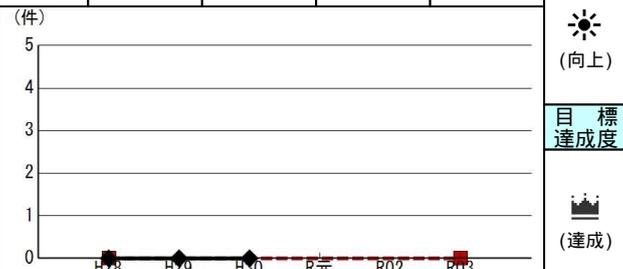
| 指標 | 地区内漁業種別水揚金額 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|-------|-------|-----------|-----------|-------------------|--------|
| | 上がると良い指標 【水産課】 | 百万円 | 2,573 | - | 3,179 | 2,600 | 比較不可 |
| 評価 | (状況) 平成30年度の愛南漁協及び久良漁協の水揚金額は3,179百万円で基準値に比べて23.6ポイント増加し、順調に推移しています。 (原因) ここ数年の漁船漁業の水揚げ量は、黒潮の蛇行や異常寒波の影響により近年にない不漁が続きました。平成30年度では異常気象等の影響が少なかったことにより、カツオ一本釣り漁業においては前年比21.4ポイント増加し、全体的な好漁に結び付いたと考えられます。 | (百万円) | | | | 目標達成度 (達成) | |



| 指標 | アコヤ貝（真珠母貝）種苗生産量 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|------|-------|-----------|-----------|-------------------|----------|
| | 上がると良い指標 【水産課】 | 万個 | 1,831 | 1,869 | 1,895 | 1,850 | (向上) |
| 評価 | (状況) アコヤ貝種苗生産注文数1,895万個に対し、100%である1,895万個生産し目標を達成しました。 (原因) 真珠、母貝養殖の生産量と売上げが向上している中、海洋資源開発センターでの種苗生産の成否は、養殖業者の経営に大きな影響を及ぼします。良い品質の貝を安定的に提供できるよう、生産管理とリスク分散を徹底した結果、4年連続して安定生産に結び付いたと考えられます。 | (万個) | | | | 目標達成度 (達成) | |



| 指標 | 水産用水基準の不適合件数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|-----|-----------|-----------|-------------------|----------|
| | 下がると良い指標 【水産課】 | 件 | 0 | 0 | 0 | 0 | (向上) |
| 評価 | (状況) 平成30年度は0件であり、目標を達成しています。1年間で計4回の漁場環境調査を実施して動態の把握をし、さらにそれを公表することで環境保全を啓発しています。 (原因) 宇和海特有の大きな海水交換が行われることもあり、水質は安定しています。漁場改善計画に沿って過密養殖をしないことで、環境を保全していることが大きな要因であると考えられます。 | (件) | | | | 目標達成度 (達成) | |



基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 24,208 | 53,347 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-03 ぎょしょく教育と消費拡大

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------------------|---|
| <p>基本事業の対象</p> <p>住民、消費者</p> | <p>基本事業がめざす姿</p> <p>ぎょしょく教育の普及推進活動によって、魚食と健康に関する普及・啓発を図ります。ぎょしょく教育を通じて、地産地消を推進し、地元水産物の消費が拡大します。</p> |
|------------------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|---|------|--------|-----------|-----------|-----------|--|
| <p>ぎょしょく教育に参加した延べ人数</p> <p>上がると良い指標 【水産課】</p> | 人 | 6,187 | - | 6,841 | 6,200 | <p>比較不可</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p> |
| <p>(状況) 町内、県内、首都圏でのぎょしょく普及事業の広がりを踏まえ、各種関係団体と連携して実施し、年間の目標参加人数を達成しました。</p> <p>(原因) 町内では人口が減少している状況ですが、各種事業の多様化を図り参加者の向上に努めています。また県内、県外への普及事業の拡大も図っているため、目標の参加者数を確保できたと考えられます。</p> | (人) | | | | | |
| <p>公共施設の給食における地元水産物の利用額</p> <p>上がると良い指標 【水産課】</p> | 千円 | 32,785 | - | 38,145 | 55,000 | <p>比較不可</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p> |
| <p>(状況) 首都圏を中心に愛南町水産物の販売が拡大しており、さらに販売関係団体も増加しています。ぎょしょく普及事業の影響もあり、順調に推移しています。</p> <p>(原因) 毎年9月に実施している首都圏を中心とした、愛南町ぎょしょく教育出前授業が浸透しており、町の特産品がよく知られマダイなどを給食で使用していただけるケースが多くなりました。このような事業の推進により結びつきがより強くなっていると考えられます。</p> | (千円) | | | | | |
| <p>漁協直販増加額</p> <p>上がると良い指標 【水産課】</p> | 千円 | 50,452 | - | 101,530 | 55,000 | <p>比較不可</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p> |
| <p>(状況) 町内の漁協における買取販売金額において魚類品目のマダイ等が前年度より約3割高の成果を上げています。貝類、藻類、水産加工品等はやや減少気味ですが全体では大きく向上しています。</p> <p>(原因) 町内の特産品であるマダイにおいて、H30年度は市場の需要と供給のバランスがよく、買取販売が好調となったことが主な要因と考えられます。</p> | (千円) | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 3,919 | 7,030 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携強化

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------------------------|--|
| 基本事業の対象 漁業者、漁協、大学、行政、企業等 | 基本事業がめざす姿 関係者が連携を図ることにより、地域の抱える水産課題を解決します。 |
|------------------------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 共同開発研究をした延べ件数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|-----|-----------|-----------|-----------|---------------|
| | 上がると良い指標 【水産課】 | 件 | 5 | 5 | 17 | 11 | (向上) |
| 評価 | (状況)平成30年度値は17件で、愛媛県、愛媛大学、水産関係者等と共同連携し、研究開発を円滑に実施しています。 (原因)毎年研究内容の精査を行ない、魚類だけでなく、海藻類等の研究も実施し、漁業者の所得向上や持続可能な漁業体制の構築に結びついていると考えられます。 | (件) | | | | | 目標達成度 (達成) |
| | | | | | | | |
| 指標 | 市場で付加価値が高い水産物数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 上がると良い指標 【水産課】 | 種 | 4 | 4 | 4 | 5 | (横ばい) |
| 評価 | (状況)平成30年度は4種で、愛媛県、愛媛大学、水産関係者等と協同連携し事業を推進しています。 (原因)スマに関しては、スマ販売戦略等検討会を年3回実施し、種苗生産から養殖、出荷、流通、販路等に関する意見交換や情報共有を行うことにより、「伊予の媛貴海」の生産率の向上や新規販路開拓等に結びついていると考えられます。 | (種) | | | | | 目標達成度 (高) |
| | | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| | |
|--------|--------|
| H29 | H30 |
| 22,035 | 33,044 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-05 漁業後継者の育成

基本事業のプロフィール

| | |
|----------------|--------------------------------|
| 基本事業の対象 漁業者 | 基本事業がめざす姿 地域漁業を担う漁業者を育成します。 |
|----------------|--------------------------------|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 町内の漁業従事者の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき |
|----|--|----|-----|-----------|-----------|-----------|---------------------|
| | 上がると良い指標 【水産課】 | % | 8.4 | - | 8.2 | 8.5 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度の漁業従事者は1,743人で、町内の漁業従事者の占める割合は8.2%となり、基準値に対して0.2ポイント低下しました。 (原因) 水産業の従事者の廃業、転職、高齢化等により離職者が増加しているものと考えられます。 | | | | | 比較不可 | |
| | | | | | | | 目標達成度 ■■■ (中) |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-----|-----|
| 40 | 186 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 99,821 | 96,904 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-02 農林業の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-02-01 担い手の育成と確保

基本事業 03-02-02 経営安定と高付加価値化の推進

基本事業 03-02-03 農地の保全・農村環境の整備

基本事業 03-02-04 低コストで生産性の高い林業システムの確立

基本事業 03-02-05 地域資源の有効活用

基本事業 03-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

農林業を取り巻く環境は、農林産物価格の低迷をはじめ、資材の高騰等や鳥獣被害、7月豪雨災害の影響により厳しい状況が続いています。また、営農環境では、後継者、引き続き担い手の不足及び生産者の高齢化が進むなかでの農作業等の負担や危険性の拡大が課題となっています。

これらの課題を解消するため、自然環境に配慮した愛南町農村振興基本計画等に基づき、意欲ある経営体や集落営農組織の育成、また鳥獣被害防止支援をはじめとする、適正な農地管理や効率的な農地集約の推進や安定した収入の確保、併せて農林畜産物の産地化や高付加価値化に取り組んでいきます。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 2.97 (2.96) | 3.03 (2.97) | 3.02 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.61 (3.65) | 3.61 (3.65) | 3.56 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

施策のプロフィール

| | |
|---|---|
| <p>施策の対象</p> <p>農林業者、農地、農業用施設、森林、町民</p> | <p>施策がめざす姿</p> <p>農林業者の所得向上を目的として、自然環境に配慮しつつ、地域特性を活かした安心安全な農林産物の安定生産及び販売を推進します。</p> |
|---|---|

施策の成果状況と評価

| 指標 | 指標のうごき | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) |
|---|--------|----------------|-----|-----------|-----------|-----------|
| | | 経営体 | 182 | - | 178 | 190 |
| <p>上がると良い指標 【農林課】</p> <p>(状況) 対基準値は4経営体の減となっています。また、後期目標値に到達していません。 (原因) 農地所有適格法人の要件緩和や認定農業者制度の周知等を図りましたが、担い手農業経営体数は減少しました。</p> | 比較不可 | (経営体) | | | | |
| 評価 | 目標達成度 | <p>■■■ (高)</p> | | | | |

| 指標 | 指標のうごき | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) |
|---|--------|----------------|-------|-----------|-----------|-----------|
| | | ha | 1,712 | - | 1,452 | 1,740 |
| <p>上がると良い指標 【農林課】</p> <p>(状況) 対基準値は260haの減となっています。また、後期目標値に到達していません。 (原因) 高齢化や後継者不足等の問題により新たな耕作放棄地が増加しており、耕作面積が減少したと考えられます。</p> | 比較不可 | (ha) | | | | |
| 評価 | 目標達成度 | <p>■■■ (高)</p> | | | | |

施策のコスト(千円)

| | |
|---------|---------|
| H29 | H30 |
| 491,181 | 579,074 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-01 担い手の育成と確保

基本事業のプロフィール

| | |
|----------------|--|
| 基本事業の対象 農業者 | 基本事業がめざす姿 町農業支援センターを核として、意欲のある経営体や集落営農組織の育成支援を図ります。 |
|----------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 指標のつごき | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) |
|---|------------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|
| 新規就農者数 上がると良い指標 【農林課】 | (横ばい) 目標達成度 (低) | 人 | 5 | 3 | 3 | 13 |
| (状況) 前年と横ばいの結果となりました。対基準値は2名の減です。 (原因) 従来の青年就農給付金事業が、営農すべき年数等の要件強化により農業次世代人材投資事業に移行しました。その影響で青年者の新規採択者が減少したことも起因しています。なお、新規就農者数としては、40歳以上の中高年者は3名追加(新規1名、退職2名)となっています。 | | | | | | |
| 認定農業者数 上がると良い指標 【農林課】 | (横ばい) 目標達成度 (達成) | 人 | 150 | 155 | 155 | 150 |
| (状況) 前年と比べ差はなく、認定農業者数を維持しております。また、後期目標値である150人は達成しています。 (原因) 農家の死亡や高齢化に伴い2名減少しましたが、認定新規就農者の認定期間終了に伴う認定農業者への移行や、認定農業者制度への周知を図ったことで、認定農業者数を維持することができました。 | | | | | | |
| 農業生産法人数 上がると良い指標 【農林課】 | (向上) 目標達成度 (達成) | 経営体 | 7 | 8 | 10 | 9 |
| (状況) 平成30年度は10経営体で、前年度より2経営体増加しました。また、基準値も上回っており順調に推移しています。 (原因) 町内に所在する1経営体、町外に所在する1経営体が増加しました。町内経営体は、農業へ新規参入であり、町外経営体は、経営拡大のため当町の農地を取得したことによるものでした。 | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| | |
|--------|--------|
| H29 | H30 |
| 42,000 | 34,130 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-02 経営安定と高付加価値化の推進

基本事業のプロフィール

| | |
|----------------|---|
| 基本事業の対象 農業者 | 基本事業がめざす姿 経営安定のための各種支援が活用され、産地化による高付加価値化が進み、農業経営が継続されています。 |
|----------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき | | | | | | | | | | |
|--|-------|--|-----------|-----------|-----------|---------|------|-------|-----|-------|-----|------|-----|-------|-----|-------|
| 産地化、高付加価値化を進める農産物の作付面積 上がると良い指標 【農林課】 | ha | 196.1 | - | 194.7 | 202.8 | 比較不可 | | | | | | | | | | |
| (状況) 対基準値は1.4haの減となっています。また、後期目標値に到達していません。 (原因) 前年度及び基準値と比べ微減となっている理由は、農家の高齢化に伴う離農や規模縮小、作目の転換、また平成30年7月豪雨によって作付ができない農地があったためと考えられます。 | (ha) | <table border="1"> <tr><th>Year</th><th>Value</th></tr> <tr><td>H28</td><td>196.1</td></tr> <tr><td>H29</td><td>-</td></tr> <tr><td>H30</td><td>194.7</td></tr> <tr><td>R03</td><td>202.8</td></tr> </table> | | | | | Year | Value | H28 | 196.1 | H29 | - | H30 | 194.7 | R03 | 202.8 |
| Year | Value | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 196.1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29 | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30 | 194.7 | | | | | | | | | | | | | | | |
| R03 | 202.8 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | ■■■ (高) | | | | | | | | | | |
| 10 a 以上の農家数 上がると良い指標 【農林課】 | 戸 | 2,260 | - | 2,101 | 2,260 | 比較不可 | | | | | | | | | | |
| (状況) 対基準値は159戸の減となっています。また、後期目標値にも到達していません。 (原因) 高齢化や後継者不足等の問題により、離農や規模の縮小が増加していることが原因と思われます。 | (戸) | <table border="1"> <tr><th>Year</th><th>Value</th></tr> <tr><td>H28</td><td>2,260</td></tr> <tr><td>H29</td><td>-</td></tr> <tr><td>H30</td><td>2,101</td></tr> <tr><td>R03</td><td>2,260</td></tr> </table> | | | | | Year | Value | H28 | 2,260 | H29 | - | H30 | 2,101 | R03 | 2,260 |
| Year | Value | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 2,260 | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29 | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30 | 2,101 | | | | | | | | | | | | | | | |
| R03 | 2,260 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | ■■■ (高) | | | | | | | | | | |
| 飼料作物の作付面積 上がると良い指標 【農林課】 | ha | 17.1 | 18.5 | 19.5 | 20.0 | ☀️ (向上) | | | | | | | | | | |
| (状況) 作付面積は前年に比べ1.0haの増です。後期目標には及ばないものの徐々に目標に近づいております。 (原因) 米の直接支払交付金が廃止となり、主食用米から飼料用米への転換があったため、作付農家数が7名から13名に増加したことが原因と思われます。品目別では、前年に増加したイタリアグラスが大幅な縮小となり、飼料用米が大幅な増加となっております。 | (ha) | <table border="1"> <tr><th>Year</th><th>Value</th></tr> <tr><td>H28</td><td>17.1</td></tr> <tr><td>H29</td><td>18.5</td></tr> <tr><td>H30</td><td>19.5</td></tr> <tr><td>R03</td><td>20.0</td></tr> </table> | | | | | Year | Value | H28 | 17.1 | H29 | 18.5 | H30 | 19.5 | R03 | 20.0 |
| Year | Value | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 17.1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29 | 18.5 | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30 | 19.5 | | | | | | | | | | | | | | | |
| R03 | 20.0 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | ■■■ (高) | | | | | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| | |
|--------|--------|
| H29 | H30 |
| 11,762 | 31,778 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-03 農地の保全・農村環境の整備

基本事業のプロフィール

| | |
|-------------------------|---|
| 基本事業の対象 農業者、農地、農業用施設 | 基本事業がめざす姿 適正な農地管理、鳥獣被害軽減及び生産性が高い農地や農道、水路の整備や集積がされています。 |
|-------------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 農地利用集積面積 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|--------|-----------|-----------|-----------------------|--------|
| | 上がると良い指標 【農林課】 | ha | 907.23 | 926.85 | 939.71 | 930.00 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は939.71haで、前年度より12.86haの増加となりました。また、基準値より32.48haの増加となり、後期目標値も達成しております。 (原因) 後継者のいない農家が、高齢により耕作が困難となり、地域の担い手に農地を預ける傾向にあることが原因とされます。 | | | | | (向上) 目標達成度 (達成) | |
| 指標 | 鳥獣被害面積 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 下がると良い指標 【農林課】 | ha | 15 | 15 | 15 | 14 | |
| 評価 | (状況) 昨年度から横ばいですが、ニホンジカの捕獲頭数はH29年度の660頭からH30年度の1,260頭と大幅に増加しています。 (原因) 有害鳥獣駆除による、わな猟での捕獲者が増加したことが原因です。 | | | | | (横ばい) 目標達成度 (高) | |
| 指標 | 農業施設整備完了割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 上がると良い指標 【農林課】 | % | 86.4 | - | 48.9 | 100 | |
| 評価 | (状況) 対基準値は37.5ポイントの減で、地区要望件数・整備計画の約半数について、工事完了となっています。 (原因) 7月豪雨災害で被災を受けた農地・農業用施設の復旧工事を優先して実施したため、地区要望件数・整備計画の工事が平成31年度対応や繰越したため、工事完了が約半数となりました。 | | | | | 比較不可 目標達成度 (低) | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 308,333 | 338,086 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-04 低コストで生産性の高い林業システムの確立

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------------------|---|
| <p>基本事業の対象</p> <p>林業者、森林</p> | <p>基本事業がめざす姿</p> <p>林道、林内作業道等の整備、高性能林業機械の導入を図ることにより、コストの低減と労働条件の改善を推進し、素材生産量の向上を図ります。</p> |
|------------------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 素材生産量 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|-------|-----------|-----------|---|--------|
| | 上がると良い指標 【農林課】 | m3 | 9,222 | 9,574 | 7,792 | 10,000 | |
| 評価 | <p>(状況) 前年度に比べ、素材生産量は1,782m3減となり、後期目標値にも2,208m3届いていません。</p> <p>(原因) 平成30年7月豪雨で林道が被災を受け、生産活動が減少したと思われます。</p> | | | | | <p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p> | |
| 指標 | 林業従業者数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 上がると良い指標 【農林課】 | 人 | 52 | 45 | 45 | 55 | |
| 評価 | <p>(状況) 前年度と同数であり、林業従事者は横ばい状態です。</p> <p>(原因) 素材価の低迷及び生産活動の減少が原因であると考えられます。</p> | | | | | <p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p> | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 24,478 | 61,846 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-05 地域資源の有効活用

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------------------|--|
| <p>基本事業の対象</p> <p>農業者、町民</p> | <p>基本事業がめざす姿</p> <p>地産地消、グリーン・ツーリズム等の取組を推進し、都市住民との交流機会の拡大や基幹作物である柑橘類をはじめとする地元農林産物の利用促進を図ります。</p> |
|------------------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 指標のつごき | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | |
|--------------------------------|-----------|---|-------|-----------|-----------|------------|-----------|
| 直売所の販売額 | 上がる和良好的指標 | 【農林課】 | | | | | |
| | | 百万円 | 626 | 602 | 565 | 630 | |
| | | (百万円) | | | | | 傘 (低下) |
| 評価 | 目標達成度 | (状況)平成30年度は565百万円で、前年に比べて約37百万円の減となっています。また、基準値からも61百万円の減となっております。 (原因)昨年5月に、これまで約35百万円の売り上げがあった直売所1件が閉店となったことが要因です。また会員の高齢化による退会などで、全体の取扱量が減少したものと考えられます。 | | | | ■■■ (高) | |
| 公共施設の給食（学校給食センター）で使用する地元農林産物の額 | 上がる和良好的指標 | 【農林課】 | | | | | |
| | | 千円 | 8,952 | - | 7,137 | 9,500 | |
| | | (千円) | | | | | 比較不可 |
| 評価 | 目標達成度 | (状況)後期基準値と比べて1,815千円の減です。また、後期目標値に到達していません。 (原因)町内産では、必要とする大量のロットが揃わないことが多く、やむを得ず町外から納入せざるを得ない状況となっています。 | | | | ■■■ (高) | |
| 交流人口数 | 上がる和良好的指標 | 【農林課】 | | | | | |
| | | 人 | 8,569 | 8,100 | 7,377 | 8,600 | |
| | | (人) | | | | | 傘 (低下) |
| 評価 | 目標達成度 | (状況)前年度に比べて、交流人口が723名の減となっています。後期基準値に比べ1,192名の減となっております。 (原因)どの施設も利用客が減少傾向にあることに加え、昨年の西日本豪雨災害の影響で、一本松温泉あけぼの荘が一時休館となったことが要因となっています。 | | | | ■■■ (高) | |

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 3,802 | 8,634 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 100,806 | 104,600 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-03 商工業の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-03-01 日常生活の買物環境づくり

基本事業 03-03-02 経営面の支援強化

基本事業 03-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

本町の商工業は長引く景気の低迷、人口減少、少子高齢化による顧客の減少等により厳しい経営状況が続いています。また、今後経営者の高齢化により、やむを得ず廃業せざるをえない事業者が増えることが予想でき、このまま放置しておく、産業の空洞化により地域の衰退化が進むことが予想されます。

このような状況の中、商工会と連携した経営基盤強化につながる経営講習会への助成や利子補給制度等財政的な支援を継続するとともに、後継者不足による廃業の減少を図るための事業承継支援策が求められています。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 2.75 (2.96) | 2.78 (2.97) | 2.78 (2.95) | → |
| 重要度 | 3.63 (3.65) | 3.63 (3.65) | 3.62 (3.63) | ↘ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

施策のプロフィール

| | |
|-------|---|
| 施策の対象 | 施策がめざす姿 |
| 商工業者 | 商工会及び商店街振興組合と連携して、小売業者及び商工事業者の生産性や販売力強化に向けた経営支援を図ります。 |

施策の成果状況と評価

| 指標 | 町内の小売業者数 上がると良い指標 【商工観光課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき |
|----|--|----|-----|-----------|-----------|-----------|------------|
| | | 業者 | 296 | 296 | 278 | 290 | |
| 評価 | (状況) 前年度及び基準値と比較して18件の減、目標値へは12件届いていません。 (原因) 事業主の高齢化による廃業が原因と考えられます。 | | | | | | ☂ (低下) |
| | | | | | | | 目 標 達成度 |

| 指標 | 町内の商工業業者数 上がると良い指標 【商工観光課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき |
|----|---|----|-------|-----------|-----------|-----------|------------|
| | | 業者 | 1,201 | 1,205 | 1,176 | 1,200 | |
| 評価 | (状況) 前年度と比較して29件の減、基準値からは25件の減で、目標値へは24件届いていません。 (原因) 事業主の高齢化に伴う廃業が多かったことと、人口減少が商工業業者減少の原因だと思われます。 | | | | | | ☂ (低下) |
| | | | | | | | 目 標 達成度 |

施策のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 87,821 | 86,449 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-01 日常生活の買物環境づくり

基本事業のプロフィール

| | |
|---------------------|-------------------------------|
| 基本事業の対象 町民、商業事業者 | 基本事業がめざす姿 日常品の買物環境が整っています。 |
|---------------------|-------------------------------|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 日常の買い物に困っている町民割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|-----|-----------|-----------|------------------------|--------|
| | 下がるが良い指標 【商工観光課】 | % | 7.4 | 6.0 | 6.0 | 7.0 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は平成29年度と同じ水準で横ばいしています。また、目標値も達成しています。 (原因) 買物弱者支援事業費補助事業により、内海及び一本松内の2地区の買物環境の改善を図ったことで、一定の成果が得られているものと思われます。 | | | | | (横ばい) 目標達成度 (達成) | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-----|-------|
| 0 | 4,631 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-02 経営面の支援強化

基本事業のプロフィール

| | |
|---------|--|
| 基本事業の対象 | 基本事業がめざす姿 |
| 中小企業者 | 中小事業者の経営支援、運転資金の円滑な調達等を支援し、事業活動が持続的なものとなるよう努めます。 |

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 町の経営支援制度により経営力向上に取り組んでいる事業所数 上がると良い指標 【商工観光課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|---|-----|-----------|-----------|-----------|------------|---------|-----|-----|---|-----|-----|---|-----|-----|---|----|---|---|-----|---|---|-----|---|-------|---|
| | | 所 | 975 | 924 | 923 | 1,100 | (所) | ☁ (横ばい) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | (状況)平成30年度は、目標値に177所届いていませんが、昨年度より1所減と横ばいを保っています。 (原因)商工会の会員数が横ばいであることと、事業者が安定して利子補給制度を活用していることが主な原因であると思われます。 | <table border="1"> <caption>実績値と目標値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (所)</th> <th>目標値 (所)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>975</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>924</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>923</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>-</td> <td>1,100</td> </tr> </tbody> </table> | | | | 年度 | 実績値 (所) | 目標値 (所) | H28 | 975 | - | H29 | 924 | - | H30 | 923 | - | R元 | - | - | R02 | - | - | R03 | - | 1,100 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目標 達成度</div> <div style="text-align: center;">■■■ (高)</div> |
| 年度 | 実績値 (所) | 目標値 (所) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 975 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29 | 924 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30 | 923 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R元 | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R02 | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R03 | - | 1,100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 31,317 | 29,684 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 56,504 | 52,134 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-04 観光・物産の振興

施策を実現する手段

基本事業 03-04-01 地域資源の有効活用

基本事業 03-04-02 観光PRの推進

基本事業 03-04-03 観光資源の充実

基本事業 03-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

近年、わが国では、少子高齢化、グローバル化、情報化など、社会環境がめまぐるしく変化する中、価値観やライフスタイルの多様化を反映し、人々の観光ニーズも多様化しており、世界規模の大交流時代となった今、観光は「21世紀のリーディング産業の一つ」として、世界でも認識されています。

国では、観光立国の実現は21世紀のわが国の発展のために不可欠な課題であるとし、平成18年12月の「観光立国推進基本法」の制定に続き、平成19年6月には「観光立国推進基本計画の閣議決定」がなされるほど、国全体として官民をあげて、観光立国の実現に取り組む体制づくりが始まっています。さらに、平成20年10月には観光庁が発足し、広域的な連携や新たな観光旅行分野の展開が進められています。

観光は、地域産業のすべてを活性化させ、働く場を増やし、地域を潤します。また、人口減少や少子高齢化といった愛南町を取り巻く状況は厳しさを増しており、地域活性化による地方創生の実現は、重要な課題の一つとなっています。愛南町では、こうした背景をもとに、「愛南町観光振興計画」（以下、本計画）を策定し、愛南町の観光振興において戦略的な観光施策の展開を図り、交流人口の拡大や地域の活性化をめざすものとし、

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 2.95 (2.96) | 2.92 (2.97) | 2.91 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.62 (3.65) | 3.70 (3.65) | 3.63 (3.63) | ➔ |

() 内は、25施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

施策のプロフィール

| | |
|-------|----------------------------|
| 施策の対象 | 施策がめざす姿 |
| 観光客 | 地域の魅力を理解し、町外から多くの観光客が訪れます。 |

施策の成果状況と評価

| 指標 | 年間観光客数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき |
|----|---|---------|-----|-----------|-----------|-----------|------------|
| | 上がる和良好的指標 | 【商工観光課】 | 人 | 1,231,369 | 1,157,708 | 1,114,172 | |
| 評価 | (状況) 前年度に比べ、43,536人減少しており、目標値にも大きく届いていません。 (原因) 7月に起きた豪雨災害の影響によるものと考えられます。マリンレジャーに関連する鹿島や海域公園での観光客数が、それぞれ前年比53%、67%となっているためです。それでも全体を通し、43千人の減少に止まったのは秋以降のイベントで天候に恵まれたためと考えられます。 | | | | | | 目標 達成度 |
| | | | | | | | |

施策のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 293,607 | 252,493 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-01 地域資源の有効活用

基本事業のプロフィール

| | |
|-----------------------|--|
| 基本事業の対象 特産品、観光スポット | 基本事業がめざす姿 地域の資源（特産品や観光スポット）を一つとして捉え、観光客と食事客を同じ立場で位置付けることで付加価値をつけ誘客を促進します。 |
|-----------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| | | | | | | | |
|----|--|-------|---------|-----------|-----------|-----------|---------|
| 指標 | 町内で観光客誘致のため開催される各種イベントにおける参加者数 【商工観光課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 上がると良い指標 | 人 | 87,087 | 52,787 | 61,082 | 100,000 | ☀️ (向上) |
| 評価 | (状況) 前年度に比べ、8,295人増加したものの、後期目標値は下回りました。 (原因) ぎゅぎゅっと愛南!夏の陣、丸ゴチ秋の味覚祭、ぎゅぎゅっと愛南!冬の陣の3大イベントは天候に恵まれ、参加者数が大幅に伸びましたが、西日本豪雨や台風の影響により、中止となったイベントもあり、目標値に届くほどの集客はありませんでした。 | | | | | | ☀️ (向上) |
| | | 目標達成度 | ■ ■ (中) | | | | |
| 指標 | 町が支援する特産品販売イベントの開催回数 【商工観光課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 上がると良い指標 | 回 | 18 | 18 | 14 | 25 | ☔️ (低下) |
| 評価 | (状況) 平成30年度は14件で、前年度と比較して4件減少し、目標値にも大幅に届いておりません。 (原因) えひめ国体関連のイベントが減少したことが主な原因です。関係機関と連携して愛媛県内外への新規出店を検討していく必要があると考えられます。 | | | | | | ☔️ (低下) |
| | | 目標達成度 | ■ ■ (中) | | | | |
| 指標 | 町が支援する特産品販売イベントへの出店事業者数 【商工観光課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 上がると良い指標 | 事業者 | 138 | 143 | 135 | 140 | ☔️ (低下) |
| 評価 | (状況) 平成30年度は135件で前年度に比べて8業者減少しております。 (原因) 特産品販売イベントの回数が減ったことが原因と考えられます。上記の特産品販売イベントの開催回数の増加への方策と合わせて、新規イベントへの参加を促進していく必要があると考えられます。 | | | | | | ☔️ (低下) |
| | | 目標達成度 | ■ ■ (高) | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| | |
|--------|--------|
| H29 | H30 |
| 20,066 | 20,022 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-02 観光PRの推進

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------------------|--|
| 基本事業の対象 行政、町民、民間企業 | 基本事業がめざす姿 具体的な効果のあるPRを充実させ、旅行会社等と連携することにより観光客が望む内容を理解し、多くの方々に本町の魅力を知ってもらいます。 |
|------------------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 観光協会ホームページへのアクセス数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|--|-----|---|-----------|-----------|-----------|--------|-----|-----|---------|-----|--------|-----|--------|----|---|-----|---|-----|---------|----------------------|
| | 上がると良い指標 【商工観光課】 | 件 | 110,210 | 98,152 | 92,396 | 120,000 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | (状況) 前年度のアクセス数と比較すると5,756件減少しています。 (原因) 町内各観光施設各自が開設するホームページ等が充実してきたことで、目的の観光施設等サイトに直接アクセスするケースが増えたことが一因に挙げられます。翌年度HPの更新を計画しており、本町をより魅力的かつ分かりやすく発信できるようにしていくこととしています。 | (件) | <table border="1"> <caption>観光協会ホームページへのアクセス数 (件)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>110,210</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>98,152</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>92,396</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>120,000</td> </tr> </tbody> </table> | | | | 年度 | 実績値 | H28 | 110,210 | H29 | 98,152 | H30 | 92,396 | R元 | - | R02 | - | R03 | 120,000 | (低下) 目標達成度 (高) |
| 年度 | 実績値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 110,210 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29 | 98,152 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30 | 92,396 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R元 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R02 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R03 | 120,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 指標 | マスコミ等(新聞、テレビ等)での掲載件数(有料・無料含) | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|-----|--|-----------|-----------|-----------|--------|-----|-----|----|-----|----|-----|-----|----|---|-----|---|-----|----|-----------------------|
| | 上がると良い指標 【商工観光課】 | 件 | 96 | 96 | 103 | 90 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | (状況) 前年度件数と比較すると7件増となっています。また目標値も達成しています。 (原因) 平成29年度に続き、マスコミ等に対する積極的な情報発信によるものです。 | (件) | <table border="1"> <caption>マスコミ等での掲載件数 (件)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table> | | | | 年度 | 実績値 | H28 | 96 | H29 | 96 | H30 | 103 | R元 | - | R02 | - | R03 | 90 | (向上) 目標達成度 (達成) |
| 年度 | 実績値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 96 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29 | 96 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30 | 103 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R元 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R02 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R03 | 90 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 指標 | 新聞、テレビ、雑誌等へのリリース件数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|-----|--|-----------|-----------|-----------|--------|-----|-----|----|-----|----|-----|----|----|---|-----|---|-----|----|------------------------|
| | 上がると良い指標 【商工観光課】 | 件 | 42 | 48 | 48 | 30 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | (状況) 前年度件数と比較すると増減はありませんが、目標値は達成しています。 (原因) 食の3大イベントやあいなん磯釣り大会において、昨年度並みのマスコミ関係へのリリース数を維持できたことが原因です。 | (件) | <table border="1"> <caption>新聞、テレビ、雑誌等へのリリース件数 (件)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> | | | | 年度 | 実績値 | H28 | 42 | H29 | 48 | H30 | 48 | R元 | - | R02 | - | R03 | 30 | (横ばい) 目標達成度 (達成) |
| 年度 | 実績値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 42 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29 | 48 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30 | 48 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R元 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R02 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R03 | 30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| | H29 | H30 |
|--|-------|-------|
| | 5,516 | 4,882 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-03 観光資源の充実

基本事業のプロフィール

| | |
|-----------------------|---|
| 基本事業の対象 行政、町民、民間企業 | 基本事業がめざす姿 観光施設の維持管理やリニューアル、体験型観光等のメニュー見直しなどをして、魅力の向上を図ります。 |
|-----------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 観光施設の不具合・トラブル件数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|-----|-----|-----------|-----------|--------------|--------|
| | 下がるが良い指標 【商工観光課】 | 件 | 16 | 23 | 26 | 10 | (低下) |
| 評価 | (状況)平成30年度は26件で、前年に比べ3件増加しています。 (原因)施設の老朽化等が原因と思われます。今後も各施設と連絡を取り初期段階で状況を確認し修繕することで施設不具合箇所の影響が拡大する前に対応する必要があります。 | (件) | | | | 目標達成度 (低) | |

| 指標 | リニューアルされた観光資源数(施設、サービス、イベント等) | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|-----|-----|-----------|-----------|--------------|--------|
| | 上がるが良い指標 【商工観光課】 | 件 | 6 | 4 | 4 | 10 | (横ばい) |
| 評価 | (状況)前年度と同じ4件で横ばいで推移しており、目標値に6件届いていません。 (原因)ハード面については、積極的改修に比べ、修繕等の対応が増加しています。ソフト面についても件数が依然として伸び悩んでいるため、観光資源の発掘も含め検討していく必要があります。 | (件) | | | | 目標達成度 (低) | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 249,873 | 206,146 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 18,152 | 21,443 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 03-05 雇用対策の推進

施策を実現する手段

基本事業 03-05-01 雇用の促進

基本事業 03-05-02 創業支援の推進

基本事業 03-05-03 企業誘致の推進

基本事業 03-05-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

雇用の創出の場の観点から企業誘致は非常に重要な問題ではありますが、南予地域は輸送コストの問題等により、愛媛県内でも企業の新規誘致が進んでいないのが現状です。

今後、これまで以上に企業誘致に向けた活動が、関東及び関西を中心に必要となると思われますが、同時に現誘致企業の留置活動に積極的に取り組まなければなりません。また、併せて町内商工業者の経営基盤強化にも取り組むことで町内での働く場の維持・拡大を図り、雇用者のニーズに応えられる環境の整備が必要であると考えられます。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 2.36 (2.96) | 2.46 (2.97) | 2.47 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 4.11 (3.65) | 4.07 (3.65) | 4.00 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用対策の推進

施策のプロフィール

| | |
|------------------------|--|
| <p>施策の対象</p> <p>町民</p> | <p>施策がめざす姿</p> <p>雇用の拡大及び安定的な雇用の確保を図ることにより、町民が安心して働き、生活できます。</p> |
|------------------------|--|

施策の成果状況と評価

| 指標 | 有効求人倍率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|-----------|---------------------------|
| | | 倍 | 0.47 | 0.70 | 0.63 | 0.70 | |
| 評価 | <p>【商工観光課】</p> <p>上がるの良い指標</p> <p>(状況) 昨年度より0.07ポイント下がっていますが、基準値からは0.16ポイント増加しています。 (原因) 国の景気回復及び雇用対策の施策が好影響を与えているものと考えられます。</p> | | | | | | <p>目標達成度</p> <p>■ (高)</p> |

施策のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 5,977 | 8,886 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用対策の推進

基本事業 03-05-01 雇用の促進

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------------------|--|
| <p>基本事業の対象</p> <p>町民、事業所</p> | <p>基本事業がめざす姿</p> <p>若年層、中高年齢者及び障害者への雇用相談や各種研修などを実施し、雇用促進を図ります。</p> |
|------------------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 求人数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|-----|-----------|-----------|--|--------|
| | 上がると良い指標 【商工観光課】 | 人 | 837 | 991 | 1,164 | 850 | |
| 評価 | <p>(状況) 前年度より173人、基準値より327人増加しており、目標値にも314人超えて目標を達成しています。</p> <p>(原因) 労働人口の減少に伴い、継続募集されている件数が余り減らないという状況に加え、新規求人募集が増加傾向にあることが原因と考えられます。</p> | | | | | <p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p> | |

| 指標 | 求職者の就職割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|---|--------|
| | 上がると良い指標 【商工観光課】 | % | 55.2 | 48.3 | 57.8 | 60.0 | |
| 評価 | <p>(状況) 目標値には2.2ポイント届きませんでした。前年度に比べ9.5ポイント向上し、基準値を2.6ポイント上回っています。</p> <p>(原因) 就職支援センターへの求職登録者数が減少していることに伴い、紹介事業に発展するケースが減少傾向にありますが、求職者の就職件数は増加しているためと考えられます。</p> | | | | | <p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p> | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 4,049 | 4,142 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用対策の推進

基本事業 03-05-02 創業支援の推進

基本事業のプロフィール

| | |
|--------------------------------------|--|
| 基本事業の対象 個人又はグループで法人を設立予定の者 | 基本事業がめざす姿 農林水産物、自然資源等の地域資源を活かした起業を支援します。 |
|--------------------------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| | | | | | | | |
|----|--|------------------|-----|-----------|-----------|-----------|--------|
| 指標 | 地元資源活用型事業で、起業・新規参入した団体 上がると良い指標 【商工観光課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | | 件 | 0 | 0 | 0 | 4 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度において、地域資源を活用した新規起業者は0件で基準値から横ばいで、目標値に届いていません。 (原因) 1件の問い合わせはありましたが、法人化までに至りませんでした。法人化のためのコストが高額になることが原因だと思われまます。 | | | | | | (横ばい) |
| | | 目標達成度 ■■■ (低) | | | | | |

| | | | | | | | |
|----|---|------------------|-----|-----------|-----------|-----------|--------|
| 指標 | 新規起業数 上がると良い指標 【商工観光課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | | 件 | 8 | 8 | 8 | 10 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は前年同様の8件が新規創業しましたが、基準値からは横ばい、目標値には2件届いていません。 (原因) 地方の景気は依然低迷していることから、新規起業数が少ないことが原因と考えられます。 | | | | | | (横ばい) |
| | | 目標達成度 ■■■ (高) | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| | |
|-----|-----|
| H29 | H30 |
| 0 | 0 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用対策の推進

基本事業 03-05-03 企業誘致の推進

基本事業のプロフィール

| | |
|--|--|
| 基本事業の対象 中小企業、製造業、情報通信業、卸売業、宿泊業 | 基本事業がめざす姿 企業誘致により、事業活動や雇用の拡大を図ります。 |
|--|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 製造業者等の誘致・留置件数 【商工観光課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき |
|----|--|----|-----|-----------|-----------|-----------|--------------------------------------|
| | | 件 | 3 | 4 | 5 | 5 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度1件の誘致を行い、基準値から2件向上し、目標値を達成しました。 (原因) 地元養殖業者と企業との事業に係るビジョンがマッチングしたことが誘致につながったものと考えられます。 | | | | | | ☀️ (向上) 目標 達成度 🏰 (達成) |

| 指標 | 誘致した製造業者等の町内雇用者数 【商工観光課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき |
|----|--|----|-----|-----------|-----------|-----------|--------------------------------------|
| | | 人 | 172 | 181 | 221 | 200 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度の雇用者数は221人で前年比40名の増となり、基準値を49人、目標値を21人上回りました。 (原因) 既存企業への留置活動により従業員の減少が無かったことに加えて、新規雇用者増につながる地道な交渉が原因だと思われれます。 | | | | | | ☀️ (向上) 目標 達成度 🏰 (達成) |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 1,928 | 4,744 |

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用対策の推進

基本事業 03-05-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|-----|-----|
| 0 | 0 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

施策を実現する手段

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

施策を実現する手段

基本事業 04-01-01 地域コミュニティ活動の支援

基本事業 04-01-02 新しい公共の推進

基本事業 04-01-03 広報の充実

基本事業 04-01-04 町民の町政への参画の推進

基本事業 04-01-05 情報公開の推進

基本事業 04-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

人口減少や少子高齢化が進展する中、多様化する行政ニーズへの対応や、地域コミュニティの運営・維持・活性化への支援が必要な状況になることが見込まれます。
こうした状況に対応するため、愛南町自治基本条例に基づき、住民が主体的に町政へ参画できる機会を設けることを継続していきます。
また、NPO法人、ボランティア団体などの多様な主体と連携・交流し、福祉、産業等の分野でまちづくりに活かします。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 3.04 (2.96) | 3.00 (2.97) | 3.02 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.47 (3.65) | 3.48 (3.65) | 3.45 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

施策のプロフィール

| | |
|---------------------------|---|
| <p>施策の対象</p> <p>町民、行政</p> | <p>施策がめざす姿</p> <p>町民、事業者及び行政、それぞれの役割を認識し、協働の精神で連携した、自立した地域社会づくりの活性化を図ります。</p> |
|---------------------------|---|

施策の成果状況と評価

| 指標 | 町民、事業者及び行政が協働したまちづくりがなされていると思う町民の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|------|-----------|-----------|--|--------|
| | 上がると良い指標 【総務課】 | % | 55.4 | 54.8 | 53.6 | 60.0 | |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は53.6%で前年度より1.2ポイント減少し、「協働したまちづくりがなされていると思う」住民は横ばいとなっています。</p> <p>(原因) 住民アンケートにより「協働したまちづくりがなされていると思う(やや思うを含む)」と回答した割合は、女性が前年度より6.4ポイント減少したものの男性は2.0ポイント増加したため、横ばいとなっています。年代別では、30歳代で64.5%、40歳代で63.3%と目標値の60%を超えたものの、60歳代で38.4%、70歳以上で46.9%と、高齢者のポイントが低くなっています。</p> | | | | | <p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p> | |

施策のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 194,650 | 229,516 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-01 地域コミュニティ活動の支援

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------|--|
| 基本事業の対象 町民、行政 | 基本事業がめざす姿 地域活動が活発化することにより、連携意識の向上や地域の運営・維持が図られます。 |
|------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 町民の行政区への加入率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|---------------------------|--------|
| | 上がると良い指標 【総務課】 | % | 75.0 | 74.6 | 74.4 | 75.0 | |
| 評価 | (状況)平成30年度は74.4%で、前年度と比べてほぼ横ばいの状況です。基準値からは0.6ポイント減少しており、後期目標値の75%には届きませんでした。 (原因)単身の転入者や他の行政区からの転居者は行政区に加入しないことが多く、人口減少も影響して横ばいになっていると考えられます。 | | | | | (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高) | |

| 指標 | 地域コミュニティ活動への参加率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|------|-----------|-----------|--------------------------|--------|
| | 上がると良い指標 【総務課】 | % | 49.3 | 47.8 | 36.1 | 70.0 | |
| 評価 | (状況)平成30年度は36.1%で、前年度より11.7ポイント減少しています。基準値からも13.2ポイント減少しており、後期目標値の70%には届きませんでした。 (原因)行政区に加入している世帯数は70%を超えているものの、生活スタイルの変化や近隣関係の希薄化により、地域コミュニティ活動の役割が薄れてきていると思われます。また、居住年数が短い40歳代以下の若い世代になるほど参加していない割合が高く、義務的に参加する高齢世代との意識のずれが表れています。 | | | | | (低下) 目標達成度 ■■■ (中) | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 61,296 | 99,007 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-02 新しい公共の推進

基本事業のプロフィール

| | |
|--------------------------------------|--|
| 基本事業の対象 町民、NPO、ボランティア団体、行政 | 基本事業がめざす姿 多様な市民活動（NPO法人、ボランティア等）が、協働担い手として、活動できる環境となっています。 |
|--------------------------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|---|------|------|-----------|-----------|-----------|------------------------|
| 団体情報ファイルに記載されている各分野のNPO法人及びボランティア団体の数 上がると良い指標 【企画財政課】 | 団体 | 20 | 20 | 21 | 20 | (横ばい) 目標達成度 (達成) |
| (状況) 平成30年度は21団体で、平成29年度と比べ1団体増加し、後期目標値を達成しています。しかし、団体メンバーの高齢化が進み、団体や活動を維持することが難しい状況です。 (原因) 若い世代のボランティア活動、NPO活動への興味や関心、参加が低いことが考えられます。団体や活動を維持していくためには、若い世代の積極的な参加が必要になります。 | (団体) | | | | | |
| ボランティア活動やNPO活動をしている町民割合 上がると良い指標 【企画財政課】 | % | 17.3 | 16.3 | 17.7 | 20.0 | (横ばい) 目標達成度 (高) |
| (状況) 平成30年度は17.7%であり、平成29年度より1.4ポイント向上しましたが、統計誤差の範囲内と考えられます。基準値より0.4ポイントと増加していますが、ほぼ横ばいの状況です。目標値である20.0%には届きませんでした。 (原因) ボランティア活動における活動情報が少ないことが考えられます。「今後参加してみたい」(町民アンケート)と回答している人(26.3%)にどのように活動に参加してもらうか考える必要があります。 | (%) | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| | |
|-----|-----|
| H29 | H30 |
| 0 | 0 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-03 広報の充実

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------|--------------------------------|
| 基本事業の対象 町民、行政 | 基本事業がめざす姿 行政の情報を住民に十分に伝えます。 |
|------------------|--------------------------------|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 町からの広報（広報誌及びホームページ）の量や内容が十分だと思う町民の割合 【総務課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき | |
|----|--|----|------|-----------|-----------|-----------|--------|--------------------------|
| 評価 | 上がると良い指標 (状況) 平成30年度は94.3%で、前年度に比べて2.9ポイント、基準値からも0.4ポイント向上していますが、後期目標値の95.0%には届きませんでした。 (原因) 町ホームページへの新規情報等の積極的な発信を行うとともに、広報誌と町ホームページが相互に補完し合い、情報発信を行ってきたことが成果に結びついたと考えられます。 | % | 93.9 | 91.4 | 94.3 | 95.0 | | (向上) 目標達成度 ■■■ (高) |

| 指標 | 広報誌を読んでいる町民の割合 【総務課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき | |
|----|---|----|------|-----------|-----------|-----------|--------|---------------------------|
| 評価 | 上がると良い指標 (状況) 平成30年度は73.9%で、前年度に比べて1.3ポイント低下しています。基準値からは1.2ポイント向上していますが、後期目標値の75.0%には届きませんでした。 (原因) アンケート指標の統計誤差もあるものと思われませんが、比較的若い年代の方が町ホームページ等の媒体で情報を得ているものと考えられます。 | % | 72.7 | 75.2 | 73.9 | 75.0 | | (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高) |

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 7,431 | 7,095 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-04 町民の町政への参画の推進

基本事業のプロフィール

| | |
|-----------------------------|---|
| <p>基本事業の対象</p> <p>町民、行政</p> | <p>基本事業がめざす姿</p> <p>町の事業、施策等における計画、実施、評価及び見直しに至るまでの各過程に町民が主体的に関わることによって、町民の町政への参画を図ります。</p> |
|-----------------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 指標のつぎ | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) |
|---|--|----|------|-----------|-----------|-----------|
| <p>公募による委員の割合</p> <p>上がると良い指標 【総務課】</p> | <p>傘 (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p> | % | 9.0 | 9.2 | 7.9 | 20.0 |
| <p>評価</p> <p>(状況) 平成30年度は7.9%で、前年度より1.3ポイント低下しました。基準値からも低下し、後期目標値にも届きませんでした。 (原因) 委員公募の周知は、町ホームページ、広報誌等で周知していますが、町民の町政に対する関心の低さと、会議が平日に開催されていること、町政の町民への周知不足が原因と考えられます。</p> | | | | | | |
| <p>町政に町民の意見が反映できていると感じている住民の割合</p> <p>上がると良い指標 【総務課】</p> | <p>雲 (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (高)</p> | % | 52.3 | 54.3 | 52.0 | 60.0 |
| <p>評価</p> <p>(状況) 平成30年度は、52.0%で、前年度より2.3ポイント低下しました。基準値から0.3ポイント低く、目標値にも8ポイント届きませんでした。 (原因) 町民の町政への積極的な関わりを持ってもらう必要があり、現在の意見箱や町ホームページでの意見募集だけでなく、更なる取り組みが必要と考えられます。</p> | | | | | | |
| <p>意見表明制度の実施回数</p> <p>上がると良い指標 【総務課】</p> | <p>傘 (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p> | 回 | 4 | 5 | 1 | 4 |
| <p>評価</p> <p>(状況) 平成30年度の実施回数は1回です。前年度より4回減っています。基準値よりも3回減っています。 (原因) 平成30年度にパブリックコメントを募集すべき新たな計画や更新すべき計画が他になかったことが原因と考えられます。</p> | | | | | | |
| <p>地区要望のうち当該年度に実施した事業の割合</p> <p>上がると良い指標 【総務課】</p> | <p>雲 (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (高)</p> | % | 67.0 | 65.9 | 64.1 | 75.0 |
| <p>評価</p> <p>(状況) 平成30年度は64.1%で、前年度比、基準値比とも横ばいの状況です。後期目標値には10.9ポイント届きませんでした。 (原因) 平成30年度は、豪雨災害が発生し災害復旧事業を優先して実施したため、地区要望事業の実施件数は横ばいになったと考えられます。</p> | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| | H29 | H30 |
|--|--------|--------|
| | 38,337 | 38,014 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-05 情報公開の推進

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------|---|
| 基本事業の対象 町民、行政 | 基本事業がめざす姿 町民が町政に関する情報を分かりやすく取得でき、町と町民が情報を共有することによって、町政の透明性と公平性を高めます。 |
|------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 委員会等の会議録の公開率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|-----|-----------|-----------|-----------|-----------------------|
| | 上がると良い指標 【総務課】 | % | 100 | 100 | 100 | 100 | (向上) 目標達成度 (達成) |
| 評価 | (状況) 平成30年度の会議の公開率は100%で、基準値、後期目標値を達成しています。 (原因) 公開できる会議は、全て公開していることが成果に結びついたと考えられます。 | (%) | | | | | |

| 指標 | 情報公開請求に対する不適正件数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|-----|-----------|-----------|-----------|-----------------------|
| | 下がると良い指標 【総務課】 | 件 | 0 | - | 0 | 0 | (向上) 目標達成度 (達成) |
| 評価 | (状況) 情報公開請求に対する処分が期限(15日)を超過した件数及び処分に対する不服申立てにより当該処分が取り消された件数は0件となり目標値を達成しています。 (原因) 情報公開請求に対して適切に処理を行っていることが成果に結びついたと考えられます。 | (件) | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| | |
|-----|-----|
| H29 | H30 |
| 0 | 0 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 87,586 | 85,400 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-02 防災・減災対策の推進

施策を実現する手段

基本事業 04-02-01 自主防災体制の確立

基本事業 04-02-02 継続的・普遍的な防災教育・学習の推進

基本事業 04-02-03 耐震化の促進

基本事業 04-02-04 防災情報通信網の維持管理

基本事業 04-02-05 災害時支援体制の確立

基本事業 04-02-06 防災・減災ハード対策の推進

基本事業 04-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

【環境変化】

南海トラフ沿いでの大地震の発生確率が高くなっており、風水害や土砂災害も全国的に増加・甚大化の傾向にあります。また、南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応のあり方について報告され、地震の備えや取るべき行動について再認識されているところであります。大規模災害から、かけがえのない生命と財産を守るためには地域の特性を踏まえ、より実践的な訓練を実施し地域の防災力を向上する必要があります。そして、これまで以上に「自助」「共助」「公助」の連携強化を図っていく必要があります。

【課題】

学校教育や社会教育における防災教育を推進し、訓練や学習会、啓発活動により町民一人ひとりが自分の命は自分で守る「自助」の強化を推進し、また、防災リーダーの育成や自主防災組織の活動支援により、地域住民が連携して地域の安全はみんなを守る「共助」の強化を図っていく必要があります。さらに、地域防災計画や業務継続計画に基づき、復旧・復興を見据えた「公助」の強化をしていく必要があります。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 3.01 (2.96) | 3.01 (2.97) | 2.98 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.76 (3.65) | 3.82 (3.65) | 3.74 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

施策のプロフィール

| | |
|---------------------------|--|
| <p>施策の対象</p> <p>町民、行政</p> | <p>施策がめざす姿</p> <p>地域に密着し機能する持続可能な防災地域社会システム(防災文化)を創造することにより、町の防災力・減災力の向上を図ります。</p> |
|---------------------------|--|

施策の成果状況と評価

| 指標 | 行政の防災対策に安心感をもっている町民の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|------|-----------|-----------|---------------------------|--------|
| | 上がると良い指標 【消防本部】 | % | 64.3 | 63.6 | 64.0 | 80.0 | (横ばい) |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は64.0%で、平成29年度より0.4ポイント増加していますが、36%の町民が不安を感じています。基準値からも0.3ポイント減少しており、後期計画目標値には届いておりません。</p> <p>(原因) アンケート結果によると高齢者が不安を持っている割合が高くなっています。未曾有の大規模災害に対するの恐怖や津波避難についての不安が考えられます。今まで以上にソフト、ハードの両面で防災減災対策を推進してきます。</p> | | | | | <p>目標達成度</p> <p>■ (高)</p> | |
| 指標 | 地域(行政区・自主防災組織)の防災力に安心感をもっている町民の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 上がると良い指標 【消防本部】 | % | 57.2 | 56.7 | 58.4 | 70.0 | (横ばい) |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は58.4%で平成29年度と比較して1.7ポイント増加し、地域の防災力に安心感を持っている割合は町民の約60%となっております。基準値から1.2%向上しましたが、後期目標値の70%には届きませんでした。</p> <p>(原因) 自主防災組織の結成率は100%ですが、大規模災害に備えるための防災対策の取組には温度差があり、地域の防災力を認識していないことが考えられます。積極的に地域の防災訓練の参加を呼びかける必要があります。</p> | | | | | <p>目標達成度</p> <p>■ (高)</p> | |
| 指標 | 家庭の防災力に安心感をもっている町民の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 上がると良い指標 【消防本部】 | % | 49.3 | 49.5 | 48.9 | 60.0 | (横ばい) |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は48.9%で平成29年度と比較して0.6ポイント減少し、町民が家庭の防災力に安心感を持っている割合は約5割です。後期目標値である60%には11.1ポイント届いていません。</p> <p>(原因) 耐震化の促進や非常時持ち出し袋の購入補助、避難訓練等の啓発により、家庭の防災力向上に努めていますが、経験したことのない大規模災害に対するの目に見えない不安があるように思えます。</p> | | | | | <p>目標達成度</p> <p>■ (高)</p> | |

施策のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 126,885 | 183,510 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-01 自主防災体制の確立

基本事業のプロフィール

| | |
|---------------|---|
| 基本事業の対象 町民 | 基本事業がめざす姿 組織率100%を達成した自主防災組織体制を維持しつつ、避難行動要支援者支援対策及び家庭での防災対策の実践を強化することにより、組織活動を活性化させます。 |
|---------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 目標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|-----------|-----------------------|
| 指標 | 訓練等を実施している自主防災組織の割合 | % | 31.3 | 34.9 | 31.3 | 50.0 | (横ばい) 目標達成度 (中) |
| | 上がると良い指標 【消防本部】 (状況) 平成30年度は31.3%で、前年比べて3.6ポイント減少しています。自主防災会の約3割しか訓練を実施していません。後期目標値の50%には18.7ポイント届いていません。 (原因) 自主防災会の総会等で自主防災会長に訓練の実施を呼びかけていますが、地区全体での訓練が難しいようです。防災講座など通して啓発をしていきます。 | | | | | | |
| 指標 | 避難支援プラン個別計画の整備割合 | % | 17.5 | - | 13.9 | 30.0 | 比較不可 目標達成度 (低) |
| | 上がると良い指標 【消防本部】 (状況) 平成30年度は13.9%で、基準値に対し3.6ポイント減少しています。後期目標値の30%には16.1ポイント届いていません。 (原因) 避難行動要支援者の対象者数の増加や新たな個別計画の整備が出来ていないことが原因です。今後、避難行動要支援者台帳の掲載者を増やし、個別計画の整備を進めていきます。 | | | | | | |
| 指標 | 家庭での防災対策実践項目数 (全11項目における平均実践度) | 項目 | 3.72 | 3.61 | 3.62 | 8.00 | (横ばい) 目標達成度 (低) |
| | 上がると良い指標 【消防本部】 (状況) 平成30年度は3.62項目で平成29年度と比較して0.1ポイント増加しておりますが、家庭で防災対策が余り実践されていません。後期目標値の8項目に届いておりません。 (原因) 家庭の防災対策のうち、家具転倒防止策、防災訓練の参加の割合が低く、災害時のことが家族で話し合われていないことなども影響していると考えられます。 | | | | | | |

基本事業のコスト (千円)

| | |
|--------|-------|
| H29 | H30 |
| 10,685 | 6,062 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-02 継続的・普遍的な防災教育・学習の推進

基本事業のプロフィール

| | |
|---------------|--|
| 基本事業の対象 町民 | 基本事業がめざす姿 迫りくる未曾有の危機に対する正しい知識をもち、学校・家庭・地域の連携で自分の命は自分たちで守る「生き抜く力」を育て、親から子、子から孫へと継承されていく防災地域社会システム（防災文化）を創造します。 |
|---------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 社会教育における防災教育プログラムを履修した延べ町民数 【消防本部】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|-------|-----------|-----------|-----------|--------------|
| 指標 | 上がると良い指標 | 人 | 2,789 | 4,424 | 6,686 | 17,000 | (向上) |
| 評価 | (状況) 平成30年度は、6,686人で前年度に比べて2,262人増加しました。毎年3,000人の履修を目標としています。 (原因) 平成30年7月豪雨災害により、宇和島・西予など近隣の市で甚大な被害が発生しましたが、本町においては住民の災害対策や避難に対する意識は低いように思われます。自主防災組織、職域等に対する更なる啓発が必要と考えます。 | | | | | | 目標達成度 (低) |
| 指標 | 義務教育課程における防災教育プログラムを履修した延べ児童・生徒数 【消防本部】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| 指標 | 上がると良い指標 | 人 | 1,299 | - | 1,648 | 2,100 | 比較不可 |
| 評価 | (状況) 平成30年度に義務教育課程における防災教育プログラムを履修し卒業した中学生は176名で、延べで1,648人となっています。 (原因) 各学校において防災学習等が行われ、児童・生徒は「自らの命は自らが守る」意識を持ち、積極的に防災学習、避難訓練などに取り組んでいると思われまます。 | | | | | | 目標達成度 (低) |

基本事業のコスト（千円）

| | |
|-------|-------|
| H29 | H30 |
| 1,450 | 1,677 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-03 耐震化の促進

基本事業のプロフィール

| | |
|-----------------------------|--|
| <p>基本事業の対象</p> <p>住宅、町民</p> | <p>基本事業がめざす姿</p> <p>住宅内での被害軽減対策や耐震化の重要性についての普及・啓発を行い、耐震化を進展させます。 (参考：前期意図)</p> |
|-----------------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 住宅の新耐震基準適合率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|------|-----------|-----------|--|--------|
| | 上がると良い指標 【消防本部】 | % | 53.2 | 53.3 | 53.8 | 90.0 | |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は53.8%で前年に比べ0.5ポイント増加しましたが、後期目標値には届いておりません。</p> <p>(原因) 耐震診断は毎年数件ずつ行っていますが、耐震工事には至りません。耐震化率の上昇は自然的な住宅更新によるものです。</p> | | | | | <p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ ■ (中)</p> | |

| 指標 | 耐震化に関する説明会に参加した延べ町民の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|-----|-----------|-----------|---|--------|
| | 上がると良い指標 【消防本部】 | % | 4.8 | - | 7.1 | 20.0 | |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は7.1%で基準値からは2.3ポイント増加しましたが、後期目標値には届いておりません。</p> <p>(原因) 戸別訪問や出前講座による耐震対策の啓発周知等により、参加した町民の割合は増加しております。</p> | | | | | <p>比較不可</p> <p>目標達成度</p> <p>■ ■ (低)</p> | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 1,690 | 4,866 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-04 防災情報通信網の維持管理

基本事業のプロフィール

| | |
|--|--|
| 基本事業の対象 防災拠点施設、自主防災組織、消防団、家庭 | 基本事業がめざす姿 全国瞬時警報システム等の防災情報通信網の維持管理を図ります。 |
|--|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 防災情報通信網の利用時の支障件数 【消防本部】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の つごき |
|----|---|----|-----|-----------|-----------|-----------|---------------|
| | | 件 | 0 | - | 0 | 0 | |
| 評価 | (状況)平成30年度の利用時に支障があった件数は0件です。後期目標値も0件ですので適切な運用が来ています。 (原因)定期点検及び月次試験での適正に管理されていることが考えられます。 | | | | | | 比較不可 |
| | | | | | | | 目標達成度 (達成) |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 17,235 | 16,181 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-05 災害時支援体制の確立

基本事業のプロフィール

| | |
|-------------------------------------|---|
| 基本事業の対象 防災拠点施設、防災機関、民間事業所 | 基本事業がめざす姿 大規模な災害発生時における、ライフライン等の寸断による食糧や物資の不足に備え、公助の役割として備蓄・調達体制を確保するとともに、災害発生初動時の体制を強化します。 |
|-------------------------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 食糧の備蓄充足割合（愛南町緊急物資備蓄五箇年計画） | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|------|-----------|-----------|-----------|--------|
| | 上がると良い指標 【消防本部】 | % | 76.3 | 86.7 | 94.4 | 100 | |
| 評価 | (状況)平成30年度は94.4%で、前年に比べて7.7ポイント増加し、順調に食糧を備蓄できています。 (原因)備蓄計画に基づき、アルファ米1,500食、乾パン2,952食を購入しました。備蓄計画により購入を進めているため、確実に整備できています。 | (%) | | | | | |
| 指標 | 物資の備蓄充足割合愛南町緊急物資備蓄五箇年計画) | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 上がると良い指標 【消防本部】 | % | 38.2 | 49.0 | 59.3 | 90.8 | |
| 評価 | (状況)平成30年度は59.3%で、前年に比べて10.3ポイント増加し、順調に物資を備蓄できています。 (原因)備蓄計画に基づき、災害用毛布700枚、ブランケット900枚を購入しました。備蓄計画により購入を進めているため、確実に整備できています。 | (%) | | | | | |

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 8,449 | 9,582 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-06 防災・減災ハード対策の推進

基本事業のプロフィール

| | |
|---------|---|
| 基本事業の対象 | 基本事業がめざす姿 |
| 町管理道ほか | 防災・減災のための道路や砂防等の工事を行い、安全性を高めます。災害時の復旧をおこないます。 |

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 防災・減災のハード対策が完了した件数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき |
|----|--|-------|-----|-----------|-----------|-----------|------------|
| | その他の指標 | 【建設課】 | 件 | 39 | - | 117 | 35 |
| 評価 | (状況) 平成30年度は117件で、後期基準値に比べ78件増加しています。 (原因) 平成30年度は7月の西日本豪雨災害等により災害復旧工事件数が全体の79%を占める93件と大幅に増加したことが主な原因となっています。 | | | | | | 比較不可 |
| | | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|--------|---------|
| 86,529 | 141,217 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|-----|-------|
| 847 | 3,925 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-03 消防・救急体制の充実

施策を実現する手段

基本事業 04-03-01 消防力の強化

基本事業 04-03-02 救急救命体制の充実

基本事業 04-03-03 火災予防体制の充実

基本事業 04-03-04 消防団の充実強化

基本事業 04-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

災害規模の広域化や多様化する内容により、町民の要望も変化するなど、消防を取り巻く環境は大きく変化しています。このような状況に対応し、消防の使命である住民の生命、身体および財産を守る職責を果たさなければなりません。そのためには、計画的な消防車両や資機材の整備および更新、さらに専門的な知識、技術を身につけ各種災害に対応する必要があります。

また、町の高齢化率が上昇し、依然として救急車の出場件数も高い状態が続いており、町内2次医療機関の医師減少により管外搬送も多くの割合を占めている状況です。高度化する救急現場に対応するため、平成29年から運用が開始された愛媛県ドクターヘリとの連携強化や救急救命士の新規養成をする必要があります。

さらに、一般住宅をはじめ、不特定多数の人が利用する建物の防火対策を推進し火災による人的、物的被害の軽減を目指すとともに、令和2年度から開始される特定防火対象物を対象とした公表制度を控え、予防査察を実施して火災予防の強化を図り町民の方々が安全に利用でき、安心して暮らせる町づくりを目指します。

地域防災力の拠点となる消防団の施設を充実させるため、消防団詰所の更新、資機材の整備を計画的に実施して、消防団員の活性化につなげ地域の消防体制の充実を図ります。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 3.18 (2.96) | 3.22 (2.97) | 3.15 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.67 (3.65) | 3.66 (3.65) | 3.66 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

施策のプロフィール

| | |
|---------------------------------|---|
| <p>施策の対象</p> <p>町民、消防団、消防職員</p> | <p>施策がめざす姿</p> <p>施設及び人員を活用して、生命、身体及び財産を守り、被害を軽減することによって、安心安全な町になります。</p> |
|---------------------------------|---|

施策の成果状況と評価

| 指標 | 1万人当たりの火災発生件数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|------|-------|-----------|-----------|-----------|--------------------------|
| | 下がると良い指標 【消防本部】 | 件 | 3.5 | 7.8 | 5.5 | 2.7 | (向上) |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度に発生した火災は、建物火災3件、林野火災1件、車両火災2件、その他の火災6件で、合計12件の火災が発生しました。平成30年4月1日現在の愛南町の人口は21,756人で10,000人当たりの火災発生率は5.5件となり、後期目標値には届きませんでした。昨年より2.3件少なくなっています。</p> <p>(原因) 電気器具製品の防火安全性能の向上と、住宅警報器の普及及び喫煙率の減少が考えられます。また、町民の防災意識の向上が要因と考えられます。</p> | (件) | | | | | <p>目標達成度</p> <p>(低)</p> |
| 指標 | 火災による損害額 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 下がると良い指標 【消防本部】 | 千円 | 1,586 | 15,830 | 1,058 | 1,500 | (向上) |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度に発生した火災は、建物火災3件、林野火災1件、車両火災2件、その他の火災6件が発生し、昨年度の17件より5件減少しました。また、損害額も1,058千円と後期目標値を達成できました。</p> <p>(原因) 建物火災件数の減少と、昨年大きな損害額を出した事業所火災が平成30年度には発生しなかったことが要因に挙げられます。</p> | (千円) | | | | | <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p> |
| 指標 | 救急車の平均到着時間 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 下がると良い指標 【消防本部】 | 分 | 9.6 | 9.3 | 10.1 | 8.5 | (低下) |
| 評価 | <p>(状況) 救急出場件数は昨年度より189件減少し1066件ありました。また、救急車の現場までの平均到着時間は前年と比較して0.8分延伸して、後期目標値には届きませんでした。</p> <p>(原因) 現場までの到着時間が延伸した要因として、遠隔地への救急出場件数が増加し、1件当たりの現場までの走行距離が長くなったことによるものと考えられます。</p> | (分) | | | | | <p>目標達成度</p> <p>(高)</p> |
| 指標 | 救急車の平均収容時間 119番通報を受けてから病院に収容するまでに要した時間 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 下がると良い指標 【消防本部】 | 分 | 42.4 | 40.5 | 41.1 | 39.3 | (低下) |
| 評価 | <p>(状況) 患者収容時間の平均は、前年より0.6分延長し41.1分となり、後期目標値には届きませんでした。</p> <p>(原因) 遠隔地への救急出場件数が増加したことと、救急救命士の処置拡大、高度化により現場滞在時間が長くなったためと考えられます。</p> | (分) | | | | | <p>目標達成度</p> <p>(高)</p> |

施策のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 437,356 | 469,410 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-01 消防力の強化

基本事業のプロフィール

| | |
|--------------------------------------|---|
| <p>基本事業の対象</p> <p>消防施設、消防車両、消防職員</p> | <p>基本事業がめざす姿</p> <p>国が定める消防力の整備指針に基づく基準人員及び装備を確保することにより消防力を強化します。</p> |
|--------------------------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 消防力基準の達成率（装備） | 単位 | 基準値 | 実績値（H29） | 実績値（H30） | 目標値（R03） | 指標のうごき |
|----|---|-----|-----|----------|----------|--|--------|
| | 上がると良い指標 【消防本部】 | % | 100 | 100 | 100 | 100 | |
| 評価 | <p>（状況）消防力の整備指針に基づき、消防ポンプ自動車2台、救急自動車2台、救助工作車1台を整備しており、老朽化車両は随時更新を行い後期目標値を達成しています。</p> <p>（原因）平成30年度は車両の更新はありませんでした。</p> | (%) | | | | <p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p> | |

| 指標 | 消防力基準の達成率（人員） | 単位 | 基準値 | 実績値（H29） | 実績値（H30） | 目標値（R03） | 指標のうごき |
|----|--|-----|------|----------|----------|---|--------|
| | 上がると良い指標 【消防本部】 | % | 67.0 | 65.2 | 68.1 | 72.4 | |
| 評価 | <p>（状況）消防力の整備指針に基づく基準人員は69名ですが、現在の職員数は47名であります。そのうち、行政職員が5名含まれており、42名の消防吏員で消防業務を行っています。隔日勤務者の人員が少ないため、救急出場等が重複した場合は非番職員を招集し災害に対応していますが、後期目標値には届きませんでした。</p> <p>（原因）平成29年度の退職者3名に対し、平成30年度の採用者は4名ありました。また、再任用職員も1名おり、昨年度より職員数が2名増となっています。</p> | (%) | | | | <p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p> | |

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 21,723 | 21,091 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-02 救急救命体制の充実

基本事業のプロフィール

| | |
|--------------------|---|
| 基本事業の対象 町民、消防職員 | 基本事業がめざす姿 町民による救命、救急車の適正利用等により、救急救命体制が充実し、救命率の向上を図ります。 |
|--------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|--|----|-------|-----------|-----------|---------------|--------|
| 救命講習の受講人員数 上がると良い指標 【消防本部】 | 人 | 2,173 | 2,293 | 2,077 | 2,337 | (低下) |
| (状況)救命率の向上を図るため、小・中・高等学校はもとより、各種事業所において応急手当普及啓発活動を行い、また町ホームページ等を活用し救命講習の受講呼び掛けを行っています。前年度より受講者が216名減少し、後期目標値には届きませんでした。 (原因)各種団体への救命講習受講呼び掛けを行っていますが、町内の人口減少および再受講者数の減少に起因するものと思われます。 | | | | | 目標達成度 (低) | |
| 管外搬送件数 下がると良い指標 【消防本部】 | 件 | 238 | 266 | 198 | 214 | (向上) |
| (状況)平成30年度の管外搬送件数は198件と前年から68件減少し、7年ぶりに200件を割り込み、後期目標値を達成しました。しかし、救急搬送件数の18%強を管外搬送が占めている状況があります。 (原因)町内基幹病院の医師不足により緊急手術ができず、宇和島市、宿毛市等の救急病院へ搬送しなければならない状況が継続しているためです。 | | | | | 目標達成度 (達成) | |
| 軽傷者の搬送割合 下がると良い指標 【消防本部】 | % | 41.0 | 35.5 | 38.0 | 36.0 | (横ばい) |
| (状況)救急自動車の適正利用等の広報活動により、今年度は昨年度より1.5ポイント増加し、後期目標値には届きませんでした。 (原因)救急車の適正利用の広報活動が、少しずつ町民の方々に浸透しているものの、搬送手段、交通手段がない傷病者からの搬送が増加していることが考えられます。 | | | | | 目標達成度 (高) | |

基本事業のコスト(千円)

| | |
|-------|-------|
| H29 | H30 |
| 2,151 | 2,167 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-03 火災予防体制の充実

基本事業のプロフィール

| | |
|-------------------|--|
| 基本事業の対象 町民、事業者 | 基本事業がめざす姿 消防法令に基づく消防用設備等の設置により、火災の被害を軽減します。 |
|-------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 住宅用火災警報器普及率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|------|-----------|-----------|------------------|--------|
| | 上がると良い指標 【消防本部】 | % | 63.5 | 78.3 | 80.0 | 81.7 | (横ばい) |
| 評価 | (状況) 警報器の普及率は昨年度と比較して1.7ポイント上昇しています。平成30年度6月1日時点の総務省消防庁の全国の条例適合率は66.5%、愛媛県は68.2%となっています。愛南町においては、条例適合率55%と国・県と比べて低いものの、設置率は80%と順調に上昇しましたが、後期目標値には届きませんでした。 (原因) ケーブルテレビ等を活用した住宅用火災警報器の設置推進広報および啓発を継続して実施していることが考えられます。 | | | | | 目標達成度 ■■■ (高) | |

| 指標 | 予防査察実施の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|------------------|--------|
| | 上がると良い指標 【消防本部】 | % | 10.6 | 11.0 | 7.4 | 20.0 | (低下) |
| 評価 | (状況) 平成30年度4月現在の管内防火対象物は878件、危険物施設は103件です。査察の実施件数は防火対象物51件、危険物施設22件の合計73件行いましたが、前年度と比較して3.6ポイント低下し、後期目標値には届きませんでした。 (原因) 救急出動の重複や、消防業務、救急業務等の事務もあり、予防業務に専従できないことが原因と考えられます。 | | | | | 目標達成度 ■■■ (低) | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-----|-----|
| 62 | 93 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-04 消防団の充実強化

基本事業のプロフィール

| | |
|----------------|---|
| 基本事業の対象 消防団 | 基本事業がめざす姿 消防団員の確保及び設備の整備等による地域防災力の向上を図ります。 |
|----------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 消防団員の定数充足率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき |
|----|---|----|------|-----------|-----------|-----------|------------|
| | 上がると良い指標 | % | 95.3 | 95.4 | 94.0 | 100 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は94.0%で、前年から1.4ポイント低下、後期基準値から1.3ポイント低下し、後期目標値に6.0ポイント届きませんでした。 (原因) 近年、災害が多様化・大規模化し、災害対応にあたる消防団に対して期待が高まっていますが、団員の高齢化による退団者の増加や、サラリーマン化による町外への転勤が原因です。また、町中心地から遠い小さな集落では、過疎化により団員を確保することが難しい地域もあり、少子高齢化の影響があるものと考えられます。 | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 127,812 | 150,334 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 285,608 | 295,725 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

施策を実現する手段

基本事業 04-04-01 交通安全意識の高揚

基本事業 04-04-02 交通安全施設の整備

基本事業 04-04-03 防犯対策の推進

基本事業 04-04-04 消費生活の安定

基本事業 04-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

交通事故発生件数は減少傾向にありますが、高齢者が当事者となる割合は依然として高く、また、交通死亡事故も後を絶ちません。交通安全施設の充実だけでなく、高齢者をはじめ町民への交通安全意識の高揚を図るための継続した啓発事業を行う必要があります。

また、町内における刑法犯も減少していますが、高齢者や若年層を狙った特殊詐欺等予兆事案は依然として発生しています。町民への防犯意識の高揚を図るための啓発事業についても継続して行う必要があります。併せて、町民が安全に消費生活を送ることができるよう、クーリングオフ制度の周知、消費者相談等の充実に取り組む必要があります。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 3.06 (2.96) | 3.09 (2.97) | 3.04 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.55 (3.65) | 3.58 (3.65) | 3.55 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

施策のプロフィール

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 施策の対象 | 施策がめざす姿 |
| 町民 | 交通事故の発生が抑制されています。 犯罪の発生が抑制されています。 |

施策の成果状況と評価

| 指標 | 交通事故発生件数 【総務課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき |
|----|---|----|-----|-----------|-----------|-----------|----------------------------|
| | | 件 | 34 | 31 | 26 | 30 | |
| 評価 | 下がるが良い指標 | | | | | | ☀ (向上) |
| | <p>(状況) 平成30年は26件で、前年より5件減少しています。 (原因) 全国的に交通事故発生件数は減少していますが、交通安全協会などの町内関係機関による交通安全啓発活動等の効果が成果向上に結びついたと考えられます。</p> | | | | | | 目標 達成度 🏰 (達成) |
| 指標 | 刑法犯認知件数 【総務課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき |
| | | 件 | 153 | 124 | 108 | 121 | |
| 評価 | 下がるが良い指標 | | | | | | ☀ (向上) |
| | <p>(状況) 平成30年は108件で、前年より16件減少しています。 (原因) 愛媛県下では、5年連続で刑法犯の認知件数が戦後最少記録を更新していますが、町内においても、防犯協会や駐在所連絡協議会などの防犯活動が成果向上に結びついたと考えられます。</p> | | | | | | 目標 達成度 🏰 (達成) |

施策のコスト(千円)

| | |
|--------|--------|
| H29 | H30 |
| 23,410 | 22,755 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-01 交通安全意識の高揚

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------------------------|---|
| 基本事業の対象 町民（特に高齢者）、交通安全協会 | 基本事業がめざす姿 町民、特に高齢者の交通安全意識が高まり、交通事故の発生が抑制されます。 |
|------------------------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 町民が第1当事者となった交通事故発生件数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|-----|-----------|-----------|-----------|---------------|
| | 下がると良い指標 【総務課】 | 件 | 34 | 31 | 26 | 30 | (向上) |
| 評価 | (状況) 平成30年は26件で、前年より5件減少しています。 (原因) 全国的に交通事故発生件数は減少していますが、交通安全協会などの町内関係機関による交通安全啓発活動等の効果が成果向上に結びついたと考えられます。 | | | | | | 目標達成度 (達成) |

| 指標 | 高齢者の交通事故発生件数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|-----|-----------|-----------|-----------|---------------|
| | 下がると良い指標 【総務課】 | 件 | 26 | 14 | 19 | 20 | (低下) |
| 評価 | (状況) 平成30年は19件で、前年に比べ5件増加しています。 (原因) 町内では全体の交通事故件数は減少しているものの、高齢者が当事者となる事故は全体の7割を占め、公共交通網が十分でないため、自家用車による移動手段に頼る高齢者が多いことが原因と考えられます。 | | | | | | 目標達成度 (達成) |

基本事業のコスト（千円）

| | H29 | H30 |
|--|-------|-------|
| | 5,911 | 7,408 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-02 交通安全施設の整備

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------|---|
| 基本事業の対象 町民、町道 | 基本事業がめざす姿 必要な交通安全施設が整備され、危険箇所が少なくなります。 |
|------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | カーブミラー設置箇所数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|-----|-----|-----------|-----------|---------------|--------|
| | 上がると良い指標 【総務課】 | 件 | 15 | 10 | 15 | 15 | |
| 評価 | (状況)平成30年度は15件で、前年度より5件増加しています。 (原因)地区要望等により、見通しの悪い交差点や屈曲部へカーブミラーを設置したことによるものです。 | (件) | | | | 目標達成度 (達成) | |

| 指標 | ガードレール(ガードパイプ)整備延長距離数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|-----|-------|-----------|-----------|--------------|--------|
| | 上がると良い指標 【建設課】 | m | 165.5 | 253.2 | 118.0 | 150.0 | |
| 評価 | (状況)平成30年度は6件の工事で整備延長は118.0mの実施となり、整備延長は昨年度より減少しました。 (原因)交通安全施策としては、順次必要なガードレール・ガードパイプの整備が図られていることが原因ではないかと考えられます。 | (m) | | | | 目標達成度 (高) | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 7,395 | 4,876 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-03 防犯対策の推進

基本事業のプロフィール

| | |
|--------------------------|--|
| <p>基本事業の対象</p> <p>町民</p> | <p>基本事業がめざす姿</p> <p>防犯意識が向上するとともに、防犯環境の整備を進め、犯罪の発生が抑制されています。</p> |
|--------------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 指標のうごき | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) |
|--|--------|---------------------------------------|------|-----------|-----------|-----------|
| <p>犯罪も少なく安心して暮らせる地域になっていると思う町民の割合</p> <p>上がると良い指標 【総務課】</p> | | % | 85.5 | 90.1 | 88.5 | 86.0 |
| <p>(状況) 平成30年度は88.5%で、昨年度より1.6ポイント減少しています。約9割の町民が犯罪も少なく安心して暮らせる地域になっていると感じています。</p> <p>(原因) 凶悪犯罪の発生がほとんどなく、刑法犯の認知件数も減少しているためと考えられます。</p> | | <p>目標達成度</p> <p>(横ばい)</p> <p>(達成)</p> | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 9,363 | 9,833 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-04 消費生活の安定

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------|--|
| 基本事業の対象 町民、行政 | 基本事業がめざす姿 消費生活に対する意識が高まり、消費者トラブルが減少します。 |
|------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 消費者トラブルにあった町民割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|-----|-----|-----------|-----------|-----------|--|
| | 下がると良い指標 【商工観光課】 | % | 1.2 | - | 0.7 | 1.0 | |
| 評価 | (状況) 基準値から0.5ポイント向上し、目標値を達成しています。 (原因) 町行政無線等を利用して、啓発活動に努めた結果であると考えられます。 | (%) | | | | | 比較不可 目標達成度  (達成) |

| 指標 | 消費者トラブルに対する対策を知っている町民割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|------|-----------|-----------|-----------|---|
| | 上がると良い指標 【商工観光課】 | % | 63.7 | - | 59.6 | 75.0 | |
| 評価 | (状況) 基準値から4.1ポイント低下し、目標値に15.4ポイント届いていません。 (原因) 犯罪の手口が多様化しているという現状において、どのような対策を取ればよいかという啓発が不十分であることが原因であると思われます。 | (%) | | | | | 比較不可 目標達成度  (高) |

基本事業のコスト(千円)

| | |
|-----|-----|
| H29 | H30 |
| 640 | 638 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|-----|-----|
| 101 | 0 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

施策を実現する手段

基本事業 04-05-01 効果的・効率的な行政運営

基本事業 04-05-02 人材育成と効率的な組織運営

基本事業 04-05-03 健全な財政運営

基本事業 04-05-04 地域情報化の推進

基本事業 04-05-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

少子高齢化の進展や人口減少問題が本格化する中、住民ニーズの多様化・複雑化、老朽施設の維持更新、想定外の災害への対応など、今後の地方行財政を取り巻く環境は一段と厳しい状況となることを見込まれています。こうした状況に対応するため、職員の政策形成能力向上のための人材育成、行政改革の推進、自主財源の確保、情報セキュリティの強化及び情報資産の適切な管理に務めながら、総合計画、行政評価及び予算編成が連動した計画的で効果的・効率的な行財政運営システムを構築していきます。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 2.93 (2.96) | 2.93 (2.97) | 2.90 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.61 (3.65) | 3.61 (3.65) | 3.56 (3.63) | ➔ |

() 内は、25施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

施策のプロフィール

| | |
|---------------------------|--|
| <p>施策の対象</p> <p>町の行財政</p> | <p>施策がめざす姿</p> <p>効率的で計画的な行財政運営がなされています。</p> |
|---------------------------|--|

施策の成果状況と評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|---|----|------|-----------|-----------|-----------|---|
| <p>施策成果指標の目標値の達成割合</p> <p>上がると良い指標 【企画財政課】</p> | % | 23.9 | 30.4 | 24.0 | 70.0 | <p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p> |
| <p>（状況）前年度比で6.4ポイント低下し、基準値比で0.1ポイント向上しています。50の施策成果指標のうち、目標値を達成したのは12の施策成果指標です。</p> <p>（原因）H30年度は後期基本計画(H30年度～R3年度)の初年度であり、50の施策成果指標の22.0%に当たる11の施策成果指標が新たに設定され、また、前期基本計画(H26年度～H29年度)から引き継がれた施策成果指標であっても、目標値をより高く設定した施策成果指標があるためだと考えられます。</p> | | | | | | |
| <p>町の行財政運営が効果的・効率的に行われていると思う町民の割合</p> <p>上がると良い指標 【企画財政課】</p> | % | 81.2 | 82.1 | 80.0 | 90.0 | <p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p> |
| <p>（状況）前年度比で2.1ポイント、基準値比でも1.2ポイント低下しています。また、後期目標値へも届いていません。</p> <p>（原因）いずれの値も統計誤差の範囲ですが、「わからない」との回答が全体の47.1%で、前年度比で6.5ポイント増加しており、積極的な情報提供が必要であると考えます。</p> | | | | | | |
| <p>実質公債費比率</p> <p>下がると良い指標 【企画財政課】</p> | % | 6.3 | 6.1 | 6.4 | 8.3 | <p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>🏰 (達成)</p> |
| <p>（状況）平成30年度は6.4%で、前年度と比較して0.3ポイント低下しました。基準値からも0.1ポイント低下していますが、後期目標値は達成しており、財政の健全化は順調に進んでいます。単年度で見ると0.23ポイント向上しています。</p> <p>（原因）合併特例措置の縮減等に伴う普通交付税が3億4,297万3千円減少したことや事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費3,561万5千円の減が、単年度で0.23ポイント向上した主な要因となっています。</p> | | | | | | |
| <p>将来負担比率</p> <p>下がると良い指標 【企画財政課】</p> | % | 9.5 | 6.3 | 0.2 | 0 | <p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p> |
| <p>（状況）平成30年度は0.2%で、前年度と比較して6.1ポイント向上しました。基準値からも9.3ポイント向上し、後期目標値からは0.2ポイント低下しているが、財政の健全化は順調に進んでいます。</p> <p>（原因）地方債の発行を償還が上回り、結果、地方債残高が9億4,607万2千円減少したことが主な向上の要因となっています。</p> | | | | | | |

施策のコスト(千円)

| | |
|-----------|-----------|
| H29 | H30 |
| 6,849,061 | 3,986,400 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-01 効果的・効率的な行政運営

基本事業のプロフィール

| | |
|---------------|---|
| 基本事業の対象 行政 | 基本事業がめざす姿 効果的・効率的な行政運営を行い、住民サービスを向上させます。 |
|---------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 基本事業成果指標の目標値の達成割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|------|-----------|-----------|-----------|----------------------|
| | 上がると良い指標 【企画財政課】 | % | 31.7 | 40.2 | 31.7 | 70.0 | (低下) 目標達成度 (低) |
| 評価 | (状況) 前年度比で8.5ポイント低下し、基準値比は同値です。202の基本事業成果指標のうち、目標値を達成したのは64の基本事業成果指標です。 (原因) H30年度は後期基本計画(H30年度～R3年度)の初年度であり、202の基本事業成果指標の20.3%に当たる41の基本事業成果指標が新たに設定され、また、前期基本計画(H26年度～H29年度)から引き継がれた基本事業成果指標であっても、目標値をより高く設定した基本事業成果指標があるためだと考えられます。 | (%) | | | | | |

| 指標 | 行政改革実践件数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|-----|-----|-----------|-----------|-----------|-----------------------|
| | 上がると良い指標 【総務課】 | 件 | 23 | 26 | 28 | 26 | (向上) 目標達成度 (達成) |
| 評価 | (状況) 平成30年度は、28事業と前年度より2事業増加し、基準値に5ポイント、後期期目標値に2ポイント上回り目標を達成しています。 (原因) 行政改革に向けて、事業の推進が図られたものと考えられます。長期的な取組みが必要なものもあるため、継続して取り組む必要があります。 | (件) | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 28,387 | 25,780 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-02 人材育成と効率的な組織運営

基本事業のプロフィール

| | |
|---------------|---------------------------------------|
| 基本事業の対象 行政 | 基本事業がめざす姿 適正な職員数により効率的な行政組織を構築します。 |
|---------------|---------------------------------------|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|--|----|------|-----------|-----------|-----------|---------------|
| 人口1,000人に対する職員数 下がると良い指標 【総務課】 | 人 | 16.1 | 16.0 | 16.0 | 16.1 | (横ばい) |
| (状況)平成30年度は16.0人で前年度と同じ指標値となっており、目標を達成しています。 (原因)昨年に引き続き、新規採用者の採用枠を退職者の5割程度に抑制し職員数の削減を進めています。今後とも、より効率的に事務事業を処理できる組織体制を検討しながら、定員管理の適正化を推進していきます。 | | | | | | 目標達成度 (達成) |
| 町職員の対応ぶりや仕事ぶりに満足している町民の割合 上がると良い指標 【総務課】 | % | 79.7 | 82.3 | 84.5 | 90.0 | (向上) |
| (状況)前回のアンケート結果より2.2ポイント向上し基準値よりも10.7ポイント向上し後期目標値へ近づいています。 (原因)アンケートでは、町職員の対応ぶり等に対する満足度で、満足・やや満足・普通という回答が84.5%という結果でした。各年代で「不満」「やや不満」と回答された方の前回比が減少していることから、住民の町職員に対する満足度が向上し、成果に結びついたと考えます。一方で、住民からの苦情も少なからずあることから、今後も接遇研修等を通じて公務員としての自覚と職業意識の醸成に努めることが必要と考えます。 | | | | | | 目標達成度 (高) |

基本事業のコスト(千円)

| | |
|-----|-----|
| H29 | H30 |
| 0 | 0 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-03 健全な財政運営

基本事業のプロフィール

| | |
|----------------------------------|---|
| 基本事業の対象 町の自主財源、町民、町の財政 | 基本事業がめざす姿 自主財源の安定的な確保を図るとともに、中長期的な視点に立った健全な財政運営を行います。 |
|----------------------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 一人当たりの地方債残高 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|------|-----------|-----------|----------------------|--------|
| | 下がると良い指標 【企画財政課】 | 千円 | 978 | 979 | 955 | 932 | |
| 評価 | (状況) 住民一人あたりの地方債残高は、平成30年度末で95万5千円で、平成29年度と比較して2万4千円減少しました。また、基準値に対し2万3千円の減少、目標値との差額は2万3千円となりました。 (原因) 地方債残高は、平成30年度末が203億4,336万5千円で、平成29年度末と比較して9億4,607万2千円減少しました。平成30年度末の住民基本台帳人口が21,296人で、平成29年度と比較して460人減少をしていますが、平成30年度の地方債発行額が平成29年度と比較して7億9,930万円減少していることもあり、一人当たりの地方債残高は減少をしました。 | | | | | (向上) 目標達成度 (中) | |
| 指標 | 町税の収納率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 上がると良い指標 【企画財政課】 | % | 95.5 | 95.9 | 96.8 | 97.8 | |
| 評価 | (状況) 町税の収納率は、平成30年度96.8%で平成29年度と比較して0.9ポイント向上しました。基準値に対しても1.3ポイント向上しています。 (原因) 納税相談や財産調査に基づく滞納処分(平成30年度107件)を積極的に実施したことが、収納率向上の要因と考えられます。 | | | | | (向上) 目標達成度 (中) | |
| 指標 | 経常収支比率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 下がると良い指標 【企画財政課】 | % | 88.2 | 91.2 | 93.3 | 94.8 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は93.3%で、平成29年度と比較して2.1ポイント上昇しました。また、基準値に対し5.1ポイントの上昇、目標値との差は1.5ポイントとなりました。 (原因) 合併特例措置の段階的な縮減等に伴い、普通交付税が平成29年度と比較して3億4,297万3千円減少をしていることが主な要因です。 | | | | | (低下) 目標達成度 (高) | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 28,211 | 31,669 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-04 地域情報化の推進

基本事業のプロフィール

| | |
|----------------------|--|
| 基本事業の対象 町民、行政、事業者 | 基本事業がめざす姿 情報インフラを活用し、地域の情報化を推進するとともに、情報の管理を適切に行います。 |
|----------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 指標のつぎ | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) |
|---|-----------------------------|-----|------|-----------|-----------|-----------|
| インターネットを活用している町民割合 上がると良い指標 【総務課】 | 傘 (低下) 目標達成度 ■ (中) | % | 78.2 | 74.8 | 58.8 | 80.0 |
| (状況) 前回町民アンケートより16.0ポイント低下しており、基準値及び後期目標値に届きませんでした。 (原因) 町が整備をしている光インターネットのサービス利用者は徐々に増加しており、スマートフォンなどのモバイル通信機器も普及していますが、設問の選択肢の「CATVの視聴」が除かれたことと、年代別の回答で高齢者の利用率が低いことから、高齢化率の上昇等が指標値の低下に影響していると考えられます。 | | (%) | | | | |
| セキュリティ事故件数 下がると良い指標 【総務課】 | 太陽 (向上) 目標達成度 王冠 (達成) | 件 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (状況) セキュリティ事故件数は0件となり目標値を達成しています。 (原因) 情報セキュリティ強化対策(インターネット及び基幹系システムネットワークの分離など)や情報セキュリティに関する職員研修(eラーニングなど)など、継続的に物理的・技術的・人的セキュリティの強化を図っていることが成果に結びついたと考えられます。 | | (件) | | | | |
| システムダウン件数 下がると良い指標 【総務課】 | 太陽 (向上) 目標達成度 王冠 (達成) | 件 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (状況) システムダウン件数は0件となり目標値を達成しています。 (原因) 機器的なシステム障害等はありませんでしたが、住民サービスに影響するシステム障害は発生しておりません。各種システムの監視体制の強化や障害発生時の対応手順等の見直しを図ることにより、障害発生時に迅速に対応できていることが要因と考えられます。また、機器及びシステム異常等のログの確認及び機器の点検を定期的実施していることが安定稼働につながり、成果に結びついたと考えられます。 | | (件) | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| | |
|---------|---------|
| H29 | H30 |
| 344,765 | 325,192 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|-----------|-----------|
| 6,447,698 | 3,603,759 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

施策を実現する手段

基本事業 04-06-01 未利用施設の活用

基本事業 04-06-02 公共施設の維持管理

基本事業 04-06-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

過去に建設された公共施設のうち、多数の施設がこれから更新時期を迎えます。しかし、今後見込まれる人口の減少や高齢化等、そして厳しい財政事情から、公共施設の老朽状況や使用頻度などを考慮し、計画的・効率的な維持管理を行うとともに、用途の見直しや統廃合など施設の在り方を検討していく必要があります。

これに伴い、平成28年度に愛南町公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設等の現況、将来の見通し及び計画的な管理に係る基本的な方針を立てました。更に令和元年度中に策定予定の個別施設計画では、各施設ごとの方向性を詳細に示しており、引き続き公共施設の適正化と有効利用を図ります。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 2.96 (2.96) | 2.97 (2.97) | 2.91 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.40 (3.65) | 3.43 (3.65) | 3.42 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

施策のプロフィール

| | |
|--------------------------|--|
| <p>施策の対象</p> <p>公共施設</p> | <p>施策がめざす姿</p> <p>公共施設の老朽状況及び利用率並びに人口に見合うよう公共施設を適正化するとともに、その有効利用を図ります。</p> |
|--------------------------|--|

施策の成果状況と評価

| 指標 | 町民一人当たりの公共施設延床面積 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----------------|------|-----------|-----------|---------------------------------------|--------|
| | 下がると良い指標 【総務課】 | m ² | 10.9 | 11.0 | 11.2 | 11.7 | |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は11.2m²で、平成29年度より0.2m²増加しています。基準値(後期)と比較しても0.3m²増加しており、人口に対して適正な公共施設数とは言えない状況です。</p> <p>(原因) 町民一人当たりの公共施設延床面積は、年々微増していることから、人口の減少が原因と考えられます。</p> | | | | | <p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p> | |

| 指標 | 公共施設の減価償却率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|-------------------------------------|--------|
| | 下がると良い指標 【企画財政課】 | % | 56.9 | 58.4 | - | 56.9 | |
| 評価 | <p>(状況) H30値は、R2.3末に値が確定する見込みであるもののH30値はH29値と比較して横ばい傾向にあると考えられます。</p> <p>(原因) 公共施設の改修事業(保育所保育室防水改修工事)を実施しているものの、減価償却額(本庁舎等の減価償却額)が上回るため、H29値とほぼ同じ値になると見込んでいます。</p> | | | | | <p>比較不可</p> <p>目標達成度</p> <p>(低)</p> | |

施策のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 227,407 | 228,000 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

基本事業 04-06-01 未利用施設の活用

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------|--|
| 基本事業の対象 未利用施設 | 基本事業がめざす姿 効率的で適切な管理を行うとともに、有効活用を図ります。 |
|------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 遊休施設の活用・廃止（解体）件数 上がると良い指標 【総務課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき |
|----|---|------------|-------|-----------|-----------|-----------|------------|
| | | 施設 (施設) | 10 | - | 8 | 10 | |
| 評価 | (状況) 基準値(後期)から2施設減少し後期目標値も達成できていません。引き続き、新規遊休施設の活用に対応していかなければならない状況です。 (原因) 未利用であった旧給食センター等の施設について有効に活用することができましたが、施設によっては関係省庁への処分報告が必要な施設等もあり、長期間利用できない状況が考えられます。また、各施設の規模も大きいため、利用する団体・個人が限定されることも原因と考えられます。 | | | | | | 比較不可 |
| | | ■■■ (高) | 目標達成度 | | | | |

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|--------|-------|
| 15,571 | 4,035 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

基本事業 04-06-02 公共施設の維持管理

基本事業のプロフィール

| | |
|--|---|
| <p style="text-align: center;">基本事業の対象</p> <p>町の公共施設</p> | <p style="text-align: center;">基本事業がめざす姿</p> <p>適切な維持管理を行うことにより、安全で快適に利用できます。</p> |
|--|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 公共施設に係る管理費 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|--|---|---------|-----------|-----------|-----------|------------|-----|-----|-----|---------|---|-----|---|---|-----|---------|---|----|---|---|-----|---|---|-----|---|---------|-------------------|
| | 【企画財政課】 | 千円 | 666,129 | - | 500,989 | 599,516 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 下がるが良い指標 | (千円) | | | | | 比較不可 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度指標値は、500,989千円で、後期基準値と比較し、165,140千円、後期目標値との比較についても98,527千円となりました。</p> <p>(原因) 後期基準値年度(平成28年度)に比べ大規模な工事が無かった事が原因です。</p> | <table border="1" style="display: none;"> <caption>管理費の推移 (千円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>666,129</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>500,989</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>-</td> <td>599,516</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 年度 | 実績値 | 目標値 | H28 | 666,129 | - | H29 | - | - | H30 | 500,989 | - | R元 | - | - | R02 | - | - | R03 | - | 599,516 | 目標 達成度 (達成) |
| 年度 | 実績値 | 目標値 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H28 | 666,129 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H29 | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H30 | 500,989 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R元 | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R02 | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R03 | - | 599,516 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 161,343 | 179,221 |

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-06 公共施設マネジメントの推進

基本事業 04-06-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 50,493 | 44,744 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-01 学校教育の充実

施策を実現する手段

基本事業 05-01-01 確かな学力の向上

基本事業 05-01-02 心の教育の充実

基本事業 05-01-03 健やかな体の育成

基本事業 05-01-04 安心安全な学校づくり

基本事業 05-01-05 教職員の資質・能力の向上

基本事業 05-01-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

子どもたちの主体的な学びの創造を支援するとともに、児童・生徒一人ひとりに応じた指導を徹底して、確かな学力の定着・向上と心身の健全育成に取り組めます。
 複式学級への支援や特別な支援を必要とする児童・生徒への支援を充実させ、全ての子どもたちが学校生活によりよく適応できるよう総合的な施策を推進します。
 心身ともに健康な児童・生徒を育成するために、基本的な生活習慣・日常的な運動習慣の定着に努めていきます。
 子どもの健全育成のため、栄養バランスがとれた安心安全な給食の提供に努めます。また、時代の変化とともに増えてきたアレルギーのある子どもに対応した給食を充実させます。
 安心安全な学校づくりを推進するため、各教育施設を点検・整備し計画的な改修、改築等を行っていきます。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 3.10 (2.96) | 3.09 (2.97) | 3.07 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.66 (3.65) | 3.66 (3.65) | 3.60 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

施策のプロフィール

| | |
|-----------------------------------|---|
| 施策の対象 幼稚園、小中学校、園児、児童、生徒 | 施策がめざす姿 心身ともに健康な子どもを育成し、教育環境を整備・充実し、安全・安心な学校生活を形成します。 |
|-----------------------------------|---|

施策の成果状況と評価

| | | | | | | | |
|----|---|----|------|-----------|-----------|-----------|------------------------------|
| 指標 | 楽しく学校生活を送っている児童（小学生）の割合 上がると良い指標 【学校教育課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | | % | 95.0 | 92.8 | 92.3 | 96.0 | |
| 評価 | (状況)平成30年度は92.3%で、前年に比べて0.5ポイント減少しています。基準値からも2.7ポイント下回っており、後期目標に3.7ポイント届きませんでした。 (原因)楽しいと思っていない児童には、友達関係、勉強、家族のこと等、様々な理由が考えられます。また、その時の気分で答えている児童もいると思われます。今回は冬休み明けに調査したことも影響してると考えられます。 | | | | | | (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高) |

| | | | | | | | |
|----|--|----|------|-----------|-----------|-----------|------------------------------|
| 指標 | 児童が楽しく学校生活を送っていると思う保護者の割合 上がると良い指標 【学校教育課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | | % | 93.7 | 94.4 | 94.4 | 95.0 | |
| 評価 | (状況)平成30年度は、94.4%で前年と同じとなっています。基準値は0.7ポイント上回っていますが後期目標には0.6ポイント届きませんでした。 (原因)児童相互の人間関係、学級担任と保護者、学校と保護者の関係が良好であるといえます。 | | | | | | (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高) |

| | | | | | | | |
|----|--|----|------|-----------|-----------|-----------|------------------------------|
| 指標 | 楽しく学校生活を送っている生徒（中学生）の割合 上がると良い指標 【学校教育課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | | % | 94.4 | 93.9 | 91.6 | 96.0 | |
| 評価 | (状況)平成30年度は91.6%で、前年に比べて2.3ポイント、基準値からも0.7ポイント減少し、後期目標には2.1ポイント届きませんでした。 (原因)ポイントは減少していますが、高い数値を維持しており、日々の学校生活が充実していると考えております。生徒数の減少もあり、1人の生徒のポイント割合が大きくなっているのが原因だといえます。昨年度と同様に友達や教師との人間関係が良好であると考えています。 | | | | | | (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高) |

| | | | | | | | |
|----|---|----|------|-----------|-----------|-----------|------------------------------|
| 指標 | 生徒が楽しく学校生活を送っていると思う保護者の割合 上がると良い指標 【学校教育課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | | % | 94.4 | 92.9 | 91.6 | 95.0 | |
| 評価 | (状況)平成30年度は91.6%で、前年に比べて1.3ポイント減少しており、基準値も2.8ポイント下回っています。後期目標には3.4ポイント届きませんでした。 (原因)ポイントは減少していますが、9割の高水準は維持しており、生徒の言動、学校からの情報発信等により、学校に対する安心感・信頼感は生まれていると考えられます。 | | | | | | (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高) |

施策のコスト（千円）

| | |
|---------|---------|
| H29 | H30 |
| 795,251 | 851,259 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-01 確かな学力の向上

基本事業のプロフィール

| | |
|----------------------------|---|
| <p>基本事業の対象</p> <p>小中学校</p> | <p>基本事業がめざす姿</p> <p>自ら学び考える力を育成し、基礎・基本を定着させることにより確かな学力の向上を図ります。</p> |
|----------------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| | | | | | | | |
|----|---|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 指標 | <p>授業が分かるという児童の割合</p> <p>上がると良い指標 【学校教育課】</p> | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | | % | 94.7 | 94.1 | 95.2 | 95.0 | |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は95.2%で、前年に比べて1.1ポイント増加しています。基準値も0.5ポイント上回っています。後期目標値を0.2ポイント上回っています。</p> <p>(原因) 県の学力向上3か年計画に沿って、授業改善を行っていることが、数値の向上につながっていると考えられます。</p> | | | | | ☀ (向上) | |
| | | 目標達成度 | ☰ (達成) | | | | |

| | | | | | | | |
|----|---|-------|----------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 指標 | <p>授業が分かるという生徒の割合</p> <p>上がると良い指標 【学校教育課】</p> | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | | % | 88.3 | 89.0 | 89.6 | 95.0 | |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は89.6%で前年に比べて0.6ポイント増加し、基準値も1.3ポイント上回っています。しかし後期目標には5.4ポイント届きませんでした。</p> <p>(原因) 各学校において、生徒一人一人の実態に応じた個別指導や少人数指導、TT指導等のきめ細やかな指導体制の工夫が行われていることが増加の要因と考えられます。</p> | | | | | ☀ (向上) | |
| | | 目標達成度 | ☰ (高) | | | | |

| | | | | | | | |
|----|--|-------|----------|-----------|-----------|------------|--------|
| 指標 | <p>学習習慣ができている児童の割合</p> <p>上がると良い指標 【学校教育課】</p> | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | | % | 90.1 | 81.2 | 81.1 | 92.0 | |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は81.1%で前年に比べて0.1ポイント減少しています。基準値も9.0ポイント下回っており、後期目標に10.9ポイント届きませんでした。</p> <p>(原因) 昨年度と同じ状況で、家庭との連携が図りにくい現状があるのではないかと考えられます。</p> | | | | | ☁ (横ばい) | |
| | | 目標達成度 | ☰ (高) | | | | |

| | | | | | | | |
|----|--|-------|----------|-----------|-----------|------------|--------|
| 指標 | <p>学習習慣ができている生徒の割合</p> <p>上がると良い指標 【学校教育課】</p> | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | | % | 81.9 | 80.4 | 78.1 | 85.0 | |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は78.1%と前年に比べて2.3ポイント減少しています。基準値も3.8ポイント下回っています。後期目標に6.9ポイント届きませんでした。</p> <p>(原因) 授業と連動した家庭学習や、予習・復習を含めた自主学習の指導を継続していますが、3学年しかないため、年度による変動があると考えられます。</p> | | | | | ☁ (横ばい) | |
| | | 目標達成度 | ☰ (高) | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| | |
|---------|---------|
| H29 | H30 |
| 195,461 | 220,016 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-02 心の教育の充実

基本事業のプロフィール

| | |
|---------------------|--|
| 基本事業の対象 幼稚園、小中学校 | 基本事業がめざす姿 いじめ・不登校の根絶に努め、家庭や地域と連携した生徒指導の充実を図ります。 |
|---------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|--|----|-----|-----------|-----------|-----------|-------------------------|
| いじめの解消率 | % | 100 | - | 100 | 100 | 比較不可 目標達成度 🏰 (達成) |
| 上がると良い指標 【学校教育課】 (状況) 平成30年度は100%で、目標値を達成しています。 (原因) いじめ不登校等相談員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーと連携し、実態把握と適正な対応ができていますと考えられます。 | | | | | | |

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|--|----|-----|-----------|-----------|-----------|--------------------------|
| 不登校の児童・生徒数 | 人 | 2 | 5 | 8 | 0 | ☔ (低下) 目標達成度 ■ (低) |
| 下がると良い指標 【学校教育課】 (状況) 平成30年度は8人で、前年度より3人増加しています。基準値からも6人増加しています。 (原因) 欠席日数が増える要因は様々であります。保護者や関係機関と連携しながら再登校を促す必要があります。 | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 2,946 | 3,683 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-03 健やかな体の育成

基本事業のプロフィール

| | |
|---------------------|--|
| 基本事業の対象 幼稚園、小中学校 | 基本事業がめざす姿 健康的な生活習慣の形成を図り、運動を通じて体力を養います。 |
|---------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|--|----|------|-----------|-----------|-----------|------------------------|
| 愛媛県体力標準値で県平均を上回っている項目数（小5・中2） 上がると良い指標 【学校教育課】 | 項目 | 14 | 25 | 23 | 20 | (横ばい) 目標達成度 (達成) |
| (状況) 平成30年度は23項目で前年に比べて2項目減少していますが、基準値からは9項目と大きく上回っており、後期目標を達成しています。 (原因) 目標の持たせ方、意欲の持たせ方、実施までの主体的な練習のさせ方等において工夫したためです。 | | | | | | |
| 内科検診における精検者の受診率 上がると良い指標 【学校教育課】 | % | 64.5 | 47.6 | 29.2 | 100 | (低下) 目標達成度 (低) |
| (状況) 平成30年度は29.2%で前年度に比べて18.4ポイント減少しています。基準値からも35.3ポイント下回っており、目標には大きく届きませんでした。 (原因) 平成30年度も肥満と判定された児童生徒が多かったため、学校が保護者に受診を勧めていますが、肥満と判定された児童生徒と経過観察の児童生徒の保護者が受診の必要性を強く感じていなかったことが考えられます。 | | | | | | |
| 日常で十分運動している児童・生徒の割合 上がると良い指標 【学校教育課】 | % | 76.1 | 79.2 | 83.9 | 80.0 | (向上) 目標達成度 (達成) |
| (状況) 平成30年度は83.9%と前年に比べて4.7ポイント増加しており、後期目標を達成しています。 (原因) 小学男女、中学男子が増加させていることが、増加の要因と考えられます。しかし、中学女子は前年に比べポイントを減少させているなど、年度によって女子の運動量に幅があります。 | | | | | | |
| 基本的な生活習慣ができている児童・生徒の割合（早寝早起き、朝ごはんを食べている、あいさつなど） 上がると良い指標 【学校教育課】 | % | 86.1 | 86.1 | 85.0 | 95.0 | (横ばい) 目標達成度 (高) |
| (状況) 平成30年度は85.0%と前年と比べ1.1ポイントの減少となっており、基準値を1.1ポイント下回っており、後期目標に10ポイント届きませんでした。 (原因) 各学校での基本的な生活習慣に対する指導や、家庭への啓発は行われていますが、家庭環境によるところもあり、前年とあまり変化がありませんでした。 | | | | | | |

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 154,601 | 153,084 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-04 安心安全な学校づくり

基本事業のプロフィール

| | |
|---------------------|---|
| 基本事業の対象 幼稚園、小中学校 | 基本事業がめざす姿 子どもが安心安全な環境で学校生活を送ることができるよう、教育環境の整備・充実に努めます。 |
|---------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 施設維持管理上の不具合件数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|-----|-----------|-----------|-----------|--------|
| | 下がるが良い指標 【学校教育課】 | 件 | 129 | 135 | 171 | 128 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は171件で、前年に比べて36件増加し、学校施設の修繕件数について指標としての推移は不調となっております。 (原因) 町内学校施設は全体的に老朽化が進んでおりそれに伴う修繕必要箇所が増加していることが原因と思われます。しかし、構成事務事業の成果指標である授業への支障をきたしている不具合件数はほぼ0件を維持しており、学校と密に連絡を取り初期段階で状況を確認し修繕することで施設不具合箇所の影響が拡大する前の対応ができていると思われます。 | (件) | | | | | |

| 指標 | 登下校の事故・トラブル件数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|-----|-----|-----------|-----------|-----------|--------|
| | 下がるが良い指標 【学校教育課】 | 件 | 7 | 7 | 4 | 0 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は4件となっており、前年度と比べ3件の減となっています。基準値を2件下回っていますが、後期目標には届きませんでした。 (原因) 不審者の被害がないのは、学校で防犯訓練をしていることや発見者が素早く通報し、警察やスクールガードリーダーと連携することができていることが原因だと考えられます。 | (件) | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 193,740 | 222,596 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-05 教職員の資質・能力の向上

基本事業のプロフィール

| | |
|----------------|---------------------------------|
| 基本事業の対象 教職員 | 基本事業がめざす姿 教職員の資質・能力の向上を図ります。 |
|----------------|---------------------------------|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 目標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき |
|----|--|---------|------|-----------|-----------|-----------|--------------|
| 指標 | 研修や自己研鑽を行っている教職員の割合 | % | 98.6 | 97.2 | 99.0 | 100 | |
| | 上がると良い指標 | 【学校教育課】 | | | | | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は99.0%と前年に比べると1.8ポイント増加しています。基準値は0.4ポイント上回っていますが、後期目標には届きませんでした。 (原因) 99%と高水準を保っていますが、個人の受取り方により、どうしても、回数や内容が十分ではないと、感じる教職員がいることが考えられます。 | | | | | | 目標達成度 (高) |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-----|-----|
| 0 | 59 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 248,503 | 251,821 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-02 生涯学習の充実

施策を実現する手段

基本事業 05-02-01 生涯学習機会の充実

基本事業 05-02-02 青少年の健全育成

基本事業 05-02-03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実

基本事業 05-02-04 文化活動の活性化及び地域文化の保護・継承

基本事業 05-02-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

少子高齢化や高度情報化、価値観の多様化により、生涯学習に対する町民ニーズも多様化しています。そのため、町民が求める様々な知的要求の把握に努め、自己開発、知識・技術の向上のための支援、学んだ成果を地域に生かす仕組みづくりと合わせ、子どもたちの健全育成活動、地域と共にある公民館活動の充実に取り組む必要があります。また、学習施設利用者が安全・快適に利用できるように適正な維持管理を進めるとともに、図書館（住民集いの館）など町民の学びや集いを支える学習拠点の整備についての検討が必要です。

人口の減少と少子高齢化の進展によって、文化活動の推進や伝統行事の継承などが難しい状況にあります。地域文化の次世代への継承を考慮しつつ、住民ニーズの多様化に則した文化事業の充実に取り組んでいきます。

文化財保護行政については、四国八十八ヶ所霊場と遍路道の世界遺産登録に向けて取り組んでいますが、その第一歩として、小山地区に所在する松尾峠が国史跡に指定されました。また、平城貝塚については、町外で保管されてきた資料を町内に戻し、整理作業と再評価に取り組むと共に、その成果を基本に学校教育等で活用し、地域の魅力の一つとして発信することに取り組んでいきます。これら以外の文化財についても、法に基づき、保護の対象とすべきものについては保護措置を進めると共に、その所在と価値そして保護の必要性について周知に取り組んでいきます。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 3.06 (2.96) | 3.06 (2.97) | 3.03 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.46 (3.65) | 3.47 (3.65) | 3.44 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

施策のプロフィール

| | |
|-------|--|
| 施策の対象 | 施策がめざす姿 |
| 町民 | 多様な学習機会や情報を提供し、その成果を活かせる活動の場づくりを進める事により、生涯学習に取り組む町民が増加します。 |

施策の成果状況と評価

| 指標 | 生涯学習に取り組んでいる町民の割合 上がると良い指標 【生涯学習課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|-----------|---------------------------|
| | | % | 12.3 | 16.8 | 17.6 | 30.0 | |
| 評価 | <p>(状況) 平成29年度に比べ、0.8ポイント増加しました。基準値からは5.3ポイント向上はしているものの、目標値に達していません。</p> <p>(原因) 回答者の8割は、生涯学習活動を行っていないと回答しており、多忙であったり、学ぶきっかけがつかめないことが理由として考えられます。また、20歳代から50歳代の活動実施率が低い状態です。原因として、学習会等が働き世代や子育て世代が参加しづらい時間帯に実施していることや、取り組みたい学習活動が少ないという理由などで実践者が増加していないように思われます。</p> | | | | | | (横ばい) 目標 達成度 (低) |

施策のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 394,084 | 404,852 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-01 生涯学習機会の充実

基本事業のプロフィール

| | |
|--------------------------|--|
| <p>基本事業の対象</p> <p>町民</p> | <p>基本事業がめざす姿</p> <p>住民のニーズに応じた様々な生涯学習を提供し、多くの町民が各種講座などに参加し、その質や機会が充実していると思う町民が増加します。</p> |
|--------------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 町主催の生涯学習に参加した町民の参加者数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|--------|-----------|-----------|--|--------|
| | 上がると良い指標 【生涯学習課】 | 人 | 20,997 | 24,839 | 21,638 | 25,000 | |
| 評価 | <p>(状況) 前年に比べ、参加者が3,201名減少しました。基準値からは向上しているものの、目標値である25,000人は達成できませんでした。</p> <p>(原因) 公民館事業において、前年度と比べ、27事業が減少しています。特に体験活動事業数の減少、また、悪天候により須ノ川公園まつり事業が実施できなかったことで参加者数が減少したと考えられます。</p> | | | | | <p>☔ (低下)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p> | |
| 指標 | 生涯学習の機会が充実していると思う町民の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 上がると良い指標 【生涯学習課】 | % | 83.1 | 80.8 | 86.4 | 90.0 | |
| 評価 | <p>(状況) 前年に比べ、5.6ポイント向上しましたが、目標値の90%に達しませんでした。</p> <p>(原因) 女性や高齢者の趣味や生きがいを目的とした講座だけでなく、教養や健康、暮らしに関連した学習会、舞台芸術の公演など、町民の要望が高い内容を織り交ぜながら提供しており、一定の評価を得ていると考えます。</p> | | | | | <p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p> | |
| 指標 | 生涯学習に関する情報提供の量や内容に満足している町民の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 上がると良い指標 【生涯学習課】 | % | 81.4 | 79.2 | 84.7 | 85.0 | |
| 評価 | <p>(状況) 前年に比べ5.5ポイント向上しましたが、基準値からも向上していますが、目標値に届きませんでした。</p> <p>(原因) 町広報紙や公民館だよりでの周知のほかに各戸へのチラシの配布・回覧、商業施設などへのポスター掲示、町ホームページを利用しての情報発信に努めており、情報提供に理解をいただいているものと考えます。</p> | | | | | <p>☀ (向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p> | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 18,336 | 17,249 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

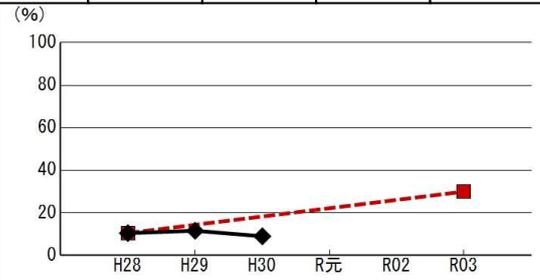
基本事業 05-02-02 青少年の健全育成

基本事業のプロフィール

| | |
|-----------------|------------------------------------|
| 基本事業の対象 小中学生 | 基本事業がめざす姿 青少年が健全に育成されるように支援します。 |
|-----------------|------------------------------------|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 地域の子どもの育成活動や学校教育への支援に積極的に関わっている町民の割合 【生涯学習課】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|------|-----------|-----------|-----------|--------------|
| 評価 | (状況) 前年に比べ、2.6ポイント低下し、後期目標値に達していません。 (原因) 回答者の約6割が地域活動に参加していない状況にあり、地域とのつながりの希薄化が一つの要因となっていると考えます。子育て世代は学校支援活動への参加意識があるものの、子育てが終わる50歳代や定年を迎えた60歳代前半の方は、生活や自分の時間を優先し、学校との関わりが遠のいてしまう傾向にあると考えられます。また、学校支援に関わる者の固定化も影響していると思われます。 | % | 10.5 | 11.6 | 9.0 | 30.0 | (低下) |
| | | | | | | | 目標達成度 (低) |



基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 5,024 | 5,477 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実

基本事業のプロフィール

| | |
|-----------------------------|---|
| 基本事業の対象 町民、生涯学習施設 | 基本事業がめざす姿 生涯学習施設を整備し、多くの町民が利用します。 |
|-----------------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 生涯学習活動を行なう施設が充足していると思う町民の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|------|-----------|-----------|-----------|---------------------------|
| | 上がると良い指標 【生涯学習課】 | % | 87.4 | 89.1 | 89.3 | 90.0 | (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高) |
| 評価 | (状況) ポイントはほぼ変わらず、目標値に達することができませんでしたが、充足度は高い状態にあります。 (原因) 各地域での学習活動や文化活動に関しては、各地域の公民館や御荘文化センターを利用して活動が行えています。また、老朽箇所の修繕や備品の更新を計画的に実施しており、充足度が高いものと考えます。 | | | | | | |

| 指標 | 生涯学習施設の維持管理上のトラブル件数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|-----|-----------|-----------|-----------|---------------------------|
| | 下がると良い指標 【生涯学習課】 | 件 | 0 | 1 | 0 | 0 | (向上) 目標達成度 ■■■ (達成) |
| 評価 | (状況) 各施設ともに維持管理上の不具合等は発生しませんでした。 (原因) 町民の施設利用を妨げるような機器等の突発的な不具合もなく、年度を通して適正な維持管理がなされたことが要因だと考えられます。 | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 118,267 | 142,633 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-04 文化活動の活性化及び地域文化の保護・継承

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------|--|
| 基本事業の対象 町民、行政 | 基本事業がめざす姿 文化活動及び地域文化の保護・継承を推進することにより、町民の文化意識が向上します。 |
|------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 文化活動への参加者数（芸術・文化・歴史） | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|--------|-----------|-----------|------------------|--------|
| 指標 | 上がると良い指標 【生涯学習課】 | 人 | 78,994 | 75,927 | 74,576 | 82,000 | (横ばい) |
| 評価 | (状況) 前年度に比べて1,351人減少しましたが、前年度の3,067人減少に比べて減少率は鈍化しています。 (原因) 高齢化に伴う文化協会の団体や会員の減少は続いていますが、文化協会加盟団体による公演や発表会の増加、講座・学習会等の増加、図書室利用の増加、おでかけ県立図書館などの新規文化事業によって、減少率が鈍化したものと考えられます。 | | | | | 目標達成度 ■■■ (高) | |
| 指標 | 文化事業・芸術鑑賞への機会が十分だと思う町民の割合 | % | 76.5 | 74.9 | 75.6 | 80.0 | (横ばい) |
| 評価 | (状況) 前年度から0.7ポイント向上しています。おおよそ7割以上の町民の方が満足しており、順調に推移しています。 (原因) 文化センターでの自主事業を2回実施したことや文化協会加盟団体による公演・発表会の増加、生涯学習講座のCATVでの放映、その他講座・学習会の回数増加などが効果を上げていていると考えられます。 | | | | | 目標達成度 ■■■ (高) | |
| 指標 | 伝統行事保存団体数 | 団体 | 14 | 14 | 14 | 14 | (達成) |
| 評価 | (状況) 前年度の数値と変化はありません。少子高齢化の進展により、どの保存会も伝統行事の保存継承に苦勞しています。 (原因) 県指定文化財の保存団体への助成、CATVでの放映などによる広報啓発、文化祭でのオープニング出演等を実施していますが、現状の数値を維持するにとどまっています。 | | | | | 目標達成度 ■ (達成) | |
| 指標 | 文化財の指定及び登録件数 | 件 | 111 | 111 | 112 | 112 | (向上) |
| 評価 | (状況) 松尾峠遍路道が国史跡に指定されたため、前年度に比べて1件増加したので、目標値を達成しました。 (原因) 国や県の指導を仰ぎながら国庫補助事業を活用した地形測量と意見具申を実施し、国史跡指定を達成しました。 | | | | | 目標達成度 ■ (達成) | |

基本事業のコスト（千円）

| | |
|--------|--------|
| H29 | H30 |
| 20,339 | 31,435 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 232,118 | 208,058 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-03 スポーツの充実

施策を実現する手段

基本事業 05-03-01 各種スポーツ団体及び指導者の育成

基本事業 05-03-02 各種スポーツ活動への参加機会の充実

基本事業 05-03-03 スポーツ施設の利用促進

基本事業 05-03-04 スポーツツーリズムの推進

基本事業 05-03-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

少子化による団体競技の減少及びスポーツ習慣の低下により、スポーツ少年団への加入率が減少しています。このためスポーツ習慣を高める取組が求められています。また、若者の流出によるチームスポーツの減少や、町主催の大会・教室等への参加者が減少しています。

指導者の育成や新しい競技の導入など小学生がスポーツ少年団活動に参加できる環境整備が求められます。また、スポーツ活動に親しむ町民の割合は横ばい状況にあるため、町主催の大会・教室の充実を図るとともに、少子・過疎化の進展などにより、今後はチームスポーツの編成が困難となることが予測されるため、新たな個人スポーツの導入や施設整備など、長期的なスポーツ環境の整備が必要です。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 3.12 (2.96) | 3.07 (2.97) | 3.09 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.38 (3.65) | 3.38 (3.65) | 3.36 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

施策のプロフィール

| | |
|-------|----------------------------------|
| 施策の対象 | 施策がめざす姿 |
| 町民 | 町民ニーズにあったスポーツ環境の整備を行い、健康増進を図ります。 |

施策の成果状況と評価

| 指標 | スポーツ活動に親しむ町民の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|------|-----------|-----------|-----------|--------|
| | 【生涯学習課】 | % | 29.6 | 29.4 | 28.0 | 32.0 | (横ばい) |
| | 上がると良い指標 | (%) | | | | | 目標達成度 |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は28.0%で、昨年度に比べて1.4ポイント減少し、後期目標には達しませんでした。</p> <p>(原因) 昨年度に比べ、30～59歳においてスポーツを行う割合が減少しています。このため当該世代への啓発による数値向上の余地があると考えます。</p> | | | | | III (高) | |

| 指標 | 各種スポーツ団体・クラブに加入している町民の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|------|-----------|-----------|-----------|--------|
| | 【生涯学習課】 | % | 13.4 | 13.9 | 12.2 | 15.0 | (横ばい) |
| | 上がると良い指標 | (%) | | | | | 目標達成度 |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は12.2%で前年度を1.7ポイント下回り、後期目標値を2.8ポイント下回りました。</p> <p>(原因) 若年層の人口減少に伴い、野球やサッカーなどのチーム数が減少していることが要因だと考えます。</p> | | | | | III (高) | |

施策のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|---------|---------|
| 121,338 | 122,782 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-01 各種スポーツ団体及び指導者の育成

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------|--|
| 基本事業の対象 行政、町民 | 基本事業がめざす姿 各種スポーツ団体の充実及び指導者の育成により、地域でスポーツ活動をする人が増加します。 |
|------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 各種スポーツ指導者数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|-------|-------|-----------|-----------|----------------------------|--------|
| | 上がると良い指標 【生涯学習課】 | 人 | 23 | 21 | 31 | 30 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は31人で対前年度登録者比較で10名増加しています。また、基準値からも8名増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 指導者が再度、資格の更新又は再取得を行ったことが増加の原因と考えられます。 | (人) | | | | ☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (達成) | |
| 指標 | 各種スポーツ団体で優秀な成績を収めた者及びスポーツの発展に寄与した者の顕彰者数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 上がると良い指標 【生涯学習課】 | 人(団体) | 11(6) | 8(3) | 22(8) | 14(5) | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は個人22名、団体8名で、前年度より個人が14人、団体が5団体増加し、いずれも後期目標値を達成しました。 (原因) 特に小中学生のソフトテニス競技における表彰者が増加しました。また、団体において好成績を収める競技種目数が増加しました。 | | | | | ☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (達成) | |
| 指標 | スポーツ少年団の加入率 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
| | 上がると良い指標 【生涯学習課】 | % | 59.0 | 52.2 | 46.0 | 55.0 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は46.0%で、前年に比べて6.2ポイント低下しています。後期目標値にも9.0ポイント届きませんでした。 (原因) 少子化による単位団の解散及びスポーツ習慣の低下が考えられ、今後も単位団の解散、スポーツ習慣の低下が予想されます。団体競技のチーム編成が困難となるため、新たな個人スポーツの導入や施設設備など、長期的なスポーツ環境の整備が必要です。 (平成30年度児童数6月1日現在 774名 登録数 356名) | (%) | | | | ☔️ (低下) 目標達成度 🏰 (高) | |

基本事業のコスト(千円)

| | |
|-------|-------|
| H29 | H30 |
| 7,398 | 7,334 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-02 各種スポーツ活動への参加機会の充実

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------|------------------------------------|
| 基本事業の対象 行政、町民 | 基本事業がめざす姿 各種スポーツ活動への参加機会が充実します。 |
|------------------|------------------------------------|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 町主催のスポーツ大会・教室等に参加した人数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|-----|-----------|-----------|-----------|--------------------------|
| | 上がると良い指標 【生涯学習課】 | 人 | 775 | 1,787 | 1,996 | 2,000 | (向上) 目標達成度 ■■■ (高) |
| 評価 | (状況) 平成30年度参加者数は1,996人で、後期目標値には達しませんでした。前年度実績を209人上回りました。 (原因) 前年度中止となったスポーツフェスタin愛南の開催により参加者数が増加しました。児童数の減少に伴い、スポ少大会の参加者数の減少が予想されますが、その他町規模の大会・教室については依然増加の余地があります。 | | | | | | |

| 指標 | スポーツ活動への参加機会が十分であると思う町民の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|-----------|--------------------------|
| | 上がると良い指標 【生涯学習課】 | % | 87.9 | 82.0 | 87.2 | 90.0 | (向上) 目標達成度 ■■■ (高) |
| 評価 | (状況) 平成30年度は87.2%で後期目標値は達成していませんが、前年度より5.2ポイント増加し、順調に推移しています。 (原因) 各競技団体等が工夫しながら大会を企画、運営している成果であると考えられます。今後、グラウンドゴルフをはじめとするニュースポーツの運営体系の確立により更に参加機会の充実を図ることができます。 | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 14,953 | 14,546 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-03 スポーツ施設の利用促進

基本事業のプロフィール

| | |
|------------------|--|
| 基本事業の対象 町民、行政 | 基本事業がめざす姿 スポーツ施設・設備を充実させ、多くの町民が利用します。 |
|------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | スポーツ施設利用者数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|-----|---------|-----------|-----------|-----------|--------|
| | 上がると良い指標 | 人 | 160,771 | 158,835 | 134,591 | 165,000 | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は134,591人で前年度より24,244人減少し、後期目標値に達しませんでした。 (原因) 利用者の集計方法を見直したため、前年度数値を下回っていますが、体育施設利用者の実数値は前年度より増加しています。 | (人) | | | | | |

| 指標 | スポーツ施設の維持トラブル不具合件数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|-----|-----|-----------|-----------|-----------|--------|
| | 下がると良い指標 | 件 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 評価 | (状況) 不具合やトラブルの申し出がなく、順調に推移しています。 (原因) 昨年度同様に公民館等と連携して施設の巡回を行い状況を把握することで、現状を維持するための対応を早期に行ったからだと考えます。 | (件) | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 46,070 | 45,677 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-04 スポーツツーリズムの推進

基本事業のプロフィール

| | |
|-----------------------------------|---|
| 基本事業の対象 スポーツツーリスト、町民、行政 | 基本事業がめざす姿 スポーツツーリズム推進基本方針（観光庁）に基づき「見る」、「する」、「支える」などのスポーツを通じた観光のまちづくりを推進します。 |
|-----------------------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | スポーツツーリズムによる交流人口 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき | |
|----|--|---------|-------|-----------|-----------|-----------|-------------------------|--|
| | | 人 | 4,541 | 4,760 | 4,861 | 5,200 | | |
| | 上がると良い指標 | 【生涯学習課】 | | | | | | |
| 評価 | (状況) 四国西南地区剣道大会および愛媛マンダリンパイレーツ公式戦を加え、前年度より101名増加しましたが、後期目標値を339名下回りました。 (原因) スポーツ合宿来町者数が大幅に増加しましたが、四国西南地区水泳大会および四国西南地区少年野球大会が中止となったため、後期目標に達しませんでした。通常通り開催の場合、後期目標値を達成できる見込みです。 | | | | | | ☀️ (向上) | |
| | | | | | | | 目標 達成度 ■■■ (高) | |
| 指標 | スポーツ合宿件数 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標の うごき | |
| | | 件 | 13 | | 16 | 17 | | |
| | 上がると良い指標 | 【生涯学習課】 | | | | | | |
| 評価 | (状況) 平成30年度は16件で後期目標値を1件下回りましたが、昨年度実績を8件上回りました。 (原因) サッカー競技でのあけぼのグラウンドを利用した合宿が増加しました。今後、アメリカンフットボールやアーチェリー等、他の競技を含むリピーター団体の獲得により、更なる利用団体の増加を図ることができます。 | | | | | | ☀️ (向上) | |
| | | | | | | | 目標 達成度 ■■■ (高) | |

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 12,240 | 13,035 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|--------|--------|
| 40,677 | 42,190 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策の構成

政策を実現する手段

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

施策を実現する手段

基本事業 05-04-01 人権・同和教育の推進

基本事業 05-04-02 男女共同参画の推進

基本事業 05-04-03 社会的弱者の人権の保護

基本事業 05-04-99 施策の総合推進

施策を取り巻く環境変化と課題

少子・高齢化に伴い、介護を要する高齢者の増加、老老介護、家族の負担増など、虐待の要因が増加傾向にあります。また、子どもの貧困率の増加、インターネットやSNS等によるいじめの問題が今もなお、大きな社会問題となっています。平成28年度から障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法、アイヌ新法が施行されるなど、あらゆる人権課題の解決に向けた取り組みを進めていますが、依然として同和問題をはじめ、女性や子ども、高齢者・障がい者等への人権侵害が多く発生し問題になっています。

基本的人権尊重の理念が、私たち一人ひとりの生活の中にしっかりと根付き、家庭や地域社会、職場などのあらゆる場に浸透し、差別や偏見を許さない社会の実現のため、啓発活動の充実が必要であります。

女性の社会進出が進み、平成30年には政治分野における男女共同参画の推進に関する法律が施行されました。職場等では環境の変化があると思われませんが、家庭まではなかなか浸透していないのが現状です。共働き世帯が増加する中、男女の地位の平等化は重要な課題となっています。男女の性差に関係なく、自分の意思を表現できるよう、男女共同参画社会形成の実現を目指します。

施策に対する住民のニーズ

住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

| | H28 | H29 | H30 | うごき |
|-----|-------------|-------------|-------------|-----|
| 満足度 | 3.04 (2.96) | 3.02 (2.97) | 3.00 (2.95) | ➔ |
| 重要度 | 3.38 (3.65) | 3.40 (3.65) | 3.41 (3.63) | ➔ |

()内は、25施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

施策のプロフィール

| | |
|------------------------------|--|
| 施策の対象 町民、学校、企業及び団体 | 施策がめざす姿 基本的人権尊重の理念が、私たち一人ひとりの生活の中にしっかりと根付き、家庭や学校、地域社会、職場などのあらゆる場に浸透し、差別や偏見を許さない社会が確立します。 |
|------------------------------|--|

施策の成果状況と評価

| 指標 | この1年間に、自身の人権が侵害されたと感じたことがある町民の割合 【人権啓発室】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|-----------|-----------------------|
| 評価 | 下がると良い指標 | % | 12.1 | 10.1 | 8.8 | 9.0 | (向上) 目標達成度 (達成) |
| | (状況) 平成30年度は8.8%であり、平成29年度より1.3ポイント向上しています。後期基準値より3.3ポイント向上しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 障害者差別解消法、部落差別解消推進法等、各種の人権に関する法整備が進み、人権意識が高まっているのだと考えられます。 | | | | | | |

| 指標 | 出身、性別、国籍、年齢、病気、障がいの有無等の人権に係る差別をしてはならないと考える町民の割合 【人権啓発室】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|-----------|-----------------------|
| 評価 | 上がると良い指標 | % | 97.7 | 98.4 | 97.8 | 100 | (横ばい) 目標達成度 (高) |
| | (状況) 平成30年度は97.8%であり、平成29年度より0.6ポイント減少しましたが統計誤差の範囲と考えられ、後期目標値には届きませんでした。良い値で推移しています。 (原因) 学校での人権教育や人権啓発活動を続けていることで差別解消の意識向上につながっていると考えられます。 | | | | | | |

施策のコスト(千円)

| | |
|--------|--------|
| H29 | H30 |
| 14,361 | 15,052 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-01 人権・同和教育の推進

基本事業のプロフィール

| | |
|-----------------------------|--|
| 基本事業の対象 町民、企業及び団体 | 基本事業がめざす姿 あらゆる差別や偏見を解消する人権尊重意識の高揚を図ります。 お互いに相手の立場を認め合える豊かな感性をもった児童・生徒を育てます。 |
|-----------------------------|--|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 学習等により、この1年間に自身の人権意識が高まったと思う町民の割合 【人権啓発室】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|---|----|------|-----------|-----------|-----------|---------------------------|
| 評価 | (状況)平成30年度は40.6%であり、平成29年度より1.0ポイント増加しています。後期目標値の45%に届いていませんが、後期基準値より5.8ポイント増加であることから順調といえます。 (原因)学校での人権・同和教育や人権啓発活動を続けていることで差別解消の意識向上につながり、成果に結びついていると考えられます。 | % | 34.8 | 39.6 | 40.6 | 45.0 | (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高) |
| | | | | | | | |

| 指標 | 相手の気持ちを理解し、やさしい言葉遣いや行動ができる児童・生徒の割合 【人権啓発室】 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|----|------|-----------|-----------|-----------|--------------------------|
| 評価 | (状況)平成30年度は73.9%であり、平成29年度より4.4ポイント減少し、統計誤差の範囲と考えることはできますが、後期目標値が90%、後期基準値が79.5%と設定されているため、やや減少傾向にあることがうかがえます。 (原因)各学校での道徳授業や人権・同和教育懇談会等の取り組みは引き続き行われてはいるものの、自他を認め合うという成果までには至っていないと考えられます。 | % | 79.5 | 78.3 | 73.9 | 90.0 | (低下) 目標達成度 ■■■ (高) |
| | | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 4,879 | 5,002 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-02 男女共同参画の推進

基本事業のプロフィール

| | |
|---------|--|
| 基本事業の対象 | 基本事業がめざす姿 |
| 町民 | 男女がお互いを尊重しつつ、責任を分かち合い、能力を十分に発揮できる社会を実現します。 |

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 男女の地位は平等になっていると思う町民の割合 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|----|--|-----|------|-----------|-----------|-----------|--------------|
| | 上がると良い指標 【企画財政課】 | % | 25.1 | 22.2 | 23.4 | 30.0 | (横ばい) |
| 評価 | <p>(状況) 平成30年度は23.4%であり、平成29年度より1.2ポイント増加しましたが、統計誤差の範囲と考えられます。基準値より1.7ポイント低くなっており、目標値である30%に届かなかったことからあまり順調ではありません。</p> <p>(原因) 男女共同参画社会基本法や政治分野における男女共同参画の推進に関する法律が施行され、職場等の環境は変化していると思われませんが、地域社会、家庭等までは浸透しておらず、また、男女ともに意識的な変化がないことが原因と考えられます。</p> | (%) | | | | | 目標達成度 (高) |
| | | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-----|-----|
| 26 | 26 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-03 社会的弱者の人権の保護

基本事業のプロフィール

| | |
|---------------------------------------|---|
| 基本事業の対象 18歳未満の子供及び65歳以上の高齢者 | 基本事業がめざす姿 子どもや高齢者の人権が侵害されることなく、安心して生活することができます。 |
|---------------------------------------|---|

基本事業の成果状況と評価

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|---|----|------|-----------|-----------|-----------|----------------------|
| 児童福祉法に基づく要保護児童等の支援による解決率 上がると良い指標 【人権啓発室】 | % | 36.7 | 17.6 | 35.7 | 37.0 | (向上) 目標達成度 (高) |
| (状況) 平成30年度は、35.7%であり平成29年度より18.1ポイント増加しています。後期目標値37%に近い数値となっており順調に推移しています。 (原因) 今年度は、対象児童等の他市町への転出や年齢到達(18才到達)に伴う終結ケースが多くあったためです。 | | | | | | |

| 指標 | 単位 | 基準値 | 実績値 (H29) | 実績値 (H30) | 目標値 (R03) | 指標のうごき |
|--|----|-----|-----------|-----------|-----------|-----------------------|
| 高齢者の人権が侵害された件数 下がると良い指標 【高齢者支援課】 | 件 | 8 | 6 | 1 | 7 | (向上) 目標達成度 (達成) |
| (状況) 平成30年度は1件で、前年に比べ5件減少しました。早期対応ができたことなどにより基準値、目標値を下回る事ができ目標を達成することができました。 (原因) 高齢者を取り巻く各関係機関との連携及び地域住民の相談窓口の周知が図られてきたことにより、侵害と捉えられる前に初期対応ができるようになってきたことで減少したと考えられます。 | | | | | | |

基本事業のコスト(千円)

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 2,399 | 2,068 |

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-99 施策の総合推進

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

| H29 | H30 |
|-------|-------|
| 7,057 | 7,956 |